

はじめに

このたびは、EmEditor Professional をご利用いただき、誠にありがとうございます。EmEditor は、既に多くの皆様にご利用いただいております。充実した機能、使いやすさ、および安定性により好評を得ております。そして、この EmEditor Professional は、今まで積み重ねてきた集大成であり、私が自信を持っておすすめできる完成度の高い製品です。

EmEditor は、これからも、皆様のご意見によって、さらに進化していく製品です。どうぞ EmEditor を末永くご利用になり、ご意見やご感想などがありましたら、私あてメールかメーリングリストでご連絡いただければ、幸いです。

2011 年 7 月
株式会社 エムソフト 代表取締役
米国 Emurasoft, Inc. 社長
江村 豊

メール: tech@emurasoft.com
ウェブ: <http://jp.emeditor.com/>

目次

はじめに	i
目次	ii
序章	1
ライセンスについて	1
サポートについて	1
プレミアムサポート	1
最新版のダウンロード方法	2
EmEditor のインストール	3
EmEditor の実行と登録キーの入力	5
免責事項および不正使用の禁止	6
第 1 章 特長	7
比較、同期スクロール機能	7
スペル チェック機能	7
箱型編集機能の強化	7
CSV モード、TSV モード、DSV モード	7
全画面表示	8
クリップボード履歴	8
ワイルドカード サポート	9
元に戻す情報を含むワークスペース	9
新しい外部ツール	9
ファイル一覧に常に表示	9
保護されたフォルダ内にファイルを保存	9
その他の追加機能	9
巨大ファイル コントローラー	10
箱型編集	10
バイナリ編集	11
さらに高速になった検索と置換	11
機能強化されたプロジェクト プラグイン	11
一段と高速になり、巨大ファイルの編集にも最適化	11
新しく追加されたプラグイン	11
キー入力とマウス操作の記録と再生	12
マクロ ツール バー	12
USB メモリにインストール可能	12

カスタム バー	12
タブ機能をさらに改良	12
アウトプット バー	13
高速起動	13
PerlScript など他の ActiveScript にも対応	13
単一プロセス、マルチ スレッドによる機敏な動作と少ない消費メモリ	13
タブ機能の強化	13
万一の異常終了に対応	13
強力な高機能マクロの搭載	13
見やすい色分け表示	14
Unicode 対応	14
ファイルから検索	14
ファイルから置換	14
外部ツールの起動	14
機能拡張できるプラグイン	14
ドラッグ アンド ドロップ	15
充実した基本性能	15
ウェブ デザイナーにも最適	15
その他の特長	15
第 2 章 使い方	17
ファイル操作	17
EmEditor で編集できるファイルは	17
既存のファイルを開くには	17
ファイルを新規に作成するには	18
編集したファイルを保存するには	18
バックアップを作成するには	18
ファイルを定期的に自動で保存するには	19
エクスプローラからファイルをダブルクリックして起動するには	19
ファイルの拡張子を現在の設定に関連付けるには	19
すべて閉じるには	20
すべて保存して閉じるには	20
コマンド ラインを指定するには	20
最近使ったフォルダからファイルを開くには	26
編集	26
漢字を入力するには	26
カーソル位置を変更するには	26
編集を元に戻すには	26

文書の一部を選択するには.....	27
文書のすべてを選択するには.....	27
折り返し位置の改行を挿入または削除するには.....	27
大文字と小文字を変換するには.....	27
書き換え禁止にするには.....	27
タグ ジャンプを行うには.....	28
タブのインデント機能.....	28
引用マーク付き貼り付けを行うには.....	28
特殊文字を入力するには.....	28
欧文文字のサンプル.....	30
検索.....	31
検索するには.....	31
置換するには.....	31
ファイルから検索するには.....	31
ファイルから置換するには.....	32
正規表現を使用するには.....	32
検索文字列の強調を解除するには.....	33
正規表現構文.....	33
改行の指定方法.....	37
表示.....	38
ツール バーの表示を変更するには.....	38
ツール バーのボタン一覧.....	38
ステータス バーの表示内容.....	42
フォントを変更するには.....	42
表示の色を変更するには.....	42
行の折り返し位置を変更するには.....	43
カーソル位置の文字コードを表示するには.....	43
メニューを変更するには.....	43
各種設定.....	43
行番号、ルーラを表示するには.....	43
メモ帳互換の日誌作成するには.....	43
JIS、EUC コードのファイルを自動選択して開くには.....	44
引用マークで始まる行の色を変更するには.....	44
行間隔の調節.....	44
CR と LF を区別して表示するには.....	44
[ファイルを開く] ダイアログ ボックスで表示するファイルの種類を変更するには.....	44
キーボードの割り当てを変更するには.....	45

上書きモードにするには	45
最近使ったファイル、検索、置換の過去の履歴をクリアするには	45
指定する文字列を強調表示するには	45
指定する単語の途中で折り返さないようにするには	45
高速スクロールを設定するには	45
エンコードを定義するには	46
新しい設定を定義するには	46
他の設定を選択するには	46
新しい構文ファイルを作成するには	46
折返しインデントを有効にするには	47
フリー カーソル モードを有効にするには	48
スムーズ スクロールを有効にするには	48
マクロ	48
マクロを記録、実行するには	48
プラグイン	48
プラグインをインストールするには	48
プラグインのプロパティを変更するには	49
プラグインをアンインストールするには	49
プラグインを開発するには	49
[エクスプローラ] プラグインの使い方	49
[検索バー] プラグインの使い方	50
[HTML バー] プラグインの使い方	51
[開いている文書] プラグインの使い方	52
コンテキスト メニュー	52
[アウトライン] プラグインの使い方	53
[プロジェクト] プラグインの使い方	55
[検索] プラグインの使い方	61
[スニペット] プラグインの使い方	62
スニペット プラグイン プロパティ	63
スニペット フォルダ プロパティ	64
スニペット プロパティ	65
[Web プレビュー] プラグインの使い方	71
[単語補完] プラグインの使い方	71
[単語数] プラグインの使い方	73
ウィンドウ	74
分割して表示するには	74
整列して表示するには	74

他のウィンドウを表示するには	74
第 3 章 よくある質問と回答集	75
セットアップ	75
Q. 新しいバージョンの EmEditor をインストールするにはどうしたらいいのでしょうか?	75
Q. 以前のバージョンの EmEditor を使用しています。EmEditor 最新版をインストールしたいのですが、以前のバージョンの EmEditor をアンインストールせずに、そのままインストールしていいのでしょうか?	76
Q. 古いバージョンの EmEditor と新しいバージョンの EmEditor を共存させることはできますか?	76
Q. インストール先フォルダが、C:\Program Files\EmEditor3 になっていますが、これで正しいですか?	76
Q. EmEditor の起動時、または編集時に、EmEditor が異常終了されたらどうしたらいいのでしょうか?	76
Q. EmEditor のトレイアイコンを表示しないようにしたいけど、どのようにしたら、トレイアイコンを表示しないようになりますか?	77
Q. ダイアログ ボックスを表示せずに EmEditor のインストールを行うには?	77
Q. インストール先フォルダを変更するには?	78
Q. 構文ファイルをインストールするには?	78
Q. 現在 EmEditor の新しいバージョン (または β 版) を使っています。古いバージョンをインストールしたいのですが、現在使用している EmEditor をアンインストールせずに、そのままインストールしていいのでしょうか?	78
Q. EmEditor Professional の最新版をインストールすると、関連付けしたテキスト (.txt) ファイルに EmEditor 特有のアイコンが表示されません。	79
ファイル	79
Q. [名前を付けて保存] で、ファイル名に拡張子の付かない名前を指定しても、.txt という拡張子が自動的に付いてしまいます。拡張子を付かないようにするにはどうしたらいいですか?	79
Q. ファイルを開く時、日本語 (シフト JIS) のファイルなのに、西ヨーロッパ言語と間違えて検出されることがあります。	79
Q. すべてのウィンドウを一度に終了するには?	79
Q. ファイルを開くダイアログで、いつも決まったフォルダから開くようにするには?	79
Q. サイズが 0 のファイルを保存するには?	80
Q. 印刷時の文字が小さいのですが?	80
Q. Macintosh のテキスト ファイルを読もうとすると、いくつかの文字が文字化けしてしまいます。Macintosh のテキスト ファイルを正しく読むにはどうしたらいいのでしょうか?	80
Q. EmEditor で Java のクラスを書き、コンパイルすると、「class の前に 3 つの無効な文字があります」というエラーが発生します。エラーで指摘されているような文字は、class キーワードの前に 1 つもないのに、毎回同じエラーが出ます。	80
Q. ネットワークの共有フォルダで、私の開いているファイルを、他のユーザーが編集できないようにすることは可能ですか?	81
Q. なぜ Internet Explorer で [ソースの表示] をクリックしたとき、EmEditor もメモ帳も現れないのでしょうか?	81
Q. カラーまたはモノクロで印刷するにはどうしたらいいですか?	81
Q. 非常に大きなファイルを開く時の動作がもっと速くならないのでしょうか?	81

Q. 韓国語、中国語などの Word 文書を EmEditor に貼り付けてテキスト ファイルとして保存するにはどうしたらいいですか?	81
Q. XML ファイルを UTF-8 ではなく日本語 (シフト JIS) として開くには?	82
Q. Java ファイルまたは XML ファイルを UTF-8 ではなく日本語 (シフト JIS) として開くには?	82
Q. EmEditor を他のアプリケーションから起動して使っていますが、EmEditor でファイルを編集して終了しても、その内容がアプリケーションに伝わらないのはなぜですか?	82
Q. GB18030 のファイルを開くことはできますか?	82
Q. コマンドラインでエンコードを変換するには?	82
Q. エクスプローラから特定の拡張子のファイルをダブルクリックして EmEditor が起動できるようにするには?	83
Q. ファイルを排他制御して開くには?	83
編集	83
Q. キーボードで選択を開始するには?	83
Q. 改ページなどのコントロール文字を挿入できますか?	83
Q. テキストを正しく貼り付けできません。クリップボードの中身は、Netscape Navigator など、他のアプリケーションでコピーされています。	83
Q. 特殊文字を入力するには	83
Q. 箱型のテキストを選択するにはどうしたらいいですか?	84
Q. Microsoft Global IME はどこからダウンロードできますか?	84
Q. [元に戻す] コマンドで、挿入した文字を 1 文字ずつ戻したいのですが?	84
Q. 行をアルファベットまたは数字の順番に並べ替えるにはどうしたらいいですか?	84
Q. スペリングをチェックするにはどうしたらいいですか?	84
Q. 特殊文字の入力をキーボードで行うには?	84
検索	85
Q. [検索] ダイアログに残る過去の文字列を消去するには?	85
Q. ファイルから検索で、日本語 JIS、日本語 EUC などのファイルは検索できないのでしょうか?	85
Q. 検索、置換に正規表現は使用できますか?	85
Q. 行頭、または行末で文字列を検索するには?	85
Q. 正規表現例を教えてください。	85
Q. 改行を含む文字列を検索しても、検索文字列が強調表示されません。	87
Q. 検索/置換ダイアログが異常に大きいのですが、小さくなりませんか?	87
Q. 検索/置換ダイアログに改行を含む複数行のテキストを入力するには?	87
表示	87
Q. カーソルの形状が、以前は I の形をしていたのに、現在は、■のような長方形になっています。また、文字を入力したときに、上書きされてしまいます。	87
Q. 半角スペースを別の記号で表示できないでしょうか?	87

Q. 既定の設定で他の言語ファイルを開くと、文字化けしていますが、[表示] - [フォント分類] で他の言語を選択すると、さらにわけのわからない文字化けになります。しかし、ファイル開く時、文字コードをその言語に指定すると、正しく表示されます。なぜでしょうか?	88
Q. [表示] - [フォント分類] は、どのようなときに使うのでしょうか?	88
Q. ページが変わっても続いた行番号を表示するにはどうしたらいいのでしょうか? 以前はこのような問題がなかったのですが、何か私の設定が変わったようです。	88
Q. 論理座標、表示座標とはどういう意味でしょうか? 論理行とは何でしょうか?	88
Q. 行番号を EmEidtor ウィンドウの左端に表示しています。行が折り返されている時、論理行の中で行番号を増加したくありません。どのように設定したらいいのでしょうか?	88
Q. Windows XP スタイルの新しいツールバーではなく、以前のスタイルのツールバーを使用したいのですが。	88
Q. タスクバー上のトレイアイコンを自分の好きなアイコンに変更できますか?	88
Q. 2 回以上過去の検索した文字列を別の色で強調表示するには?	89
Q. カーソル位置の行全体に下線を表示するには?	89
Q. URL の特定の文字 (例えば, (カンマ) など) で切れて表示されないようにするには?	89
Q. カーソルの縦線が細いのですが、太くできないでしょうか?	89
Q. 選択範囲内の単語の数を調べるには、どうしたらいいのでしょうか?	89
Q. HTML/XML 文字参照 (“&#xxx”) を Unicode 文字にデコードするには?	89
Q. 各行の改行方法 (CR, LF, CR+LF) を見るには?	90
Q. [記号] ボタンをツール バーに追加するには?	90
Q. 行番号を表示するには?	90
各種設定	90
Q. メールアドレスをクリックして、他のメールソフトを起動するにはどうしたらいいですか?	90
Q. URL をクリックしても、表示に使用したいウェブ ブラウザが起動しないのですが。	90
Q. [日付と時刻] コマンドで挿入する日付や時刻の形式を変更するには?	91
Q. EmEditor 起動時に、自動的にかな漢字変換を有効にするには?	91
Q. 他のコンピュータで、定義している設定プロパティをコピーする方法は、ありますか?	91
Q. ASP 用の設定はないですか?	91
Q. プロパティの [強調(2)] タブにある [特別な構文] コンボボックスの中の [HTML] および [HTML-埋め込み] とは何ですか?	91
Q. HTML、または XML ファイルを保存する際に、EmEditor は Unicode 文字を文字参照 “Numerical Character References” (NCRs - &#xxx; など) として、エンコードすることはできますか?	91
Q. [ファイル] メニューの、[読み直し] のサブメニューには、[同じエンコード]、[自動検出]、[システム既定]、[UTF-16LE]、[UTF-16BE]、[UTF-8]、[UTF-7] しか利用できるエンコードがありません。エンコードを追加するには?	92
Q. バージョンアップ後、新しいコマンドをメニューに追加したり、新しいキーボード ショートカットを追加する方法は?	92
Q. 2 ストローク キーのショートカットを定義するには?	92
マクロ	94

Q. VBScript の MsgBox を使えないのですか?.....	94
ツール	94
Q. EmEditor から現在開いているファイルをコンパイルするために、外部コンパイラを実行するには?.....	94
Q. 複数のクイック マクロをファイルに保存できますか?.....	94
Q. Google でカーソル位置の単語を検索するには?	94
Q. EmEditor で編集中のファイルをコマンド プロンプトで実行するツールでコンパイルしたいのですが、コンパイル後もコマンド プロンプトのウィンドウを閉じないようにするには?	94
Q. 外部ツールの定義例を教えてください。	94
プラグイン	96
Q. アウトライン カスタム バーを隠したままで、アウトライン ガイド (コードの折りたたみ) を有効にするには?	96
Q. 検索バー プラグインを閉じるには、検索バー ボタンを 2 回クリックしなければならないのはどうしてですか?	96
ウィンドウ	97
Q. ウィンドウの 4 分割は何のために利用するのですか?	97
Q. EmEditor のウィンドウ サイズを保存し、いつも同じウィンドウ サイズで EmEditor を開くには?.....	97
Q. いつも、EmEditor ウィンドウを最大化して開くには?.....	97
Q. 現在開いている EmEditor ウィンドウの位置と開いているファイル名を保存しておき、次回、一度にすべてのウィンドウを以前と同じ位置に開くには?	97
Q. タブ付きウィンドウのように表示するには?.....	97
Q. どうして [重ねて表示]、[上下に並べて表示]、[水平に並べて表示] を選択しても動作しないのですか?	98
アンインストール	98
Q. EmEditor を試用していましたが、購入しないことにしました。EmEditor をアンインストールするには、どうしたらいいのですか?	98
Q. EmEditor をアンインストール後、あるファイルをダブルクリックすると EmEditor を探してしまうが EmEditor は存在しないのでそのファイルを開くことができません。どうしたら、そのファイルを開くことができるでしょうか?	98
Q. EmEditor をアンインストール後、インターネット エクスプローラのコンテキスト メニューの [ソースの表示] を選択しても、メモ帳でソースコードが表示されないはなぜですか?	98
Q. アンインストール後、C:\Program Files\EmEditor のフォルダの中に emedtray.exe と emedres.dll の 2 つのファイルが残っていて、削除できないのですが、どうしたら削除できますか?	99
トラブルシューティング	99
Q. ワトソン博士のログを作成するには?	99
付録	101
リンク	101
用語集.....	101

序章

ご注意

v8 以下、v9、v10 は、それぞれ登録キーが異なります。v10 をご利用になるためには、v10 用の登録キーが必要です。

ライセンスについて

本ソフトウェアを 30 日以上使用し続けるには、必要な数のライセンスを購入する必要があります。複数のコンピュータに同時にインストールする場合は、コンピュータの台数分のライセンスを取得する必要があります。ただし、個人での使用の場合、購入者本人の使用に限り、1 ライセンスで最大 5 台までのコンピュータにインストールすることができます。ネットワーク上の使用で、他のコンピュータ端末から別のコンピュータにインストールされた EmEditor を起動することがある場合は、その EmEditor を利用するコンピュータ端末分のライセンス数を取得する必要があります。複数のライセンスを購入するには、必要数分の本ソフトウェアを購入するか、EmEditor ヘルプの購入方法、または <http://jp.emeditor.com/modules/buy-now0/> をお読みになって、不足分のライセンスを購入してください。

サポートについて

本ソフトウェアをご購入のお客様には、電子メール (tech@emurasoft.com) による無料サポートを提供いたします。お電話でのサポートは行っておりませんので、ご了承ください。ご質問の際には、本ソフトウェア EmEditor のバージョン（[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]で確認できます）、Windows オペレーティング システムの種類とバージョン、その他、詳細な情報と再現できる手順などをお書きください。また、EmEditor ホーム ページ <http://jp.emeditor.com/> には、よくある質問と回答集 (FAQ) などの最新の情報を提供しています。

プレミアムサポート

EmEditor Professional ユーザーのためのプレミアム サポートを購入すると、電子メールまたは電話による最高優先度のサポート、およびマクロやプラグイン サンプルの作成サポートを受けることができます。将来、万一、有料アップグレードがあった場合でも、プレミアム サポートを受けているユーザーは、そのサブスクリプション期間であれば、無料でアップグレードを受けることができます。電子メールまたは電話によるサポートは、英語または日本語のみで利用可能です。プレミアム サポートについての詳細は、EmEditor ホーム ページ <http://jp.emeditor.com/> をご覧ください。

登録キーの入手



EmEditor Professional v10 をインストールするには、登録キーが必要になります。EmEditor Professional v10 を購入時、電子メールにより、登録キーを入手しているはず。登録キーが見つからない場合は、

https://www.emurasoft.com/support/send_keys.php?lid=2にあるキーの再送ページで、登録キーの再送を行うことができます。ただし、このサービスを受けるには、製品がEmソフトに登録されている必要があります。

最新版のダウンロード方法



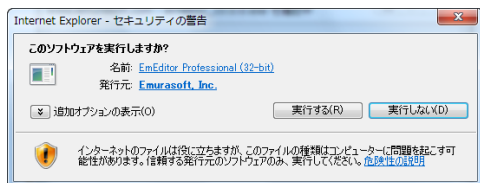
EmEditor ホーム ページ <http://jp.emeditor.com/> を表示して、ページの上にある「ダウンロード」ボタンをクリックすると、32 ビット版をダウンロードすることができます。64 ビット版が必要な場合は、ダウンロード ページ <http://jp.emeditor.com/modules/download2/> からダウンロードすることができます。

EmEditor のインストール

EmEditor をインストールするには、次の手順で行ってください。



1. [実行] をクリックします。

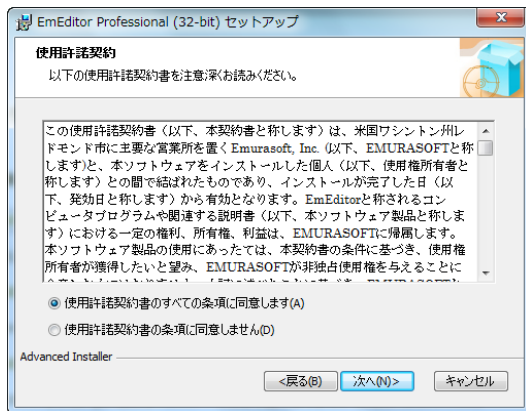


2. 発信元が Emurasoft, Inc. と表示されていることを確認して、[実行する] をクリックします。



3. [次へ] をクリックすると、セットアップを続けます。

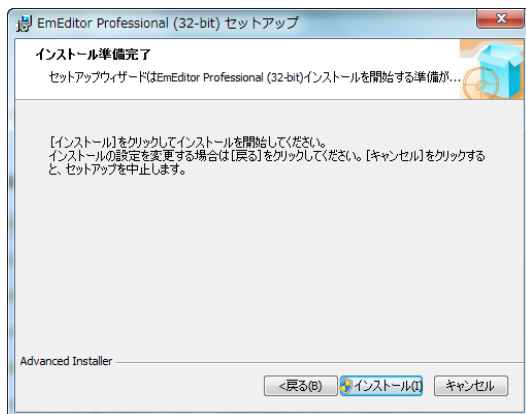
4 序章



4. 使用許諾契約書を読み、同意していただける場合は、[同意する]をクリックしてから、[次へ]をクリックします。[次へ]をクリックすると、セットアップを続けます。



5. セットアップタイプを選択します。ほとんどのユーザーの方には標準をおすすめしています。



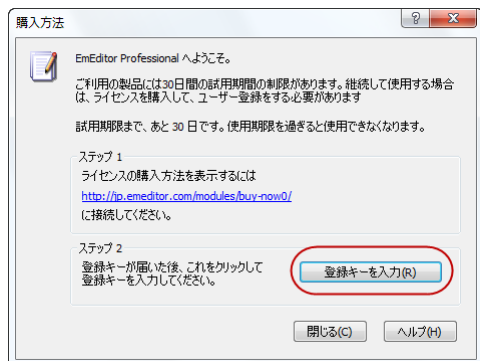
6. [インストール]をクリックすると、セットアップが継続します。設定を変更したい場合、[戻る]を選択します。



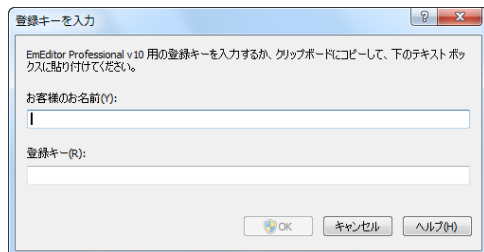
7. このまま [完了] をクリックすると、セットアップが終了し、EmEditor が起動します。

EmEditor の実行と登録キーの入力

EmEditor をインストールしたら、Windows の通常、画面左下にある [スタート] メニューから [すべてのプログラム] をクリックし、さらに [EmEditor] をクリックすると、EmEditor が起動します。以下の手順に従って、登録キーを入力してください。



1. EmEditor ウィンドウを開くと、登録を促すダイアログが表示されます。そこで、[登録キーを入力] をクリックします。



2. お客様のお名前と登録キーを入力して、OK をクリックします。

免責事項および不正使用の禁止

本ソフトウェアおよびヘルプの作成には細心の注意を払っておりますが、万一、ソフトウェアの欠陥あるいはヘルプの誤りによってお客様が被った損害について、米国 Emurasoft, Inc.、株式会社エムソフト、販売代理店、および関係する団体および個人は、一切の責任を負わないものとします。

本ソフトウェアの著作権者は米国 Emurasoft, Inc.です。日本国内における本ソフトウェアの販売者は株式会社エムソフトです。本ソフトウェアおよびヘルプは、日本国および国際条約による著作権法によって保護されています。本ソフトウェアを不正に使用またはコピーする個人および団体は、法律によって罰せられます。また、本ソフトウェアの著作権者および販売者は、不正に使用またはコピーする個人または団体に対して、法的な手段に訴えることがあります。

Emurasoft は、米国 Emurasoft, Inc. の登録商標です。

第 1 章 特長

EmEditor は、使いやすく高機能でありながら軽く動作するテキスト エディタです。EmEditor には、次のような特長があります。

比較、同期スクロール機能

最近表示した 2 個のファイルを簡単に比較表示できるようになりました。比較の結果は、文書を左右に並べて色分け表示され、同期スクロールができるようになります。従来の Diff プラグインは廃止になりました。比較後に編集してから、[再スキャン] コマンドを使用すると、変更後の文書を同じ条件で再び比較して最新情報で更新して表示します。[同期スクロール] コマンドは、最近表示した 2 個の文書を比較せずに同期スクロールします。

スペル チェック機能

最近、日本語の文章であっても、英語の単語が含まれることが多くなっています。日本語に含まれる英単語は、注意して読まないと同間違いに気付きにくいものです。EmEditor のスペル チェック機能は、日本語と英語が混在した文章でも、英語のスペル チェックを行うことができるため、間違いを入力中にすぐに見つけることができます。EmEditor Professional v10 では、OpenOffice、Firefox などで使用され実績のある Hunspell ライブラリを使用して、外国語のスペル チェックを行うことができるようになりました。文字をタイプすると同時に、不正なスペルの単語は赤い波線でアンダーライン表示され、EmEditor で簡単にスペルを直すことができます。プログラミング言語でよく使用されるキャメル ケース (複合語の各要素語の最初を大文字にして、ひと綴りとして表記すること) に対応しているため、複数の単語要素から成り立つ関数や変数の名前のスペルの間違いもすぐに見つけることができます。

EmEditor の新しいインストーラには、英語 (米国) の辞書が含まれています。追加の辞書は、OpenOffice.org wiki からダウンロードして使用することができます。EmEditor インストール フォルダの中の Dictionaries というサブ フォルダ (通常、C:\Program Files\EmEditor\Dictionaries) に *.dic と *.aff ファイルをコピーしてお使いください。

箱型編集機能の強化

行末の右で、幅が 0 の箱型選択を行うと、(長さが異なる行であっても) 選択された行の行末の部分だけが選択されるようになります。箱型選択を行うには、Alt キーを押しながらマウスでドラッグを行います。その状態で文字を入力すると、複数行の行末に、一度に文字が挿入されるようになりました。詳しくは、箱型編集の使い方 (2) を、従来の箱型編集機能については、箱型編集、および箱型編集の使い方 (1) を参照してください。

連番の挿入

[番号] コマンドが追加され、カーソル位置または箱型選択位置に連続した数字または文字を挿入することができるようになりました。

アウトライン プラグインの新機能

アウトライン プラグインでは、一致した文字列を隠してカスタム バーに表示したり、正規表現で任意の文字列に置換してから表示できるようになりました（「カスタム」タイプの場合）。

バイナリ (16 進表示) でアスキー同時表示

バイナリ (16 進数表示) で、アスキー表示を横に含めるようになりました。テキストの選択範囲は、アスキー表示でも枠が表示され確認できます。

[検索] ダイアログの新機能

[検索] ダイアログには、[一致する文字列を数える] チェック ボックスが追加され、文字列を検索したとき、ステータスバーにその一致した数を表示するようになりました。また、[検索する文字列] テキスト ボックスの横の [>] ボタンをクリックして、検索する文字列の初期値として、選択テキスト、カーソル位置の単語、カスタムから選択できるようになりました。さらに、正規表現を使用する場合だけでなく、エスケープ シーケンスを使用する場合でも、一覧から使用するエスケープ シーケンスを選択できるようになりました。

[ファイルから検索] ダイアログの新機能

[ファイルから検索] ダイアログでは、[検索する文字列] テキスト ボックスの横の [>] ボタンをクリックして、検索する文字列の初期値として、選択テキスト、カーソル位置の単語、カスタムから選択できるようになりました。[ファイルの種類] テキスト ボックスの横の [>] ボタンをクリックして、ファイルの種類の初期値として、現在のファイルの種類、現在のファイル、カスタムから選択できるようになりました。さらに、[検索するフォルダ] テキスト ボックスの横 [>] ボタンをクリックして、検索を開始するフォルダの位置を現在のフォルダからの相対位置で指定できるようになりました。


CSV モード、TSV モード、DSV モード

CSV (カンマ区切り)、TSV (タブ区切り)、DSV (ユーザー定義区切り) のファイルを開くと、区切り文字が縦に並んで表示されるようになりました。指定するカラムだけを箱型選択したり、指定するカラムのテキストまたは数値で並べ替えを行うことができるようになりました。部分編集機能と併用して、指定する行だけをソートすることもできます。

全画面表示

全画面表示にすると、メニュー、ツールバー、ステータスバーをすべて非表示にして、画面を広く有効に利用することができますようになりました。

クリップボード履歴

クリップボードの履歴が保存されるようになり、マクロの clipboardData オブジェクトを使用して、過去のクリップボードを参照することが可能になりました。また、新コマンド [クリップボード リングの回転] (既定では Ctrl+Shift+V) を複数回続けて選択することによって、過去のクリップボードの内容で貼り付けることができるようになりました。ツール バーの 

([貼り付け] ボタン) の右に下矢印を追加し、そこをクリックすることによってクリップボードの過去のテキストを貼り付けることができるようになりました。

ワイルドカード サポート

コマンドラインで、* または ? のワイルドカードでファイル名を指定できるようになりました。これにより、コマンド プロンプトから複数のファイルを一度に開くことができるようになりました。

元に戻す情報を含むワークスペース

ワークスペースには、元に戻す情報を保持可能になりました。これによって、無題のファイルでもファイル名を付けることなく終了することができ、次回起動時に、以前の編集内容が復元されるようになります。

新しい外部ツール

外部ツールに、標準入力、標準出力に関する機能を追加しました。外部ツールの出力結果を編集中のテキストに取り込めるようになりました。これにより、外部ツールをフィルタとして使用できるようになりました。また、アウトプットバーに標準入力を入力できるようになりました。

ファイル一覧に常に表示

最近使ったファイル (またはフォルダ) の一覧で右クリックを行うと、新しいメニューが表示され、[この一覧に常に表示] を選択して、一覧に固定できるようになりました。また、このメニューから、指定したファイルの存在するフォルダから開いたり、Windows エクスプローラを開いたり、コマンド プロンプトを開いたり、パスをコピーすることもできるようになりました。

保護されたフォルダ内にファイルを保存

Windows Vista 以降で、ユーザー アカウント制御が有効の場合、「C:\Program Files」のように保護されたフォルダ内にも、権限昇格の確認プロンプトの後、ファイルを保存できるようになりました。

その他の新機能

Version 10 で追加された他の機能は以下のとおりです。

- CSV モードは、改行を含むセルを利用できるようになりました。埋め込まれた改行は、M (CR) または J (LF) と反転した背景色で表示されます (設定のプロパティの [記号] タブで、[制御文字を表示] チェック ボックスがチェックされている場合)。
- Windows エクスプローラのフォルダで右クリックしたときに表示されるコンテキスト メニューに、[EmEditor でファイルから検索] コマンドが追加されました
- 自動復旧機能は、ワークスペースと同様に、最後に表示していたウィンドウの配置と元に戻す情報をそのまま保存、復旧するようになりました ([復旧されたファイル] ダイアログ ボックスは廃止になりました)。インストーラで更新時も、開いている EmEditor のウィンドウを自動的に閉じてから、また元の状態で開くようになりました。

- 新しいインストーラーを使用し、複数の言語エディションを 1 つのインストーラーに含めるようになりました (現在のところ、英語版と日本語版が含まれています)。
- 新しいインストーラーに付属する更新チェッカーを使用するようになり、更新時のダウンロードとインストールの作業が簡単に行えるようになりました (v9 の更新チェッカーは廃止になりました)。
- 新しいコマンドライン オプション `/cmp` が追加されました。
- ローカライズされた言語ファイルが古い場合、EmEditor が可能な限り自動的に英語の文字列やダイアログ ボックスのリソースを使用するようになりました。
- 印刷ヘッダ、フッタで、左揃え(&l)、中央揃え(&c)、右揃え(&r) の組み合わせが指定できるようになりました。
- 箱型選択は、論理選択に限定するようになりました (行の折り返しによる複数の選択は含めないようになりました)。
- 従来は、ファイルを読み直すとき、指定したエンコードで変換できない文字がある警告ダイアログが表示されたときに、キャンセルを選択すると、無題の新規ドキュメントが開かれてしまいました。巨大ファイルを非同期で開く場合を除き、この問題を修正しました。
- PHP の設定の既定の強調文字列一覧を最新の PHP 関数一覧に合わせて修正しました。
- 正規表現構文に新しい置換表現 (`?n:true_expression:false_expression`) が追加されました。

巨大ファイル コントローラー

新しいカスタム バーである巨大ファイル コントローラーを使用して、248 GB よりもさらに大きなファイルを部分的に開くことができるようになりました。巨大ファイル コントローラーを使用すると、開きたいファイルの開始位置、終了位置、開くサイズを指定することができます。さらにファイルを開くのを中止したり、実際のサイズを確認したり、一時ディスクの残り容量を監視することができます。

箱型編集

新機能である箱型編集を使用すると、似た行を正規表現を使用せずに変換することができます。

たとえば、以下のようなテキストがあるとします。

```
name1  
name2  
name3  
name4
```

ここで、name1 から name4 の最初の文字を大文字に変換したいとします。name1 の左側をクリックして、ALT を押しながらすべての n を選択します (または、CTRL + SHIFT + F8 を押して、→ を 1 回押し、↓ を 3 回押します)。

```
name1  
name2  
name3  
name4
```

すべての n が選択されているときに、N を入力します。

```
Name1  
Name2  
Name3
```

Name4

すると、すべての n が N に置き換わっていることがわかります。

バイナリ編集

バイナリ(アスキー表示)とバイナリ(16進数表示)が利用可能なエンコードに追加され、バイナリファイルが編集できるようになりました。バイナリファイルでは、248 GB または指定したエンコードで表示したときに 21 億行までのファイルを開くことができます。

さらに高速になった検索と置換

すべて置換が実行されている間、ステータスメッセージボックスが表示され、元に戻す情報をキャンセルできるようになりました。元に戻す情報をキャンセルすることを選択すると、すべて置換はさらに速く動作します。元に戻す情報をキャンセルしない場合、すべて置換はすべての元に戻す情報を保持します。さらに他の最適化も加わり、検索、置換の速度が、Version 7.00 に比べて条件によっては 2 倍～ 4 倍に速くなりました。

機能強化されたプロジェクト プラグイン

プロジェクト プラグインは、ソリューション テンプレート、ツール バー、パラメータ情報ツール チップなどにより機能強化されました。また、Visual Studio ソリューション ファイルを書き換え禁止で開くできるようになりました。

一段と高速になり、巨大ファイルの編集にも最適化

従来のバージョンよりも、数倍の大きなファイルを開くできるようになりました。たとえば、1 GB のみのメモリを搭載したコンピュータでも、通常 4GB 以上のサイズのファイルを楽に開けるようになりました。さらに、巨大ファイルを開く速度を最適化し、従来のバージョンよりも一段と早くファイルを開けるようになりました。新しいマルチスレッド デザインにより、ファイルを読み込んでいる間でも文書を表示することができるようになりました。ファイルを編集中、検索、置換、文字列の挿入や削除など、時間がかかる操作を行っても、進行状況を表示するウィンドウが表示され、ほとんどの場合で操作を途中でキャンセルできるようになりました。大きなファイルではなくても、ファイルのオープン、編集、保存、検索、置換など、日常使う動作が全体的に、より高速になりました。

新しく追加されたプラグイン

以下のプラグインは Version 7 で新しく追加されたプラグインです。この中で、[検索バー] プラグインと [HTML バー] プラグインは、カスタム ツールバーを他のツール バーのように表示できるよう新機能を使用しています。

- [検索バー] プラグイン - インクリメンタル サーチも可能で、ツール バーから検索できます。
- [HTML バー] プラグイン - HTML タグや要素を簡単に挿入できます。
- [プロジェクト] プラグイン - 複数のファイルを 1 つのプロジェクトに定義して、プロジェクト管理を容易に行うことができます。
- [単語補充] プラグイン - 文書に文字を入力すると、過去に使用された単語と強調単語のリストから使用される単語が候補の一覧として表示され、選択できるようになります。

キー入力とマウス操作の記録と再生

EmEditor は他のアプリケーションに対してのキー ストロークとマウス操作を記録、実行することができるようになりました。この機能により、デスクトップ上やブラウザ上、お気に入りのアプリケーション上で特定のタスクを自動化することができます。開発者は、この機能を利用してアプリケーションをテストすることができます。Window オブジェクトには、ウィンドウに関するほとんどすべての情報を取得するプロパティが追加されました。また、新しい Windows コレクションはトップレベルのウィンドウや特定のウィンドウの子ウィンドウを列挙するために使用できます。新しく追加された Shell オブジェクトを使用すると、キー ストローク、またはマウス アクティビティを送ったり、トップレベルのウィンドウを列挙、または検索することができます。

マクロ ツール バー

マイ マクロに定義されたすべてのマクロを表示することができるマクロ ツールバーが新たに追加されました。また、マクロのボタンは、通常のツール バーにも追加できるようになりました。マクロ ボタンのアイコン、タイトル、ツール チップは、#icon 指示子、#title 指示子、#tooltip 指示子を使用して、マクロに記述できるようになりました。

USB メモリにインストール可能

レジストリの代わりに INI ファイルにすべての設定を保存するオプションが追加されました。インポートとエクスポートのウィザード (ツール メニュー) から以下のオプションを選択することができます。

- すべての設定を INI ファイルにエクスポートする
- USB ドライブなどのリムーバブルドライブに既定の設定でセットアップする
- USB ドライブなどのリムーバブルドライブをセットアップしてすべての設定を INI ファイルにエクスポートする

これらのオプションのいずれかを選択すると USB メモリなどのリムーバブルドライブに設定を保存することができます。EmEditor が起動時に eeUseIni.ini を見つけると、レジストリには設定を保存しなくなります。プラグイン API はさらに拡張され、レジストリと INI ファイル操作のサポートが追加されました。

カスタム バー

カスタム バーを EmEditor ウィンドウ内に表示できるようになりました。これにより、アウトライン、Web プレビュー、検索バーなど、アイデア次第で、さらに便利なプラグインが開発できるようになりました。アウトライン用に EmEditor 内部の機能も強化されました。プラグインの仕様もカスタム バーやアウトライン用に大幅に追加されました。

タブ機能をさらに改良

Version 5 で強化されたタブの機能は、さらに改良されました。タブの外側でマウス中央ボタンをクリックした時、マウス左ボタンをダブル クリックした時の動作を指定できるようになりました。さらに、最後の文書を閉じる時ウィンドウを閉じないようにするオプションを追加しました。

アウトプット バー

コンソール プログラムを外部ツールに指定している場合、その標準出力を EmEditor のウィンドウとして表示することができるようになりました。これによって、例えば、コンパイラの出力を EmEditor で取り込み、エラーの箇所をタグ ジャンプすることによりコードを修正する、という作業が簡単にできるようになりました。

高速起動

EmEditor をあらかじめ常駐しておくことができるようになりました。これにより、EmEditor を実行すると同時に、一瞬でウィンドウが表示されるようになります。(既定では、この機能はオフになっています。[ツール] メニューの [カスタマイズ] - [ショートカット] タブの [EmEditor の高速起動] チェック ボックスで設定できます。)

PerlScript など他の ActiveScript にも対応

PerlScript、PHPScript、Python、RubyScript など、JavaScript、VBScript 以外の ActiveScript も、使用するスクリプト エンジンがシステムにインストールされていれば、使用できるようになりました。

単一プロセス、マルチ スレッドによる機敏な動作と少ない消費メモリ

タブの有無にかかわらず、常に単一プロセスで動作するようになりました。これによって、複数ファイルをまとめて起動する動作が速くなり、消費メモリ、リソースの量が大幅に削減され、文書切り替え時のタスク バーのちらつきがなくなりました。複数のウィンドウはマルチ スレッドで動作します。複数の文書を操作するプラグインのコマンドやマクロのメソッドも追加されました。

タブ機能の強化

タブの機能は、大幅に強化されました。従来のようにウィンドウを結合しただけでなく、単一プロセス、単一ウィンドウ上で動作していますので、安定した操作が行えます。たとえば、ウィンドウ一覧の表示方法は、ボタン、またはタブから選択でき、ウィンドウの幅に入りきらない場合に各タブの幅を調節したり、複数の列で表示できるようになりました。

万一の異常終了に対応

EmEditor 本体で異常終了を起こしそうになった場合、異常終了の直前に、変更したファイルの保存の試行が選択できるようになりました。また、プラグインでアプリケーション エラーが発生した場合、EmEditor 本体が異常終了せずに、該当プラグインを無効にできるようにしました。

強力な高機能マクロの搭載

EmEditor Professional では、JavaScript または VBScript を用いた高機能マクロが利用でき、EmEditor の操作のほとんどをマクロで記述することができます。キーボード操作をマクロに保存して、後から何回でも実行することができるだけでなく、自分でマクロを記述して、他のアプリケーションを操作したり、Windows のファイルやネットワークの操作を行うことができます。このマクロは、Windows スクリプティング ホストのエンジンを利用しているので、頑丈・強力で、Windows

スクリプティング ホストで利用できるすべてのオブジェクトが利用できます。EmEditor Professional v6.00 以上では、`#language` 指示子を用いて、JavaScript または VBScript 以外の任意の ActiveScript を利用できるようになりました。

見やすい色分け表示

EmEditor は開発当初から色分け表示が可能で、Text の設定以外に、Bat, C#, C++, CSS, HTML, Ini, Java, JavaScript, JSP, Pascal (Delphi), Perl, PerlScript, PHP, Python, Ruby, SQL, TeX (LaTeX), VBScript, WindowsScript, x86 Assembler, XML の設定というように、複数の設定が用意されています。HTML の設定では、ASP の `<% ... %>` と `<SCRIPT> ... </SCRIPT>` の内側を LANGUAGE= 属性で指定したスクリプト (JavaScript, VBScript, または PerlScript) で色分け表示します。JSP, PHP のように「HTML-埋め込み」という特別な構文も用意しています。

Unicode 対応

EmEditor は、多言語の文書を扱うときに最適な Unicode に対応しています。単に Unicode ファイルを開けるだけでなく、Unicode の文字で編集できるため、欧文と日本語を同時に表示したり、Shift JIS だけでは表現できない難しい漢字を表示できるようになりました。さらに、Unicode big endian、UTF-8、UTF-7、JIS、EUC や、バルト言語、中央ヨーロッパ言語、簡体字中国語、繁体字中国語、キリル言語、ギリシャ語、日本語 JIS、日本語 EUC、韓国語、韓国語 EUC、タイ語、トルコ語、ベトナム語、西ヨーロッパ言語など、Windows でサポートされるエンコードをすべて利用できます。

ファイルから検索

ファイルから検索の機能では、指定したフォルダ内の指定する種類のすべてのファイルから文字列を検索することができます。また、正規表現を使って、強力な検索ができます。さらに、ファイルのエンコードや自動検出のオプションを詳細に指定して検索することができるため、例えば、日本語 JIS や日本語 EUC のファイルからも検索できます。

ファイルから置換

ファイルから検索だけでなく、ファイルから置換を行うことができます。エンコードや自動検出のオプションを詳細に指定して検索することができるため、例えば、日本語 JIS や日本語 EUC のファイルからも置換を行うことができます。ファイルから置換では、実際に置換する前に、変更するファイルを EmEditor で開いて確認してから保存することができます。

外部ツールの起動

よく使う外部ツールを定義して、EmEditor のメニューまたはツール バーから起動できるようになりました。これによって、例えば、開いているファイルに関連付けられた外部アプリケーションを起動したり、選択したテキストをインターネットから検索することができます。

機能拡張できるプラグイン

EmEditor の機能を拡張できるプラグインを扱えるようになりました。プラグインは拡張子が DLL のファイルで、簡単にインストールできます。プラグインのヘルプは公開されているので、必要な機能のプラグインを自分で作成することができます。例えば、Spelling プラグインを使って英文のスペルをチェックしたり、DecodeUnicode プラグインを使って

HTML/XML 文字参照または Universal Character Names でエンコードされた選択テキストをデコードできます。また、SortString プラグインを使って選択した行を辞書順に並べ替えたり、単語数を表示することができます。

ドラッグ アンド ドロップ

EmEditor は、OLE ドラッグ&ドロップに対応していますので、ワードパッドや Internet Explorer など、EmEditor 以外の OLE ドラッグ&ドロップに対応したアプリケーションとドラッグ&ドロップで選択テキストのコピー、移動ができます。さらに、EmEditor ウィンドウのタイトルのアイコンをドラッグすることにより、他のアプリケーションから作業中のファイルを開いたり、エクスプローラにドラッグしてコピーできます。

充実した基本性能

EmEditor は、高速、軽量に徹しながら、充実した基本性能を持っています。たとえば、Windows Vista/XP/2000/2003 の場合、4GB 以上の大きさのファイルを開くことができ(メモリに依存、理論的には 500GB まで)、1000 万行以上、1000 万桁以上のファイルを開くこともできます。さらに、回数の制限を自由に設定できる「元に戻す」「やり直し」機能、英文ワードラップ、禁則処理、分割禁止単語など、メモ帳の代わりに日常的に利用できるテキストエディタです。

ウェブ デザイナーにも最適

EmEditor は、HTML、PHP、JSP、XML といったファイルの編集にも最適です。外部ツールで Internet Explorer や Netscape Navigator などのウェブ ブラウザを指定しておけば、編集中の HTML ファイルを簡単にブラウザで表示して確認しながら編集を続けることができます。HTML や各種スクリプト言語のキーワードは、スクリプト言語毎に HTML から独立した設定で色分けして表示されるので、スペルの間違いをすぐに見つけることができます。さらに、HTML で欧文特殊文字などの Unicode 文字を入力しても、保存時には、HTML/XML の文字参照 (“&H10070;”など) または名前による実体参照 (“©”など) で保存されます。EmEditor はファイルを開く時に、<META> タグの charset= で指定したエンコードを利用して開きます。さらに、プラグインを利用して各種タグを入力したり XML 文書の構文解析を行うこともできます。

その他の特長

EmEditor には、他にも次のような特徴があります。

- Unicode 対応の正規表現も利用できる検索と置換
- キーボード、ツール バー、メニュー、フォント、カラーなどのカスタマイズ機能
- ウィンドウの最大 4 分割表示機能
- クリックابل URL、メール アドレスのリンク機能
- Microsoft IntelliMouse に対応
- 印刷機能 (印刷プレビュー、カラー印刷、ヘッダ/フッタ指定)
- 箱型選択の機能 (Alt を押しながらマウスで選択)

16 第 1 章 特長

- 複数の設定が定義できるようになり、拡張子と関連付けが可能
- バックアップをごみ箱に保存可能
- タスク バー上のトレイアイコンから最近使ったファイルを起動
- フリー カーソル モード
- ユーザー定義のメニューを使用した 2 ストローク キー
- スムーズ スクロール
- ワークスペースの自動保存/ロード
- 漢字入力システム (IME、ATOK) の再変換機能に対応
- アクセント付欧文文字、特殊文字が簡単に入力できるショートカット キー

第 2 章 使い方

ファイル操作

EmEditor で編集できるファイルは

EmEditor は、Unicode、Unicode big endian、UTF-8、UTF-7 をはじめ、バルト言語、中央ヨーロッパ言語、簡体字中国語、繁体字中国語、キリル言語、ギリシャ語、日本語 JIS、日本語 EUC、日本語シフト JIS、韓国語、韓国語 EUC、タイ語、トルコ語、ベトナム語、西ヨーロッパ言語など、Windows のシステムにインストールされているすべてのエンコードが利用できます。

Windows 2000/XP/2003 の場合、コントロール パネルの [地域と言語のオプション] を選択し、[言語] タブの [補足言語サポート] でインストールしたい追加の言語をチェックすることにより、さらに多くの言語を利用できます。また、[詳細設定] タブの [コード ページ変換テーブル] で、利用したいエンコードにチェックをします。


利用したいエンコードは、[エンコードの定義] ダイアログ ボックスで追加できます。

改行マークには、CR+LF 以外に、CR のみ、LF のみを混合して扱うことができます。

注意

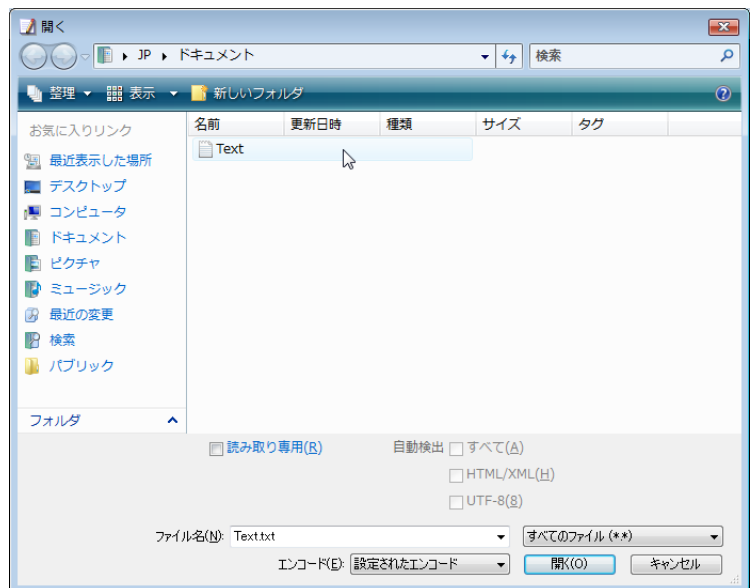
- Unicode が利用できますが、アラビア語、ヘブライ語のような右から左へ書く言語は正しく編集できません。また、Unicode の制御文字はすべてに対応していません。
- Unicode が利用できますが、フォントによって表示できる文字に制限があります。使用する言語により適切なフォントを選択する必要があります。
- Null 文字を含むファイルを開くと、Null 文字がスペースに置き換わりません。

既存のファイルを開くには

1. ツール バーの  をクリックします。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスが表示されるので、開きたいファイルを選択します。

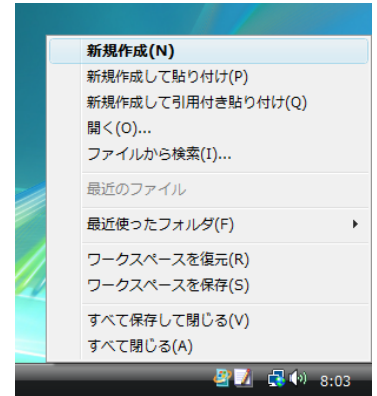
ヒント

- エクスプローラから、開きたいファイルを選択して、右クリックのメニューの [EmEditor] を選択して開くことも




できます。

- トレイアイコンをクリックして表示されるメニューの [開く] を選択することもできます。
- 最近使ったファイルは、[ファイル] メニューから選択することもできます。




ファイルを新規に作成するには

1. ツール バーの  をクリックします。
2. 新しい EmEditor が起動するので、文章を入力します。

ヒント

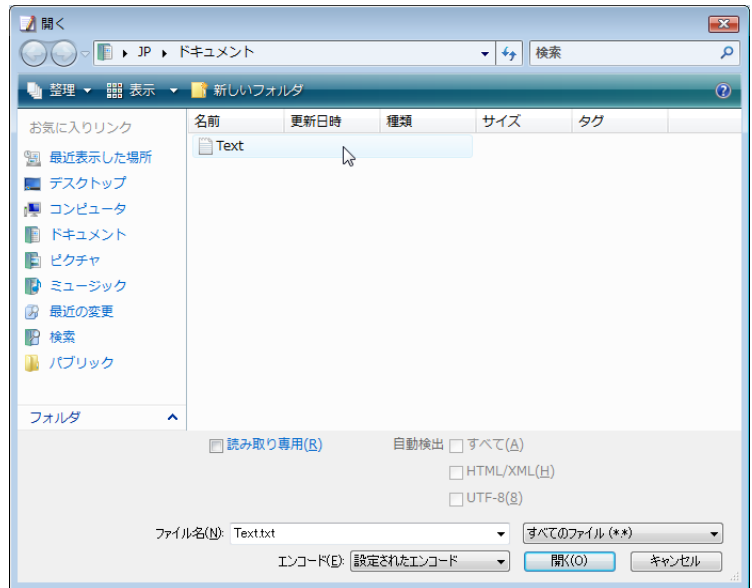
- トレイアイコンをダブル クリックしても新しい EmEditor を開くことができます。

編集したファイルを保存するには



1. ツール バーの  をクリックします。
2. まだファイル名を指定していない場合は、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名を指定します。

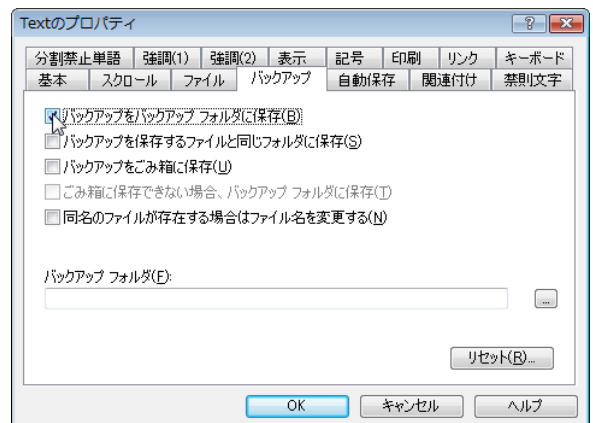
ヒント

- 既に名前が付いているファイルで、名前を変更して保存したい場合は、[ファイル] メニューの [名前を付けて保存] コマンドを選択します。





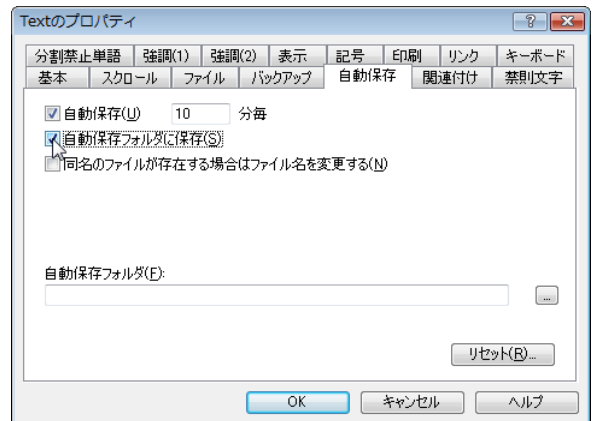
バックアップを作成するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [バックアップ] タブを表示します。
2. [バックアップをバックアップ フォルダに保存] チェックボックスをチェックし、フォルダの保存先を指定します。



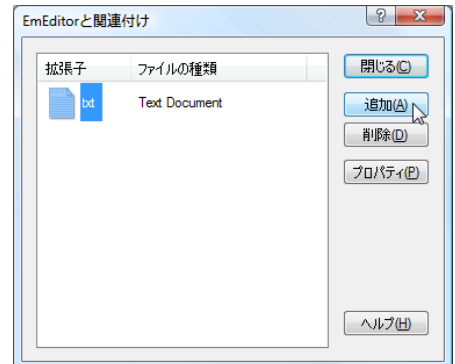
ファイルを定期的に自動で保存するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [自動保存] を表示します。
2. [自動保存] チェック ボックスをチェックし、何分毎に保存するかを指定します。
3. 異なるフォルダに保存するには、[自動保存フォルダに保存] チェック ボックスをチェックし、[自動保存フォルダ] テキスト ボックスに保存先フォルダを指定します。



エクスプローラからファイルをダブルクリックして起動するには


1. [ツール] メニューの [カスタマイズ] コマンドを選択します。
2. [ファイル] タブを選択します。
3. [EmEditor と関連付け] ボタンをクリックします。
4. [追加] ボタンをクリックして [EmEditor と関連付けのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。
5. [拡張子] テキスト ボックスに関連付けたいファイルの拡張子を入力し、[ファイルの種類] に好きな名前を入力し、[アイコン抽出先ファイル名] と [現在のアイコン] から好きなアイコンを選択します。
6. エクスプローラで関連付けられた拡張子のアイコンが指定したアイコンに変わり、そのファイルをダブルクリックするだけで、EmEditor からファイルを開くことができます。



ヒント


- 既に他のプログラムに関連付けられている拡張子を入力して設定しようとする、「この拡張子は、既に '...' に関連付けられています。本当に関連付けを変更してもよろしいですか?」と表示されます。ここで [はい] を選択して関連付けを変更すると、このファイルをダブルクリックしても、以前に関連付けられたプログラムが起動できなくなります。しかし、[EmEditor と関連付け] ダイアログ ボックスで、追加した拡張子を削除すると、以前に関連付けられたプログラムに関連付けが戻ります。
- 関連付けを変更したくない場合、エクスプローラで開きたいファイルの上でマウスの右ボタンをクリックし、表示されるメニューから [EmEditor] を選択することにより、ファイルを開くことができます。

ファイルの拡張子を現在の設定に関連付けるには

1. ツール バーの  をクリックして [現在の設定のプロパティ] を表示し、[関連付け] タブを表示します。

2. [ここで設定する関連付けを有効にする] チェックボックスがチェックされていることを確認します。
3. [追加] ボタンをクリックし、関連付けたい拡張子を入力します。

すべて閉じるには

[Shift] を押しながら、ウィンドウ右上の  をクリックします。

ヒント

次の方法でも、すべて閉じることができます。

- [Alt] + [Shift] + [F4] を押します。
- [Alt] + [Shift] + [X] を押します。
- [ファイル] メニューの [すべて閉じる] コマンドを選択します。
- [Shift] を押しながら、[ファイル] メニューの [閉じる] コマンドを選択します。
- ツール バーをカスタマイズして [すべて閉じる] ボタンを加え、それをクリックします。
- トレイアイコンをマウスで左クリックして表示されるメニューの [すべて閉じる] コマンドを選択します。

すべて保存して閉じるには

[Shift] を押しながら、[ファイル] メニューの [保存して閉じる] コマンドを選択します。

ヒント

次の方法でも、すべて保存して閉じることができます。

- [Ctrl] + [Shift] + [E] を押します。
- [ファイル] メニューの [すべて保存して閉じる] コマンドを選択します。
- トレイアイコンをマウスで左クリックして表示されるメニューから、[すべて保存して閉じる] コマンドを選択します。

コマンドラインを指定するには

Windows の [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択したり、コマンドプロンプトから指定して、EmEditor を実行することができます。コマンドラインは、次のように指定します。

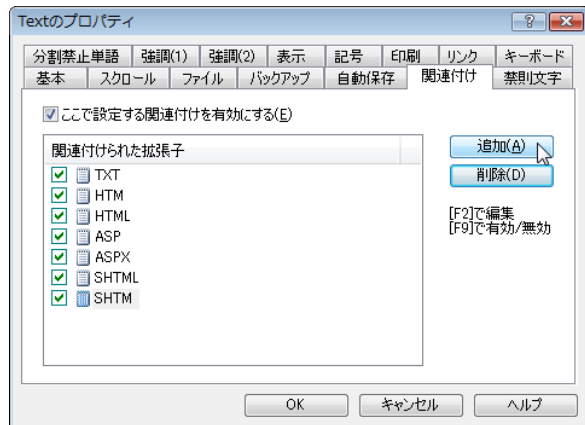
構文

ファイルを開く

```
"File1" "File2" "File3" ... [/r] [/fh] [/nr] [/sp] [/l LineNumber] [/cl
ColumnNumber] [/cp encoding] [/c "Config"] [/mf "MacroPath"]
```

新規作成

```
[/cd] [/sp] [/c "Config"] [/mf "MacroPath"]
```



新規作成して貼り付け

```
[/i] [/cd] [/sp] [/c "Config"] [/mf "MacroPath"]
```

新規作成して引用付き貼り付け

```
[/iq] [/cd] [/sp] [/c "Config"] [/mf "MacroPath"]
```

新規作成して引用と改行付き貼り付け

```
[/iqr] [/cd] [/sp] [/c "Config"] [/mf "MacroPath"]
```

トレイアイコンを新規作成

```
/ti
```

ファイルを印刷

```
"File" /p [/nr] [/sp] [/cp encoding]
```

2 個のファイルを比較

```
/cmp "File1" "File2"
```

エンコードの変換

```
"SrcFile" [/nr] [/sp] [/cp EncodingToOpen] [/c "Config"] /cps EncodingToSave  
/ss+ /sa "DestFile"
```

Unicode サイン (BOM) を付けて保存しない場合は、/ss+ の代わりに /ss- を指定します。

[ファイルから検索] ダイアログ ボックスを表示

```
/fd
```

[ファイルから置換] ダイアログ ボックスを表示

```
/rd
```

ファイルから検索

```
/fc "FindWhat" [/fr] [/fw] [/x] [/fn] [/fu "FilesToIgnore"] [/cp encoding]  
"path"
```

このコマンドは、EmEditor で [ファイルから検索] ダイアログ ボックスで [検索] を選択した直後に内部で呼ばれます。大文字と小文字を区別しない場合は、/fc の代わりに /fi を使用します。

ファイルから置換

```
/fc "FindWhat" [/fr] [/fw] [/x] [/ko] [/fu "FilesToIgnore"] [/cp encoding]  
"path" /rw "RepalceWith" [/bk "BackupFolder"]
```

このコマンドは、EmEditor で [ファイルから置換] ダイアログ ボックスで [すべて置換] を選択した直後に内部で呼ばれます。大文字と小文字を区別しない場合は、/fc の代わりに /fi を使用します。/ko と /bk は同時に指定できません。

ファイルを開いて置換

```
"File" /rc "FindWhat" [/fw] [/x] [/cp encoding] /rw "RepalceWith"
```

このコマンドは、EmEditor でファイルから置換の実行中に内部で呼ばれます。大文字と小文字を区別しない場合は、/rc の代わりに /ri を使用します。

ワークスペースを復元

```
/ws
```

このコマンドは、EmEditor で [ワークスペースを復元] コマンドを実行した際に内部で呼ばれます。

ワークスペースを保存

```
/wss
```

このコマンドは、EmEditor で [ワークスペースを保存] コマンドを実行した際に内部で呼ばれます。

テキスト ボックスの内容を取り込む

```
/eh
```

このコマンドは、[トレイ アイコンの設定] ダイアログ ボックスで指定されている [EmEditor でテキストを取り込むショートカット キー] が押された時に、トレイアイコンから呼ばれます。

ヘルプを表示

```
/?
```

各オプションの説明

/?	ヘルプを表示します。
/act	EmEditor が既に実行されている場合はそれをアクティブにし、実行されていない場合は実行します。
/bk "BackupFolder"	ファイルから置換時バックアップ用フォルダを指定します。
/c "Config"	設定を指定します。
/ca	すべての文書を閉じます。
/car	すべての文書を閉じ、[高速起動] のオプションを使用している場合、隠れて実行中のウィンドウも閉じます。
/cd	ファイルを開くダイアログ ボックスでカレント ディレクトリから開きます。
/cjl	Windows 7 以降で、ジャンプ リストをカスタマイズします。
/cl ColumnNumber	論理桁番号を指定します。
/clw	ワークスペースを消去します。
/cmp "File1" "File2"	2 個のファイルを比較します。

<i>/cp Encoding</i>	開く時のエンコードの指定。エンコード定数で定義されているエンコードと、以下に示す値の組み合わせが指定できます。	
	131072	Unicode サイン (BOM) を検出します。
	262144	UTF-8 を自動検出します。
	524288	HTML/XML の Charset を検出します。
	1048576	すべて自動検出します。
<i>/cps Encoding</i>	エンコードの変換で保存時のエンコードの指定。エンコード定数で定義されているエンコードが指定できます。	
<i>/di "Folder"</i>	新規作成時、作業フォルダを指定します。EmEditor 内部で使用されます。	
<i>/eh</i>	テキスト ボックスの内容を取り込みます。	
<i>/fc "FindWhat"</i>	大文字と小文字を区別してファイルから検索します。	
<i>/fd</i>	[ファイルから検索] ダイアログ ボックスを表示します。	
<i>/fi "FindWhat"</i>	大文字と小文字を区別しないでファイルから検索します。	
<i>/fh</i>	検索した文字列を強調表示します。	
<i>/fn</i>	ファイルから検索時ファイル名のみ取得します。	
<i>/fu "FilesToIgnore"</i>	指定する名前のファイルまたはフォルダを無視します。	
<i>/fr</i>	ファイルから検索時サブフォルダも検索します。	
<i>/fw</i>	ファイルから検索時単語のみを検索します。	
<i>/hide</i>	[高速起動] のオプションを使用している場合、隠れたウィンドウで実行します。	
<i>/i</i>	起動後クリップボードから貼り付け	
<i>/ipi</i>	プラグイン一覧を最新に更新し、プラグイン バーを表示します。プラグインのセットアップから実行します。	
<i>/iq</i>	起動後クリップボードから引用付き貼り付け	
<i>/iqr</i>	起動後クリップボードから引用と改行付き貼り付け	
<i>/ko</i>	ファイルから置換で、変更したファイルを開いたままにします。	
<i>/l LineNumber</i>	論理行番号	
<i>/mf</i>	実行するマクロ ファイル名	
<i>/n</i>	常に新規作成で開始します。	
<i>/ne</i>	イベントで実行するマクロを無効にします。	

/nr	最近使ったファイルにファイル パスを追加しない
/od	開くファイルを選択するために [ファイルを開く] ダイアログ ボックスを表示します。
/p	印刷
/pos left, top, right, bottom	ウィンドウの表示位置を 4 つの整数で指定 (左、上、右、下)
/r	書き換え禁止
/rc "FindWhat"	大文字と小文字を区別してファイルを開いて置換
/rd	[ファイルから置換] ダイアログ ボックスを表示
/ri "FindWhat"	大文字と小文字を区別しないでファイルを開いて置換
/rr	フォルダ内のファイルを再帰的に開きます。
/rw	置換後の文字列を指定
/sa "DestFile"	エンコード変換後の保存先ファイル名を指定します。
/sca	ファイルをすべて保存して閉じます。
/scrlf	エンコード変換後 CR+LF を使用してファイルを保存します。
/scr	エンコード変換後 CR のみを使用してファイルを保存します。
/slf	エンコード変換後 LF のみを使用してファイルを保存します。
/sp	他の EmEditor プロセスと異なるプロセスで実行します。EmEditor プロセスの実行中に編集集中のファイルの更新を監視する他のアプリケーションとともに使用する場合に指定すると便利なことがあります。ただし、これを指定すると、タブの操作など一部の操作ができなくなり、サポートの対象外となります。
/ss+	保存時、Unicode サイン (BOM) を付けます。
/ss-	保存時、Unicode サイン (BOM) を付けません。
/ti	トレイアイコンを新規作成
/x	正規表現を使用してファイルから検索
/ws	ワークスペースを復元
/wss	ワークスペースを保存

例

```
/rr *.htm
```

拡張子が htm のファイルを、サブ フォルダ内も含めてすべて開きます。

```
/p "filename"
```

filename を印刷します。

```
/r "filename"
```

filename を書き換え禁止で開きます。

```
/c "HTML" "filename"
```

filename を HTML の設定で開きます。

```
/l 123 "filename"
```

filename を開き、123 行目にジャンプして表示します。

```
/fh
```

最後に検索した文字列を強調表示します。

```
/ti
```

トレイアイコンとして起動します。

```
/fi "ABC" "c:\Temp\*.txt"
```

c:\Temp のフォルダ上の拡張子が txt のファイルから ABC という文字列を大文字小文字を区別しないで検索します。

```
/fi "abc" /fr /fw /fn /fu "_*;*.bak" /cp 65536 "c:\test\*.htm;*.txt"
```

c:\test のフォルダ上の拡張子が htm または txt のファイルから "abc" という文字列を大文字小文字を区別しないで検索します。その時、サブフォルダも検索し、単語のみを検索し、ファイル名のみを取得し、"_*;*.bak" に一致するファイルは無視し、システム既定エンコードを使用します。

```
/fc "[a-e]" /fr /x /fu "_*;*.bak" /cp 65536 "c:\test\*.htm;*.txt"
```

c:\test のフォルダ上の拡張子が htm または txt のファイルから "[a-e]" という正規表現で、文字列を大文字小文字を区別して検索します。その時、サブフォルダも検索し、"_*;*.bak" に一致するファイルは無視し、システム既定エンコードを使用します。

```
"c:\test\utf16.txt" /cp 65537 /cps 65001 /ss- /sa "c:\test\utf8.txt"/scrlf
```

"c:\test\utf16.txt" という UTF-16LE のファイルを UTF-8 で Unicode サイン (BOM) 無しに変換し、

"c:\test\utf8.txt" というファイル名で保存します。改行は CR+LF に変換します。

ヒント

- ファイルから検索する文字列は、/fc または /fi の直後に指定しなければなりません。
- オプションを何も付けない場合は、指定したファイルを単に開きます。
- /c を付けていない場合で、設定の中に関連付けられている拡張子が一致する場合は、その設定を使って開きます。
- ファイル名の代わりにフォルダ名を指定すると、そのフォルダを既定として [開く] ダイアログ ボックスを表示します。
- コマンドラインの英数字は、大文字と小文字を区別します。例えば /r を /R と書いても認識しません。

最近使ったフォルダからファイルを開くには


1. トレイアイコンをクリックしてメニューを表示し、[最近使ったフォルダ] を選択します。
2. 開きたいフォルダを選択します。
3. [ファイルを開く] ダイアログが表示されるので、開きたいファイルを選択します。

編集

漢字を入力するには

キーボードの Ctrl を押しながら F11 を押すと漢字入力のオン/オフが切り替えられます。

ヒント

- EmEditor 起動時に自動的に漢字入力を有効にするには、ツール バーの  をクリックし、[基本] タブの [かな漢字変換を起動] チェック ボックスをチェックしておきます。

カーソル位置を変更するには

キーボードの矢印キーを押すと、カーソルが上下左右に移動します。

ヒント

- マウスを使ってカーソルを移動させる場合は、移動先の位置でクリックします。


次のキーを使うこともできます。

- Ctrl+→ 単語右へ
- Ctrl+← 単語左へ
- Home 行頭へ
- Alt+Home 論理行の行頭へ
- End 行末へ
- Alt+End 論理行の行末へ
- PageUp (RollDown) 1 ページ上へ
- PageDown (RollUp) 1 ページ下へ
- Ctrl+Home 文頭へ
- Ctrl+End 文末へ

編集を元に戻すには

ツール バーの  をクリックします。

ヒント

- キーボードの [Ctrl] + [Z] を押すことによっても実行できます。
- 元に戻した編集をやり直すには、ツールバーの  をクリックするか、キーボードの [Ctrl] + [Y] を押します。
- 元に戻すことができる最大回数は、プロパティの [基本] タブで設定する [[元に戻す] 最大回数] テキストボックスで設定します。

文書の一部を選択するには

選択開始位置でマウスのボタンを押したまま、マウスを選択終了位置まで移動して離します。

ヒント

- キーボードの [Shift] を押しながら矢印キーを押すことによっても文書の一部を選択できます。
- キーボードの [F8] を押して矢印キーを押すことによっても文書の一部を選択できます。
- 行を選択する場合は、ウィンドウの左端をマウスで選択するか、[Ctrl] + [F8] を押します。
- 箱型で選択するには、[Alt] を押しながらマウスで選択するか、[Shift] + [Ctrl] + [F8] を押します。

文書のすべてを選択するには

[編集] メニューの [すべてを選択] コマンドを選択します。

ヒント

- キーボードの [Ctrl] + [A] を押すことによっても文書のすべてを選択できます。

折り返し位置の改行を挿入または削除するには

改行を挿入または削除する文書を選択し、[編集] メニューの [選択範囲の変換] - [改行を挿入] コマンドまたは [改行を削除] コマンドを選択します。

注意

- 行を折り返さない設定では、この操作は無効となります。

大文字と小文字を変換するには

大文字と小文字を変換したい文書を選択し、[編集] メニューの [選択範囲の変換] - [大文字に変換] コマンドまたは [小文字に変換] コマンドを選択します。

書き換え禁止にするには

[編集] メニューの [書き換え禁止] コマンドを選択します。

注意

- 文書に変更がある場合は、「変更を破棄して続行しますか?」というメッセージが表示されます。ここで、[はい] を選択すると、文書の変更が破棄されます。

タグ ジャンプを行うには

「ファイル名(行番号):」という形式が行の最初に存在する場合、その行にカーソルを合わせて、[編集] メニューの [タグ ジャンプ] コマンドを選択すると、指定されたファイル名の指定行にジャンプします。

タブのインデント機能

テキストの一部を選択した状態で [Tab] (タブ) を押すと、選択されたテキストがタブに置き換わるのではなく、選択されている行全体が右にインデントする動作になります。Shift + Tab では、選択されているテキスト全体が左にインデントします。

引用マーク付き貼り付けを行うには

1. [ツール] メニューから [すべてのコマンド] コマンドを選択します。
2. [編集]-[貼り付け]-[引用付き貼り付け] コマンドを選択します。

ヒント

既定では、キーボードの [Ctrl] + [B] を押しても実行できます。

特殊文字を入力するには

[編集] メニューから [高度な操作] を選択し、さらに [特殊文字を入力] コマンドを選択します。入力するコード値については、欧文文字のサンプルを参考にしてください。

次の文字については、既定のショートカット キーが利用できます。

低アクセント付文字 **à á â ã ä å Æ È É Ì Ï Ò Ù**

Ctrl + Shift + @, 文字

(日本語キーボードでは、Shift + @ は ` (低アクセント) を表します)

鋭アクセント文字 **á é í ó ú ý Á É Í Ó Ú Ý é é š Ź**

Ctrl + Shift + 7, 文字

(日本語キーボードでは、Shift + 7 は ' (アポストロフィ) を表します)

曲折アクセント文字 **â ê ï ò û Â Ê Î Ï Ò Ù**

Ctrl + ^, 文字

ティルデ文字 **ã ñ õ Ã Ñ Õ ë ù Ë Û**

Ctrl + Shift + ^, 文字

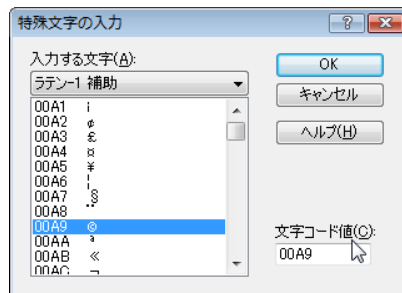
(日本語キーボードでは、Shift + ^ は ~ (ティルデ) を表します)

ウムラウト付文字 **ä å ï ö ü ý Ä È Í Ï Ò Ù Ÿ**

Ctrl + : (コロン), 文字

輪付文字 **å Å**

Ctrl + @



合字 æ œ Œ Œ

Ctrl + Shift + 6, a, A, o または O

(日本語キーボードでは, Shift + 6 は & を表します)

鋭 s ß

Ctrl + Shift + 6, s

(日本語キーボードでは, Shift + 6 は & を表します)

セディーユ付文字 ç Ç

Ctrl + , (カンマ), c または C

Eth ð Ð

Ctrl + Shift + 7, d または D

(日本語キーボードでは, Shift + 7 は ' (アポストロフィ) を表します)

斜線付文字 ø Ø

Ctrl + /, o または O

キャロン付文字 ǎ ĭ ǒ ů Ā Ī Ŏ Ū

Alt + ^, 文字

セント ¢

Ctrl + /, c

逆立ち疑問符 ¿

Alt + Ctrl + Shift + /

(日本語キーボードでは, Shift + / は ? を表します)

逆立ち感嘆符 ¡

Alt + Ctrl + Shift + 1

(日本語キーボードでは, Shift + 1 は ! を表します)

度 °

Ctrl + @, スペース

コピーライト ©

Alt + Ctrl + C

登録商標 ®

Alt + Ctrl + R

商標 ™

Alt + Ctrl + T

ユーロ €

Alt + Ctrl + E

1 重開始引用符 ‘

Ctrl + Shift + @, ` (低アクセント)

(日本語キーボードでは、Shift + @ は ` (低アクセント) を表します)

1 重終了引用符 ’

Ctrl + Shift + 7, ' (アポストロフィ)

(日本語キーボードでは、Shift + 7 は ' (アポストロフィ) を表します)

2 重開始引用符 “

Ctrl + Shift + @, ”

2 重終了引用符 ”

Ctrl + Shift + 7, ”

注意

これらのショートカット キーが動作しない場合、プロパティをリセットする必要があるかもしれません。プロパティの [キーボード] タブを表示して、[リセット] ボタンをクリックします。

欧文文字のサンプル


ここに示す欧文文字を入力するには、[編集] メニューから [高度な操作] を選択し、さらに [特殊文字を入力] コマンドを選択し、ここに示すコード値を入力します。

00A0		00A1	ı	00A2	ç	00A3	£	00A4	□	00A5	¥	00A6	‡	00A7	§
00A8	”	00A9	©	00AA	ª	00AB	«	00AC	¬	00AD	-	00AE	®	00AF	¯
00B0	°	00B1	±	00B2	²	00B3	³	00B4	´	00B5	µ	00B6	¶	00B7	·
00B8	¸	00B9	¹	00BA	º	00BB	»	00BC	¼	00BD	½	00BE	¾	00BF	¿
00C0	À	00C1	Á	00C2	Â	00C3	Ã	00C4	Ä	00C5	Å	00C6	Æ	00C7	Ç
00C8	È	00C9	É	00CA	Ê	00CB	Ë	00CC	Ì	00CD	Í	00CE	Î	00CF	Ï
00D0	Ð	00D1	Ñ	00D2	Ò	00D3	Ó	00D4	Ô	00D5	Õ	00D6	Ö	00D7	×
00D8	Ø	00D9	Ù	00DA	Ú	00DB	Û	00DC	Ü	00DD	Ý	00DE	Þ	00DF	ß
00E0	à	00E1	á	00E2	â	00E3	ã	00E4	ä	00E5	å	00E6	æ	00E7	ç
00E8	è	00E9	é	00EA	ê	00EB	ë	00EC	ì	00ED	í	00EE	î	00EF	ï
00F0	ð	00F1	ñ	00F2	ò	00F3	ó	00F4	ô	00F5	õ	00F6	ö	00F7	÷
00F8	ø	00F9	ù	00FA	ú	00FB	û	00FC	ü	00FD	ý	00FE	þ	00FF	ÿ
0100	Ā	0101	ā	0102	Ă	0103	ă	0104	Ą	0105	ą	0106	Ć	0107	ć
0108	Ĉ	0109	ĉ	010A	Ċ	010B	ċ	010C	Č	010D	č	010E	Ď	010F	ď
0110	Đ	0111	đ	0112	Ē	0113	ē	0114	Ě	0115	ě	0116	Ĕ	0117	ė
0118	Ę	0119	ę	011A	Ė	011B	ė	011C	Ĝ	011D	ğ	011E	Ğ	011F	ğ
0120	Ġ	0121	ġ	0122	G	0123	ĝ	0124	Ĥ	0125	ĥ	0126	H	0127	h

0128	Ī	0129	ī	012A	Ī	012B	ī	012C	Ī	012D	ī	012E	Ī	012F	ī
0130	Ī	0131	ı	0132	Ī	0133	ij	0134	Ī	0135	j	0136	Ī	0137	k
0138	κ	0139	Ī	013A	Ī	013B	Ī	013C	Ī	013D	Ī	013E	Ī	013F	Ī
0140	Ī	0141	Ī	0142	Ī	0143	Ī	0144	ñ	0145	Ī	0146	Ī	0147	Ī
0148	ñ	0149	h	014A	Ī	014B	Ī	014C	Ö	014D	ö	014E	Ö	014F	ö
0150	Ö	0151	ö	0152	œ	0153	œ	0154	Ŕ	0155	ŕ	0156	Ŕ	0157	ŕ
0158	Ŕ	0159	ŕ	015A	Š	015B	š	015C	Š	015D	š	015E	Š	015F	š
0160	Š	0161	š	0162	Ŧ	0163	t	0164	Ŧ	0165	t	0166	Ŧ	0167	t
0168	Ũ	0169	ū	016A	Ū	016B	ū	016C	Ũ	016D	ū	016E	Ū	016F	ū
0170	Ū	0171	ū	0172	Ū	0173	ū	0174	Ŵ	0175	w	0176	Ŷ	0177	ŷ
0178	Ŷ	0179	Ž	017A	ž	017B	Ž	017C	ž	017D	Ž	017E	ž	017F	f

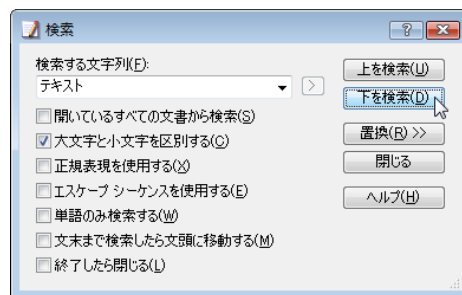
検索

検索するには

1. ツール バーの  をクリックして、[検索] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [検索する文字列] ドロップダウン リスト ボックスに検索したい文字列を指定します。現在カーソルのある位置から上もしくは下を選択して検索することが可能です。

ヒント

- [大文字と小文字を区別する] チェック ボックスをチェックすることで、大文字と小文字の判別を有効にします。




置換するには

1. [検索] メニューの [置換] コマンドを選択して、[置換] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [検索する文字列] ドロップダウン リスト ボックスに検索したい文字列を [置換後の文字列] ドロップダウン リスト ボックスに置換後の文字列を指定します。
3. [置換] ボタンをクリックすると、次の文字列を置換します。

ヒント

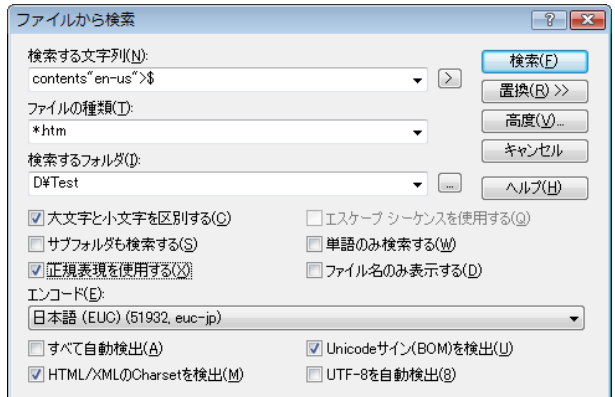
- [大文字と小文字を区別する] チェック ボックスをチェックすることで、大文字と小文字の判別を有効にします。
- [すべて置換] ボタンをクリックすると、すべての文字列を一度に置換します。

ファイルから検索するには

1. ツール バーの  をクリックして、[ファイルから検索] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [検索する文字列]、[ファイルの種類]、[検索するフォルダ] を指定し検索します。

ヒント

- [大文字と小文字を区別する] チェック ボックスを
チェックすることで、大文字と小文字の判別を有効
にします。
- [サブフォルダも検索する] チェック ボックスをチ
ェックすることで、サブフォルダからも検索します。
- [エンコード] ドロップダウン リスト ボックスで、エン
コードを指定することができます。



ファイルから置換するには

1. [検索] メニューの [ファイルから置換] コマンドを選択して、[ファイルから置換] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [検索する文字列]、[置換後の文字列]、[ファイルの種類]、[検索するフォルダ] を指定し [すべて置換] ボタンをクリックします。
3. 置換が終了したら、ファイルが変更された状態になっているので、正しく置換されていることを確認します。
4. 正しく置換されていたら、[ファイル] メニューの [すべて保存して閉じる] コマンドを選択します。すべての置換をキャンセルしたい場合は、[ツール] メニューから [すべてのコマンド] コマンドを選択し、[ファイル] - [閉じる] - [すべて保存しないで閉じる] コマンドを選択します。

ヒント

- [大文字と小文字を区別する] チェック ボックスをチェックすることで、大文字と小文字の判別を有効にします。
- [サブフォルダも検索する] チェック ボックスをチェックすることで、サブフォルダからも検索します。
- [変更したファイルを開いたままにする] チェック ボックスをチェックすると、実際に置換する前に、変更するファイルを EmEditor で開いて確認してから保存することができます。この場合、1 回で置換できるファイル数は [カスタマイズ] ダイアログ ボックスの [検索] タブの [開いたままファイルから置換の最大数] テキスト ボックスで指定した数に制限されています。その場合は、正しく置換されていることを確認してすべてのファイルを保存して閉じてから、上記の操作を繰り返します。

正規表現を使用するには

正規表現は、開いている文書または複数のファイルからテキスト パターンを見つけるのに使用できます。正規表現は、通常の文字、つまりリテラル (たとえば、a から z までの文字)、メタ文字と呼ばれる特殊文字から成り立つテキスト パターンです。このパターンはテキスト検索時、1 つまたはそれ以上の文字列と一致します。

正規表現を使用するには、

1. [検索] メニューから [検索] コマンド (現在のファイルからテキスト パターンを検索する場合)、[置換] コマンド (テキスト パターンを検索して置換する場合)、または [ファイルから検索] コマンド (複数のファイルからテキスト パターンを検索する場合) を選択します。
2. [正規表現を使用する] チェック ボックスをチェックします。
3. 検索したい正規表現を入力し、検索ボタンをクリックします。[ファイルから検索] では、ファイルの種類 (1 つ以上の場合セミコロンで区切ります) と検索するフォルダを指定します。[置換] では、検索したテキスト パターンの置換後のテキストも入力することができます。

検索文字列の強調を解除するには

検索された文字列の強調を解除するには [検索] メニューの [検索文字列の強調を解除] コマンドを選択します。

正規表現構文

EmEditor は、Perl の正規表現構文に基づいています。

リテラル

".", "|", "*", "?", "+", "(", ")", "{", "}", "[", "]", "^", "\$" および "\\$" を除くすべての文字はリテラルです。これらの文字は、"\\$" が前に付くとリテラルになります。例えば、"\\$?" の検索は文書内のすべての "?" に一致し、"hello" の検索は文書内のすべての "hello" に一致します。

メタ文字

次の表は、メタ文字の全リストと、正規表現におけるメタ文字の動作を示しています。

\\$	次に続く文字が特殊文字、リテラル、前方参照、または 8 進エスケープであることを示します。たとえば、"n" は文字 "n" と一致しますが、"\n" は改行文字と一致します。"\\$" は "\\$" と、"\(" は "(" と一致します。
^	行の先頭と一致します。たとえば、"e" は行頭の "e" と一致します。
\$	行の末尾と一致します。たとえば、"e\$" は行末の "e" と一致します。
*	直前の文字または部分式と 0 回以上一致します。たとえば、zo* は "z" と "zoo" のどちらにも一致します。* は {0,} と同じ意味です。
+	直前の文字または部分式と 1 回以上一致します。たとえば、'zo+' は "zo" や "zoo" とは一致しますが、"z" とは一致しません。+ は {1,} と同じ意味です。
?	直前の文字または部分式と 0 回または 1 回一致します。たとえば、"do(es)?" は "do" または "does" の "do" と一致します。? は {0,1} と同じ意味です。
{n}	n には、0 以上の整数を指定します。正確に n 回一致します。たとえば、'o{2}' は "Bob" の "o" とは一致しませんが、"foooood" の 2 つの "o" とは一致します。
{n,}	n には、0 以上の整数を指定します。少なくとも n 回一致します。たとえば、'o{2}' は "Bob" の "o" とは一致しませんが、"foooood" のすべての "o" とは一致します。"o{1,}" は "o+" と同じ意味です。"o{0,}" は "o*" と同じ意味です。
{n,m}	m および n には 0 以上の整数を指定します。n は m 以下です。n ~ m 回一致します。たとえば、"o{1,3}" は "foooood" の最初の 3 つの "o" と一致します。"o{0,1}" は "o?" と同じ意味です。カンマと

	数の間には空白を入れません。
?	ほかの量指定子 (*, +, ?, {n}, {n,}, {n,m}) の直後に指定すると、一致パターンが最短一致になります。既定のパターンでは、できるだけ多くの文字列と一致するのに比べて、最短一致パターンでは、できるだけ少ない文字列と一致します。たとえば、文字列 "oooo" に対して、'o+' を指定すると 1 つの "o" と一致し、'o+' を指定するとすべての "o" と一致します。
.	任意の 1 文字に一致します。たとえば、".e" は、"he"、"we"、"me" のいずれかと一致します。[正規表現「.」が改行文字に一致することができる] チェック ボックスがチェックされている場合、[正規表現で検索する追加行数] テキスト ボックスで指定する行数の範囲内で、改行にも一致します。
(pattern)	() は、2 つの目的があります: pattern を部分式にグループ化することと、一致した文字列を取得することです。たとえば "(ab)*" は "ababab" という文字列すべてに一致します。部分式は左から右の順に番号化された後方参照 (以下を参照) によって取得できます。かっこ () と一致させるには、'¥(' または '¥)' を指定します。
¥1 - ¥9	後方参照を示します。後方参照は、一致した部分式への参照です。参照は部分式が一致したものであり、表現そのものではありません。後方参照はエスケープ文字 "¥" とそれに続く数字 "1" - "9" から成り立っています。後方参照は [検索] メニューの [置換] を選択したときに使います。正規表現を使ってテキスト パターンを見つけ、一致したテキストは指定した後方参照で置換されます。たとえば、"(h)(e)" は "he" を見つけ、[置換後の文字列] に入力した "¥1" は "he" を "h" に変換し、"¥2¥1" は "he" を "eh" に変換します。
(?:pattern)	pattern と一致しても、その文字列が記憶されない部分式です。後方参照で使用できません。"または" を意味する () を使用して、パターンの一部を結合するときに便利です。たとえば、'industryindustries' と指定する代わりに、'industr(?:yies)' と指定する方が簡潔です。
(?=pattern)	肯定先読みを実行する部分式です。pattern に一致する文字列が始まる位置にある検索文字列と一致します。一致した文字列は記憶されず、後で使用することはできません。たとえば "x(=abc)" は、abc が後に続く場合のみ "x" に一致します。pattern には改行を含めることはできません。
(?!pattern)	否定先読み検索を実行する部分式です。pattern に一致しない文字列が始まる位置にある検索文字列と一致します。一致した文字列は記憶されず、後で使用することはできません。たとえば "x(?!abc)" は、abc が後に続かない場合のみ "x" に一致します。pattern には改行を含めることはできません。
(?<=pattern)	肯定後読みを実行する部分式です。pattern に一致する文字列で終わる位置にある検索文字列と一致します。一致した文字列は記憶されず、後で使用することはできません。たとえば "(?<=abc)x" は、abc の後に続く場合のみ "x" に一致します。pattern には改行を含めることはできません。pattern は固定長である必要があります。
(?<!pattern)	否定後読み検索を実行する部分式です。pattern に一致しない文字列で終わる位置にある検索文字列と一致します。一致した文字列は記憶されず、後で使用することはできません。たとえば "(?<!abc)x" は、abc の後に続かない場合のみ "x" に一致します。pattern には改行を含めることはできません。pattern は固定長である必要があります。
x y	x または y と一致します。たとえば、"z food" は "z" または "food" と一致します。'(z f)ood' は、"zood" または "food" に一致します。
[xyz]	文字セットを指定します。角かっこで囲まれた文字のいずれかに一致します。たとえば、'[abc]' は "plain" の 'a' と一致します。
[^xyz]	除外する文字セットを指定します。角かっこで囲まれた文字以外の文字に一致します。たとえば、'[abc]' は "plain" の 'p' と一致します。
[a-z]	文字の範囲を指定します。指定した範囲に含まれる任意の文字に一致します。たとえば、'[a-z]' は小

	文字の英字 a ~ z の範囲にある任意の文字と一致します。
[^a-z]	否定の文字の範囲を指定します。指定した範囲に含まれていない任意の文字に一致します。たとえば、'^a-z]' は小文字の英字 a ~ z の範囲外にある任意の文字と一致します。

文字クラス

次の文字クラスは、文字セットの中で、"[classname:]" のように使用されます。例えば、"[[:space:]]" はすべての空白文字のセットを表します。

alnum	任意の英数字。
alpha	任意のアルファベット a-z、A-Z、その他の文字。
blank	任意の空白文字、空白またはタブ。
cntrl	任意のコントロール文字。
digit	任意の数字 0-9。
graph	任意のグラフィック文字。
lower	任意の a-z、その他の小文字。
print	任意の表示できる文字。
punct	任意の句読点。
space	任意の空白文字。
upper	任意の A-Z、その他の大文字。
xdigit	任意の 16 進数文字 0-9、a-f、A-F。
word	任意の単語文字 (すべての alpha 文字と下線)。
unicode	文字コード値が 256 以上の任意の文字。

1 文字エスケープシーケンス

次のエスケープシーケンスは 1 文字のエイリアスです。

¥a	0x07 ベル文字
¥f	0x0C フォーム フィード
¥n	0x0A 改行
¥r	0x0D 復帰
¥t	0x09 タブ
¥v	0x0B 垂直タブ
¥e	0x1B エスケープ文字
¥0dd	0dd 8 進数
¥xXX	0xXX 16 進数(Unicode)
¥x{XXXX}	0xXXXX 16 進数(Unicode)
¥cZ Z-'@'	Ctrl-Z (Z は、'@"以下の任意の文字コード)

単語の区切り

次のエスケープシーケンスは、すべての文字クラスを表現するのに使われます。

¥<	単語の開始位置に一致します。
¥>	単語の終了位置に一致します。
¥b	単語の区切り(単語の開始または終了位置)に一致します。
¥B	単語の区切りでないときに一致します。

エスケープ シーケンス

次のエスケープ シーケンスは、すべての文字クラスを表現するのに使われます。

¥w	単語に使用される任意の文字と一致します。英数字とアンダースコアが含まれます。
¥W	¥w の補完です。
¥s	空白、タブ、フォーム フィールドなどの任意の空白文字と一致します。
¥S	¥s の補完です
¥d	任意の数字 0 から 9 と一致します。
¥D	¥d の補完です。
¥l	任意の小文字 a から z と一致します。
¥L	¥l の補完です。
¥u	任意の大文字 A から Z と一致します。
¥U	¥u の補完です。
¥C	任意の文字と一致します。'.'と同等です。
¥Q	引用始まり演算子です。ここから引用終わり演算子"¥E"までは、リテラルとして扱われます。
¥E	引用終わり演算子です。¥Q から始まるシーケンスを終了します。

置換表現

[置換] ダイアログ ボックスおよび [ファイルから置換] ダイアログ ボックスでは、次の表現が [置換後の文字列] ドロップダウンリスト ボックスで使用できます。

¥0	正規表現全体への後方参照を示します。
¥1 - ¥9	後方参照は、一致した部分式への参照です。参照は部分式が一致したものであり、表現そのものではありません。後方参照はエスケープ文字"¥"とそれに続く数字"1"-"9"から成り立っています。
¥n	改行
¥r	ファイルから置換では、復帰文字として使用します。改行の指定方法もお読みください。
¥t	タブ
¥L	次に続く文字列を小文字に変換します。
¥U	次に続く文字列を大文字に変換します。
¥H	次に続く文字列を半角に変換します。
¥F	次に続く文字列を全角に変換します。
¥E	以前の ¥L、¥U、¥F、または ¥H による変換を終了します。

(?n:true_expression:false_expression)	部分式 N が一致した場合、true_expression に変換されます。一致しない場合は false_expression に変換されます。
---------------------------------------	--

注意

- [ファイルから検索] および [ファイルから置換] では、復帰 (¥r) と改行 (¥n) を厳密に分けて検索する必要があります。指定方法の違いについて、詳しくは、改行の指定方法をお読みください。
- “¥l”、“¥u”とその補完のように、エスケープ シーケンスによっては、大文字と小文字を区別するがチェックされていることが必要です。

著作権表示

EmEditor の正規表現検索ルーチンは、Boost ライブラリの Regexp++ を利用しています。

Copyright (c) 1998–2001 Dr John Maddock

改行の指定方法

各種検索時に改行の指定方法は次のようになります。

[検索] ダイアログ ボックス、[置換] ダイアログ ボックス – 検索する文字列、置換後の文字列

[正規表現を使用する] がオン	¥n または ¥r¥n (どちらでも同じ意味)
[正規表現を使用する] がオフ (エスケープ シーケンスを使用する)	¥n または ¥r¥n (どちらでも同じ意味)

[ファイルから検索] ダイアログ ボックス、[ファイルから置換] ダイアログ ボックス – 検索する文字列

[正規表現を使用する] がオン	¥r¥n、¥r、または ¥n (実際の改行方法に依存)
[正規表現を使用する] がオフ (エスケープ シーケンスを使用する)	¥n または ¥r¥n (どちらでも同じ意味)

[ファイルから置換] ダイアログ ボックス – 置換後の文字列

	[変更したファイルを開いたままにする] がオン	[変更したファイルを開いたままにする] がオフ
[正規表現を使用する] がオン	¥r¥n、¥r、または ¥n (実際の改行方法に依存)	¥r¥n、¥r、または ¥n (実際の改行方法に依存)
[正規表現を使用する] がオフ (エスケープ シーケンスを使用する)	¥n または ¥r¥n (どちらでも同じ意味)	¥r¥n、¥r、または ¥n (実際の改行方法に依存)

ヒント

- 「¥n または ¥r¥n (どちらでも同じ意味)」の場合、CR+LF、CR のみ、LF のみを区別して検索することができません。
- 「¥r¥n、¥r、または ¥n (実際の改行方法に依存)」の場合、実際の改行方法が CR+LF ならば ¥r¥n と、CR のみならば ¥r と LF のみならば ¥n と指定する必要があります。通常、Windows では CR+LF つまり ¥r¥n を利用します。Macintosh では CR のみ (¥r) を Unix では LF のみ (¥n) を利用します。

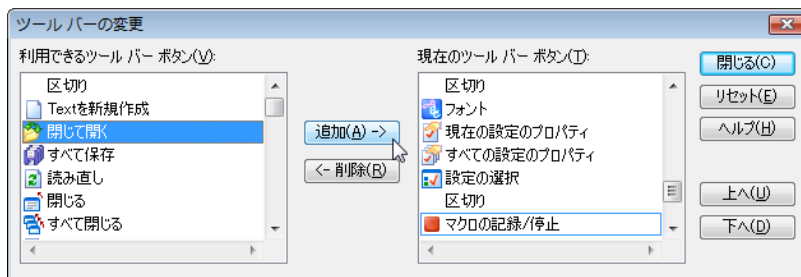
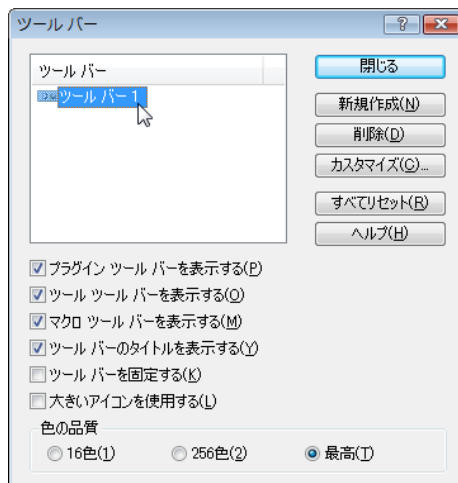
表示

ツール バーの表示を変更するには

1. [ツール]メニューの[ツール バーの変更]を選択して、[ツール バーの変更]ダイアログ ボックスを表示します。
2. [ツール バー]リストボックスから、変更したいツール バー ([ツール バー 1] など)を選択してダブルクリックして、[ツール バーの変更]ダイアログ ボックスを表示します。
3. [利用できるツール バー ボタン]の一覧から追加したいアイコンを選択し[追加] ボタンをクリックします。

ヒント

- ツール バー上のボタン以外の場所で、マウスでダブルクリックすることによっても、[ツール バーの変更]ダイアログ ボックスが表示されます。
- ツール バー上の動かしたいボタンの上で、[Shift] を押しながらマウスでドラッグすることによって、場所を変更することができます。また、ツール バーの外にドラッグすることによって、そのボタンを消すことができます。
- [表示]メニューの[ツール バー]を選択すると、ツール バー全体の表示/非表示を切り替えられます。










ツール バーのボタン一覧

Text を新規作成	新規に Text ファイルを作成します。
開く	既存のファイルを開きます。
閉じて開く	ファイルを閉じてから既存のファイルを開きます。
上書き保存	ファイルを保存します。
すべて保存	開いているファイルをすべて保存します。
同じエンコードで読み直し	ファイルを同じエンコードで読み直します。
印刷	ファイルを印刷します。

 印刷プレビュー	この文書の印刷方法を表示します。
 閉じる	このウィンドウを閉じます。
 すべて閉じる	すべてのウィンドウを閉じます。
 切り取り	選択範囲を切り取ってクリップボードに保存します。
 コピー	選択範囲をコピーしてクリップボードに保存します。
 貼り付け	クリップボードの内容を貼り付けます。
 元に戻す	直前の操作を元に戻します。
 やり直し	直前の操作をやり直します。
 ジャンプ	指定行へジャンプします。
 検索	指定した文字列を検索します。
 前を検索	前を検索します。
 次を検索	次を検索します。
 置換	指定した文字列を他の文字列で置換します。
 検索文字列の強調を解除	検索した文字列の強調表示を解除します。
 ファイルから検索	複数のファイルから検索します。
 折り返さない	行を折り返さないで表示します。
 指定文字数で折り返し	行を指定文字数で折り返します。
 ウィンドウの右端で折り返し	行をウィンドウの右端で折り返します。
 ページの右端で折り返し	ページの右端で折り返します。
 フォントの設定	フォントを設定します。
 現在の設定のプロパティ	現在の設定のプロパティを変更します。
 すべての設定のプロパティ	すべての設定のプロパティを変更します。
 設定の選択	設定を定義します。
 カスタマイズ	アプリケーション共通の設定を行います。
 マクロの記録/停止	マクロの記録を開始または終了します。
 マクロの実行	マクロを実行します。
 常に最上位	このウィンドウを常に手前に表示または解除します。
 ブックマークを設定/解除	現在行のブックマークのオン/オフを切り替えます。
 すべてのウィンドウの前のブックマーク	すべてのウィンドウで前のブックマークへ移動します。

 すべてのウィンドウの次のブックマーク	すべてのウィンドウで次のブックマークへ移動します。
 このウィンドウのブックマークをクリア	このウィンドウのすべてのブックマークをクリアします。
 保存して閉じる	ファイルを保存して閉じます。
 すべて保存して閉じる	ファイルをすべて保存して閉じます。
 対応するかっこへ	対応するかっこへ移動します。
 行の 2 重化	カーソルのある論理行全体を 2 重化します。
 特殊文字を入力	特殊文字を入力します。
 記号	改行/EOF/タブ記号の表示/非表示を切り替えます。
 コメント挿入	選択範囲をコメントにします。
 コメント削除	選択範囲のコメント記号を削除します。
 インデント	選択範囲の行インデントを増やします。
 逆インデント	選択範囲の行インデントを少なくします。
 マクロを保存	一時マクロを保存します。
 マクロを編集	選択したマクロを編集します。
 マクロを選択	選択したマクロを選択します。
 水平に分割して位置を固定	ウィンドウを水平に分割して位置を固定します。
 すべて結合	すべてのウィンドウを結合します。
 大きいフォント サイズ	表示フォントのサイズを大きくします。
 小さいフォント サイズ	表示フォントのサイズを小さくします。
 ファイルから置換	複数のファイルから文字列の置換を行います。
 このウィンドウの前のブックマーク	このウィンドウの前のブックマークに移動します。
 このウィンドウの次のブックマーク	このウィンドウの次のブックマークに移動します。
 削除	選択範囲またはカーソル上の文字を 1 文字削除します。
 全画面表示	全画面表示を切り替えます。
 固定箱型選択モード	固定箱型選択モードに切り替えます。
 アウトラインをすべて縮小	アウトライン表示時、文書全体を縮小して表示します。
 アウトラインをすべて展開	アウトライン表示時、文書全体を展開して表示します。
 名前を付けて保存	ファイルに名前を付けて保存します。
 クリップボード リングの回転	クリップボードの履歴の中から内容を貼り付けます。

 通常モード	区切り表示モードを解除します。
 CSV モード	CSV (カンマ区切り) モードを選択します。
 TSV モード	TSV (タブ区切り) モードを選択します。
 DSV モード	DSV (ユーザー定義区切り) モードを選択します。
 部分編集の設定/解除	選択範囲のみを編集可能な領域として設定または解除します。
 A から Z へ並べ替え	現在の列のテキストを昇順で並べ替えます。
 Z から A へ並べ替え	現在の列のテキストを降順で並べ替えます。
 小さい値から大きい値へ並べ替え	現在の列の数値を昇順で並べ替えます。
 大きい値から小さい値へ並べ替え	現在の列の数値を降順で並べ替えます。
 比較	最近表示した 2 個の文書をオプションを指定せずに比較します。
 再スキャン	比較した文書を再スキャンして結果を最新情報に更新します。
 同期スクロール	最近表示した 2 個の文書をオプションを指定せずに同期スクロールします。
 リセット	比較や同期スクロールをリセットして比較結果をクリアします。
 行番号	行番号の表示/非表示を切り替えます。
 ルーラ	ルーラの表示/非表示を切り替えます。
 自動インデント	自動インデントを有効にします。
 タブの代わりに空白を挿入	タブの代わりに空白を挿入します。
 折り返しインデント	折り返しインデントを有効にします。
 タブの桁数	ポップアップ メニューを表示してタブの桁数を選択します。
 インデントの桁数	ポップアップ メニューを表示してインデントの桁数を選択します。
 HTML/XML 文字参照を Unicode に変換	選択テキストを HTML/XML 文字参照から Unicode に変換します。
 Unicode を HTML/XML 文字参照に変換	選択テキストを Unicode から HTML/XML 文字参照に変換します。
 Universal Character Names を Unicode に変換	選択テキストを Universal Character Names から Unicode に変換します。
 Unicode を Universal Character Names に変換	選択テキストを Unicode から Universal Character Names に変換します。
 スペル チェック	文書のスペル チェックを行います。
 エクスプローラ	[エクスプローラ] プラグイン。
 検索バー	[検索バー] プラグイン。
 HTML バー	[HTML バー] プラグイン。

 開いている文書	[開いている文書] プラグイン。
 アウトライン	[アウトライン] プラグイン。
 プロジェクト	[プロジェクト] プラグイン。
 検索	[検索] プラグイン。
 スニペット	[スニペット] プラグイン。
 Web プレビュー	[Web プレビュー] プラグイン。
 単語補完	[単語補完] プラグイン。
 単語数	[単語数] プラグイン。

ステータス バーの表示内容


ウィンドウ下部に表示されているステータス バーには、一番左から次の情報が表示されています。(既定の設定の場合)

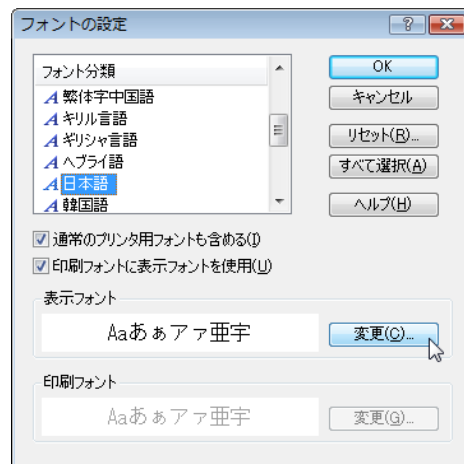
- 選択中のメニューまたはツール バーのコマンドの補足説明 (コマンドを選択中以外は空白になっています)。
- 現在選択されている設定の名称
- カーソルのある行と桁
- 開いた時に使用したエンコード
- 上書きモードが有効かどうか (上書)
- 書き換え禁止モードが有効かどうか (書禁)

ヒント



- ほとんどの項目はダブル クリックして設定を変更することができます。
- ステータス バーに表示する項目は、[カスタマイズ] ダイアログの [ステータス] タブで設定できます。

フォントを変更するには

1. ツール バーの  の矢印でない部分をクリックして [フォントの指定] ダイアログ ボックスを表示します。
2. [表示フォント] ボックス内の [変更] ボタンをクリックします。
3. [フォント名]、[サイズ]、[スタイル] を指定します。







表示の色を変更するには



1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [表示] タブを表示します。
2. [指定する部分] から変更したい部分を選択します。

3. [文字色] ボタン、または [背景色] ボタンをクリックして、色を指定します。

行の折り返し位置を変更するには

折り返さないようにするには、ツール バーの  を、指定した文字数で折り返すには  を、ウィンドウの右端で折り返すには  を、ページの右端で折り返すには  をクリックします。

ヒント

- 指定した文字数で折り返す場合で、文字数を変更するには、ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックし、[基本] タブを表示して、[普通行の文字数] と [引用行の文字数] を変更します。

カーソル位置の文字コードを表示するには



表示したい文字のすぐ左側にカーソルを置いて、[表示] メニューの [文字コード値] を選択します。

メニューを変更するには


1. [ツール] メニューの [メニューの変更] を選択します。
2. [メイン メニュー] または [コンテキスト メニュー] のどちらかを選択します。
3. 新しいメニューを挿入するには、挿入したい場所を選択してから、[上に挿入] または [下に挿入] をクリックします。
4. メニューのプロパティを設定します。

各種設定

行番号、ルーラを表示するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [基本] タブを表示します。
2. 行番号を表示するには [行番号を表示] チェック ボックスを、ルーラを表示するには [ルーラを表示] チェック ボックスを設定します。


メモ帳互換の日誌作成するには

1. メモ帳互換の日誌を作成する設定が選択されていることを確認してから、ツール バーの  [現在の設定プロパティ] を押して、[現在の設定プロパティ] の [ファイル] タブを表示します。
2. [メモ帳互換の日誌作成] チェック ボックスを設定します。



ヒント

- これを設定し、最初の行に「.LOG」という 1 行だけを書いておくと、ファイルを開くたびに、現在の日時をファイルの最後に挿入します。

JIS、EUC コードのファイルを自動選択して開くには

1. ツール バーの  をクリックして、プロパティの [ファイル] タブを表示します。
2. [開く時のエンコード] で、[日本語 (自動選択)] を選択します。



引用マークで始まる行の色を変更するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [表示] タブを表示します。
2. [指定する部分] の [引用マークで始まる行] を選択し、[文字色] を設定します。

ヒント

- [引用マークで始まる行] として認識するための記号を [引用マーク] で設定します。



行間隔の調節

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [表示] タブを表示します。
2. [行間隔] を設定することによりテキスト表示時の行間隔のスペースを指定します。

ヒント

- この値は 10 が 1 行分の高さに相当します。



CR と LF を区別して表示するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [記号] タブを表示します。
2. [CR と LF を区別して表示] をチェックします。

[ファイルを開く] ダイアログ ボックスで表示するファイルの種類を変更するには

1. [ツール] メニューの [カスタマイズ] を選択し、[ファイル] タブを表示します。
2. [カスタム ファイル フィルタ] に [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで表示したいファイルの種類を「*.txt;*.bat」のように指定します。
3. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスでは、[ファイルの種類] ドロップ ダウン リストで、[カスタム] を選択します。

キーボードの割り当てを変更するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [キーボード] タブを表示します。
2. キーボードを設定したいコマンドを、[分類] と [コマンド] から選択します。
3. [追加するショートカット キー] に割り当てるショートカット キーを入力します。
4. [割り当て] ボタンをクリックします。

上書きモードにするには

キーボードの [Insert] キーを押すと、ステータスバーに「上書」と表示され、上書きモードになります。



ヒント

- もう一度、[Insert] キーを押すと、挿入モードに切り替わります。



最近使ったファイル、検索、置換の過去の履歴をクリアするには

1. [ツール] メニューの [カスタマイズ] を選択して、[履歴] タブを表示します。
2. [履歴のクリア] ボタンをクリックします。



指定する文字列を強調表示するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [強調 (1)] タブを表示します。
2. [ここで設定する文字列を強調表示する] がチェックされていることを確認します。
3. [追加] ボタンをクリックし、強調したい文字列を入力します。

指定する単語の途中で折り返さないようにするには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [分割禁止単語] タブを表示します。
2. [分割禁止単語の処理を有効にする] がチェックされていることを確認します。
3. [追加] ボタンをクリックし、途中で折り返したくない単語を入力します。

高速スクロールを設定するには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [スクロール] タブを表示します。
2. [2 行スクロール] と [カーソル移動の高速化] をチェックします。


エンコードを定義するには

1. [ツール]メニューの[エンコードの定義]を選択します。
2. 新しいエンコードを定義したい場合は、[新規作成]をクリックします。
3. エンコードを選択し、名称を入力し、フォント分類を選択します。

ヒント

定義したエンコードのファイルを開く場合は、[ファイルを開く]ダイアログボックスで、指定したエンコードを選択します。

新しい設定を定義するには

1. ツールバーのをクリックして、[設定の定義]ダイアログボックスを表示します。
2. [新規作成]ボタンをクリックすると、「新しい設定」が一覧に追加されるので、名前を変更します。
3. [プロパティ]ボタンをクリックして、その設定のプロパティを変更します。

ヒント

- 複数の設定を定義することにより、効率良く他の設定に変更することができます。
- 他の設定をコピーしてから修正するには、一覧から他の設定を選択して、[コピー]ボタンをクリックします。

他の設定を選択するには

- ファイルの拡張子が設定に関連付けられている場合は、ファイルを開くとその設定が自動的に選択されます。
- 新規に文書を作成している場合、[ツール]メニューの[設定の選択]サブメニューから正しい設定を選択します。その設定に強調文字列が設定されている場合、それにしただって文字列が強調されます。

ヒント

- 文字列がどのように強調されるかは、プロパティの[強調(1)]と[強調(2)]タブで変更できます。

新しい構文ファイルを作成するには

1. 最初に現在の構文ファイルをエクスポートします。現在の構文ファイルをエクスポートするには、Perlなどの構文強調が提供されている設定を選択します。[ツール]メニューから[現在の設定のプロパティ]を選択し、[強調(1)]タブを選択します。[エクスポート]ボタンをクリックして、構文ファイルの保存先を指定して保存します。
2. エクスポートされた構文ファイルを開き、ファイルの中身を調べます。オプションを指定したり、新しい構文ファイルに関するキーワードに置き換えます。これらのオプションは、プロパティの[強調(1)]タブと[強調(2)]タブの設定に対応しています。

#Highlight=	on を指定すると文字列強調を有効にし、off を指定すると無効にします。
#BeginTag=	タグ開始文字を 1 文字で指定します。
#EndTag=	タグ終了文字を 1 文字で指定します。
#CommentBegin=	複数行コメントの開始文字列を指定します。たとえば、C++では/*を指定します。



#CommentEnd=	複数行コメントの終了文字列を指定します。たとえば、C++では*/を指定します。
#LineComment1=	行コメントを開始する文字列を指定します。たとえば、C++では//を指定します。
#LineComment2=	行コメントを開始する別の文字列がある場合はここに指定します。
#SingleQuote=	on を指定すると 1 重引用符で囲まれた文字列が強調表示され、off を指定すると強調表示しません。
#DoubleQuote=	on を指定すると 2 重引用符で囲まれた文字列が強調表示され、off を指定すると強調表示しません。
#ContinueQuote=	on を指定すると引用文字列が次の行に続き、off を指定すると続きません。
#Escape=	引用符のエスケープ文字を指定します。
#ScriptBegin=	スクリプト開始文字列を指定します。
#ScriptEnd=	スクリプト終了文字列を指定します。
#SpecialSyntax=	HTML とスクリプト言語の混在に応じて HTML、HTML-Embedded、off のいずれかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • #SpecialSyntax=HTML は、<SCRIPT type=...>で始まるスクリプトが HTML ファイルに含まれている場合や、<%で始まるスクリプトを含む ASP ファイルで利用されます。これらのスクリプトには通常 VBScript、JavaScript、PerlScript、CSS を含みます。 • #SpecialSyntax=HTML-Embedded は、PHP や JSP のように<?や<%など #ScriptBegin で指定した文字列から始まるスクリプトを含む HTML ファイルに利用されます。
#HighlightBraces=	on を指定すると対応する括弧を強調します。off を指定すると強調しません。
#Keyword=	次のオプションを含みます。 <ul style="list-style-type: none"> • color= 強調色を指定します。この色はプロパティの [表示] タブの一覧の強調単語(1)~(10)で調べることができます。 • word= キーワードが単語のみで強調する場合に on を指定します。たとえば、キーワードが run で word=on を指定していると、runner 中の run の部分は強調されません。 • rightall= キーワードの右側もすべて強調したい場合は on を指定します。 • case= 大文字と小文字を区別したい場合は on を指定します。 • insidetag= タグの内側だけ強調したい場合に on を指定します。 • regexp= 正規表現を使って一致した文字列を強調したい場合に on を指定します。

3. 構文ファイルが完成して保存したら、新しい設定を作成してその構文ファイルをインポートするか、既に存在する設定にその構文ファイルをインポートすることができます。

ヒント



- 構文ファイルのエスケープ文字は「^」です。次の 3 文字はエスケープする必要があります。「#」、「;」、「^」

折り返しインデントを有効にするには



1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [基本] タブを表示します。
2. [タブ/インデント] ボタンをクリックします。

3. [折り返しインデント] チェック ボックスをチェックします。

フリー カーソル モードを有効にするには




1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [基本] タブを表示します。
2. [フリー カーソル モード] チェック ボックスをチェックします。

スムーズ スクロールを有効にするには

1. ツール バーの  (選択中のプロパティのみ変更する場合) または  (すべてのプロパティを変更する場合) をクリックして、プロパティの [スクロール] タブを表示します。
2. [スムーズ スクロール] チェック ボックスをチェックします。
3. 必要に応じて [速度] スライダを調節します。

マクロ

マクロを記録、実行するには

1. ツール バーの  をクリックします。
2. 記録したい一連の操作を行います。
3. もう一度、ツール バーの  をクリックすると、マクロの記録を終了します。
4. 記録したマクロを実行するには、 をクリックします。

ヒント

- EmEditor のすべての操作が記録できるわけではありません。マウスによるカーソルの移動や選択は記録できないため、マクロの記録中はこれらの操作が禁止されます。
- 既定では、これらのコマンドに、[Shift]+[F4](マクロの記録/停止) と [F4](マクロの実行) キーが割り当てられています。

プラグイン

プラグインをインストールするには

1. インターネットのウェブ サイトなどからインストールしたいプラグインをダウンロードします。エムソフトのホームページからも、様々なプラグインがダウンロードできます。

2. ダウンロードしたプラグインに添付の説明書にしたがって、プラグインをインストールします。通常は、拡張子が .DLL のファイルを EmEditor のインストール先フォルダの中の PlugIns フォルダ (通常は C:\Program Files\EmEditor\PlugIns) にコピーするだけでインストールが完了します。
3. EmEditor を起動すると、[ツール] メニューにインストールしたプラグインのメニュー項目が追加され、ツール バーにボタンが追加されます。

ヒント

- プラグインによっては、EmEditor のバージョンによって動作しないこともあります。できるだけ最新版の EmEditor とプラグインをご利用ください。
- ツール バーのボタン、メニューおよびキーボードは、自由にカスタマイズできます。

プラグインのプロパティを変更するには

1. プロパティ機能が付いている高度なプラグインでは、[ツール] メニュー [プラグインの設定] を選択します。
2. プロパティを変更したいプラグインを選択し、[プロパティ] をクリックします。

ヒント

- プロパティ機能が付いていないプラグインでは、この [プロパティ] ボタンは選択できません。

プラグインをアンインストールするには

3. アンインストール機能がサポートされたプラグインでは、[ツール] メニュー [プラグインの設定] を選択します。
4. アンインストールしたいプラグインを選択し、[アンインストール] をクリックします。

ヒント


- アンインストール機能がサポートされていないプラグインでは、この [アンインストール] ボタンは選択できません。この場合は、EmEditor の PlugIns フォルダ (通常は C:\Program Files\EmEditor\PlugIns) から、アンインストールしたいプラグインの DLL ファイルを削除します。
- アンインストールをせずに、ただ無効にすることもできます。[プラグインの設定] ダイアログ ボックスで、無効にした項目のチェックを外すと、そのプラグインは無効になります。

プラグインを開発するには

C 言語などを使って、EmEditor の機能を拡張するプラグインを作成することができます。詳しくは、ヘルプの「プラグイン リファレンス」を参照してください。

[エクスプローラ] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定でエクスプローラ (Explorer) プラグインがインストールされます。このプラグインはフォルダ ツリーを表示し、ファイルを選択して開くことができます。エクスプローラ プラグインを使用するには、次の手順に従います。


1. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[エクスプローラ] を選択します。すると、[エクスプローラ] カスタム バーが表示されます。
2. フォルダ ツリーから開きたいファイルを見つけてダブルクリックすると、ファイルが EmEditor で開きます。






ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボード フォーカスが戻ります。
- [パス] ドロップダウン リストを使用してパスを直接入力することができます。
- [フィルタ] ドロップダウン リストを使用して特定のファイル タイプのみを表示することができます。ワイルドカード (*、?) が使用できます。複数のファイルを区別するには、セミコロン (;) を使用します。
- 一覧で右クリックをすると、隠しファイルを表示したり、最新の情報に更新したり、パスやフィルタの履歴をクリアすることができます。
- 既定では、シングル クリックでファイルを開きます。プラグイン プロパティから、ダブル クリックでファイルを開くように設定を変更することができます。

[検索バー] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [検索バー] (FindBar) プラグインがインストールされます。このプラグインは検索ドロップダウン テキスト ボックスとオプションを含むツール バーを表示し、検索ダイアログ ボックスにアクセスせずに文字列の検索を可能とすることができます。[検索バー] プラグインを使用するには、次の手順に従います。

1. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[検索バー] を選択します。すると検索ツール バーが表示されます。
2. 以下のオプションを設定するかクリアにします。

 インク リメンタル サーチ	[検索] ドロップダウン テキスト ボックスに文字を入力すると、検索が直ちに始まります。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + I。)
 開いているすべての文書から検索	同じフレーム ウィンドウ内に開いているすべての文書から検索します。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + S。)
 大文字と小文字を区別する	検索する文字列の大文字と小文字を区別して検索します。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + C。)
 正規表現を使用する	正規表現を有効にします。正規表現構文について詳しくは、正規表現を使用するにはを参照してください。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + X。)
 エスケ	エスケープ シーケンスを有効にします。エスケープ シーケンスとして次の文字を表現できます。エスケ

一プシーケンスを使用する	一プ シークエンスについての詳しくは、[エスケープ シークエンスを使用する] チェック ボックスを参照してください。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + E。)
W.単語のみ検索する	単語のみ検索します。単語のみというのは、置換前の文字列の前後が、A～Z、a～z、0～9、_ のいずれの文字でも囲まれていない場合のことです。全角文字で囲まれている場合は常に単語とみなされます。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + O。)
⇕文末まで移動したら文頭に移動する	下方向の検索の時は、ファイルの最後まで検索しても見つからない場合にファイルの先頭から検索を続けます。上方向の検索の時は、ファイルの先頭まで検索しても見つからない場合にファイルの最後から検索を続けます。(キーボード ショートカットは [検索] ドロップダウン リストにフォーカスがあるとき Alt + M。)


3. アクティブなドキュメントで検索したい文字列を入力して Enter を押します。

ヒント

このプラグイン コマンドにキーボード ショートカットを割り当てて、簡単にプラグインの [検索] ドロップダウン リストにフォーカスを移動することができます。詳しくは、キーボードの割り当てを変更するにはを参照してください。


[HTML バー] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [HTML バー] (HTMLBar) プラグインがインストールされます。このプラグインはツールバー ボタンを表示し、よく使われる HTML タグや要素を挿入することができます。[HTML バー] プラグインを使用するには、次の手順に従います。

1. HTML ファイルを開いて、プラグイン バーの  をクリックするかまたは [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[HTML バー] を選択します。すると、HTML ツール バーが表示されます。
2. HTML 文書に挿入したい HTML タグまたは要素のボタンをクリックします。

HTML バー プラグインのボタン

ツール バーのボタンを変更するには、次の手順に従います。

1. プラグイン ツール バーの  を右クリックして、プロパティをクリックします。HTML バーのプロパティが表示されます。
2. [ボタンのカスタマイズ] ボタンをクリックします。[ボタンのカスタマイズ] ダイアログ ボックスが表示されます。ここで既に定義されているボタンの一覧が表示されます。[新規作成] ボタンをクリックすると新しいボタンが追加され、[プロパティ] ボタンをクリックすると選択されたボタンを編集することができます。[新規作成] ボタンまたは [プロパティ] ボタンをクリックすると、ボタンのプロパティが表示され、次のオプションを設定することができます。

アイコン	ボタンのアイコンを選択します。
タイトル	ボタンのタイトルを指定します。タイトルは、ボタンの上にマウスを置いたときにも、ツールチップとして表示されます。
タグを挿入(開始と終了)	このコマンドで挿入する開始タグと終了タグを指定します。たとえば、選択範囲を下線を引きたい場合、[開始] に「<u>」と入力し、[終了] に「</u>」と入力します。[>] ボタンをクリックしてあらかじめ定義されたマクロを挿入することもできます。たとえば、¥{Path} は現在の文書のファイル パスを挿入します。


	¥{PickFullPath} を使用すると、[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを表示して文書を選択することができます。¥{PickColor} を使用すると、[色] ダイアログ ボックスで色を選択できるようになります。
特別コマンド	これらのコマンドは、特定のタスクを行い、詳細をカスタマイズすることはできません。 表: [表の挿入] ダイアログ ボックスを表示し、行と列を指定して、HTML 文書に <table> タグを挿入します。 フォント: [フォント] ダイアログ ボックスを表示し、フォントを選択して タグを挿入します。 インデント解除: 選択行のインデントを削除します。 見出し: 矢印付きのボタンを作成し、このボタンをクリックすると、H1 から H6 の項目を持つコンテキストメニューが表示されます。これらの項目を選択すると、対応するタグ (<h1> から <h6>) を挿入します。 フォーム: 矢印付きのボタンを作成し、このボタンをクリックすると、フォームやフォームの要素を含むコンテキストメニューが表示されます。これらの項目を選択すると、選択した項目に対応するタグを挿入します。 カスタマイズ: [ボタンのカスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示します。
セパレータ	ボタンの間にセパレータを挿入します。

ヒント

プラグイン バーのプラグイン ボタンを右クリックし、プロパティを選択して、HTML の設定が選択されている場合のみ、HTML バー プラグインが表示されるようにすることができます。

[開いている文書] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [開いている文書](OpenDocuments) プラグインがインストールされます。このプラグインは開いている文書の一覧を表示し、一覧で選択した文書の切り替え、閉じる、保存、その他の操作を行うことができます。[開いている文書] プラグインを使用するには、次の手順に従います。

1. タブが有効になっていることを確認します。タブが有効だと、[ウィンドウ] メニューの [タブを有効にする] がチェックされた状態になります。
2. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[開いている文書] を選択します。すると、[開いている文書] カスタム バーに、開いている文書の一覧が表示されます。

コンテキストメニュー

開いている文書の一覧で右クリックを行うことにより、コンテキストメニューが表示されます。ここで、[切り替え]、[保存]、[閉じる] など、さまざまなコマンドを選択することができます。


ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボード フォーカスが戻ります。
- 一覧で右クリックをすると、コンテキスト メニューが表示されます。そこで、選択されている文書に対して、閉じる、保存、その他の操作を行うことができます。
- 一覧でマウスの中央ボタンをクリックすることにより選択された文書を閉じることができます。

[アウトライン] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [アウトライン](OutlineText) プラグインがインストールされます。このプラグインはテキストのアウトラインを行います。このプラグインには次の 2 つの主要機能があります。

カスタム バー内でアウトライン表示

1. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[アウトライン] を選択します。アウトライン カスタム バー内で、アウトラインがツリーとして表示されます。
2. ノードをクリックしてレベルを展開または縮小することができます。カスタム バーで右クリックを行い、すべて展開またはすべて縮小を行うこともできます。
3. カスタム バーで項目をクリックすると、エディタ上の対応するテキストの部分にカーソルがジャンプします。
4. カスタム バーで項目をドラッグ & ドロップすることにより、項目の順番を変更することができます。
5. Alt+Up または Alt+Down を押すことにより、選択された項目を上または下に移動することができます。
6. カスタム バーで項目の上で右クリックを行い、メニューから [選択] を選択することにより、対応するテキストを選択することができます。
7. アウトライン カスタム バーはレベル 6 まで表示することができます。

ガイドとしてアウトラインを表示

1. カスタム バーがなくてもエディタの左端に表示されます。既定では、カスタム バーの表示・非表示と連動して表示されます。
2. カスタム バーを表示しながら、アウトライン ガイドを無効にするには、プラグイン バー上の [アウトライン] ボタンを右クリックして、[プロパティ] を選択し、[ガイドとしてアウトラインを表示] のチェックを外します。この設定は、EmEditor で定義される設定毎に設定されるので注意してください。
3. エディタ ウィンドウで、レベルが縮小されると、[...] が表示されます。[...] の上にマウスを置くと、残りのテキストをツールチップとして表示することができます。
4. エディタ ウィンドウで、マウスの右クリックを行い、[アウトライン] を選択し、[アウトラインをすべて縮小] または [アウトラインをすべて展開] を選択して、アウトラインの縮小または展開を行うことができます。また、指定するレベルに縮小または展開を行うことができます。
5. 便利なキーボード ショートカットには、Alt+Right で展開、Alt+Left で縮小があります。
6. Alt+Up で上のノードにジャンプし、Alt+Down で下のノードにジャンプします。

プロパティ

各設定に対してプロパティを変更することができます。既定では、Text の設定では、空白の数を使用してアウトラインを行います。C++ の設定では、括弧 {} の数を使用してアウトラインを行います。C++ の設定では、カスタム バーは 1 個の

レベルのみを表示します。XML の設定では、開始文字列、終了文字列を使用してアウトラインを行い、カスタム バーでレベル 6 まで表示することができます。各設定で、必要に応じてこれらの設定を変更することができます。

カスタム バーの位置

カスタム バーが EmEditor ウィンドウのどこに表示するかを選択します。

カスタム バーが表示されていない時、アウトライン ガイドを表示しない

カスタム バーの表示・非表示とアウトライン ガイドの表示・非表示を連動させたい場合にこれをチェックします。既定ではチェックが入っています。

設定

どの設定に対して設定を変更するかを選択します。

ガイドとしてアウトラインを表示

これがチェックされていると、エディタの左端にアウトラインを表示します。

タイプ

どのようにアウトラインが計算されるかを次の中から選択します。

括弧 {} の数: アウトラインは括弧 {} の数で計算されます。これは、多くのプログラミング言語で便利です。

空白の数: アウトラインは、各行の最初の空白またはタブの数で計算されます。これは一般的な用途に向いています。

カスタム: アウトラインは、下で指定する方法によって計算されます。

括弧 [] の数: アウトラインは括弧 [] の数で計算されます。

カスタム (開始をレベル 1/終了をレベル 2 として指定): アウトラインは、下で指定する方法によって計算されます。レベル 1 には開始文字列を、レベル 2 には終了文字列を指定します。

カスタム バー最大レベル

[カスタム バー]に表示するアウトラインの最大レベルを指定します。ただし、これはガイドとして表示するアウトラインの最大レベルには関係しません。ガイドの最大レベルは常に 6 になります。

レベル 1-6


[正規表現] がチェックされていない場合、行が開始する文字を入力します。たとえば、「.」と入力すると、「.」で開始する行だけに一致します。[正規表現] がチェックされている場合、指定するレベルに一致するべき正規表現を入力します。たとえば、「^\d.*?&」と入力すると、数字から始まる行だけに一致します。

ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボード フォーカスが戻ります。
- カスタム バーの位置は、プラグイン バーのボタン上で右クリックを行い [プロパティ] を選択して、上、下、左、右から変更することができます。

[プロジェクト] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定でプロジェクト (Projects) プラグインがインストールされます。このプラグインはプロジェクト ツリーを表示し、ファイルを選択して開くことができます。プロジェクト プラグインを使用するには、次の手順に従います。

1. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[プロジェクト] を選択します。すると、[プロジェクト] カスタム バーが表示されます。
2. [プロジェクト] カスタム バーで右クリックを行い、[プロジェクトの新規作成] を選択します。
3. 無題プロジェクトで右クリックを行い、[既存のファイルを追加] を選択します。
4. プロジェクトに含めたいファイルをすべて選択します。

プロジェクト プラグインのコマンド











プロジェクト カスタム バーで右クリックを行うと、次の項目を含むメニューが表示されます。

展開/折りたたみ	ノードを展開または折りたたみます。
すべて開く	フォルダ内のすべてのファイルを開きます。
開く	ファイルを開きます。
読み取り専用ファイルとして開く	ファイルを読み取り専用として開きます。
エンコードを指定して開く	ファイルをエンコードを指定して開く
フォルダの新規作成	フォルダを新規作成します。
切り取り	選択されている項目を切り取ってクリップボードに保存します。

コピー	選択されている項目をコピーしてクリップボードに保存します。
貼り付け	クリップボードの内容を貼り付けます。
削除	選択されている項目を削除します。
名前の変更	選択されている項目の名前を変更します。
ソリューションを実行	ソリューションを実行します。
ソリューションの新規作成	ソリューションを新規作成します。
ソリューションを開く	既存のソリューション ファイルを開きます。
ソリューションを名前を付けて保存	ソリューション ファイルに名前を付けて保存します。
最近のソリューションの一覧	指定した最近使ったソリューション ファイルを開きます (複数項目)。
プロジェクトの新規作成	プロジェクトを新規作成します。
プロジェクトを開く	既存のプロジェクト ファイルを開きます。
プロジェクトを名前を付けて保存	プロジェクト ファイルに名前を付けて保存します。
既存のファイルを追加	既存のファイルをプロジェクトに追加します。
アクティブなファイルを追加	現在アクティブになっているファイルをプロジェクトに追加します。
すべての開いているファイルを追加	すべての開いているファイルをプロジェクトに追加します。
最近のプロジェクトの一覧	指定した最近使ったプロジェクト ファイルを開きます (複数項目)。
スタートアップ プロジェクトに設定	指定したプロジェクトをスタートアップ プロジェクトに設定します。
ファイル名のみ	ファイル名のみを表示します。
相対パス	相対パスを表示します。
完全パス	完全パスを表示します。
シンボル一覧を最新の情報に更新	現在のプロジェクトに対するシンボル一覧を最新の情報に更新します。
すべてのシンボル一覧を最新の情報に更新	すべてのシンボル一覧を最新の情報に更新します。
シンボル一覧	シンボル一覧の表示/非表示を切り替えます。
設定	利用可能な設定の一覧を表示します。
プラットフォーム	利用可能なプラットフォームの一覧を表示します。

現在のソリューション テンプレートのプロパティ	現在のソリューション テンプレートのプロパティを表示します。
ソリューション テンプレート	ソリューション テンプレートを定義します。
プラグインのプロパティ	プラグインのプロパティを表示します。
ツールの一覧	指定したツールを実行します。


ツール バー

 ソリューションの新規作成	ソリューションを新規作成します。
 ソリューションを開く	既に存在するソリューション ファイルを開きます。
 ソリューションを実行	オープンされたソリューションを実行します。
 パラメータ情報	パラメータ情報を表示します。
 定義へ移動	定義位置にジャンプします。
 ブラウズ コンテキストのポップ	カーソルを元の位置に戻します。
 シンボル一覧	シンボルの一覧を表示します。
 現在のソリューション テンプレートのプロパティ	現在のソリューション テンプレートのプロパティを表示します。
 ソリューション テンプレート	ソリューション テンプレートの設定ダイアログ ボックスを表示します。
 プラグインのプロパティ	プラグインのプロパティを表示します。

ソリューション テンプレート

プロジェクト プラグインで作成する、開く、または保存するすべてのソリューションは、どれからのソリューション テンプレートに属します。ソリューション テンプレートでは、ファイル拡張子のほか、フォーマット、マクロ、ツール、キーボード ショートカットなどの設定を指定することができます。ソリューション ファイルを開くと、ファイル拡張子に関連付けられたソリューション テンプレートが選択され、テンプレートで定義されたように動作します。

[ソリューション テンプレート] ダイアログ ボックス

このダイアログ ボックスは、 ボタンをクリックすると表示されます。一覧には、利用可能なソリューション テンプレートが表示されます。[プロパティ] ボタンをクリックすると、選択されたソリューション テンプレートのプロパティを表示します。

ソリューション テンプレートのプロパティ

[一般] タブ

ソリューション フォーマット	ソリューションのフォーマットを選択します。現在、EmEditor と Visual Studio のみが選択可能です。
ファイル拡張子	ソリューションのファイル拡張子を指定します。ソリューションを開く時、ここで指定するファイル拡張子に関連付けられたソリューション テンプレートが自動的に選択されます。
書き換え禁止	書き換え禁止かどうかを指定します。書き換え禁止を指定すると、プロジェクトにファイルを追加することができなくなり、ソリューションを保存の際、プロジェクト ファイルを上書きすることはありません。

[設定] タブ

設定	定義されている設定を選択します。[新規作成] を選択すると、新しい設定を定義することができます。[編集] を選択すると、設定を削除することができます。
プラットフォーム	定義されているプラットフォームを選択します。[新規作成] を選択すると、新しいプラットフォームを定義することができます。[編集] を選択すると、プラットフォームを削除することができます。
マクロ	定義されているマクロの一覧が表示されます。選択されている設定とプラットフォームに対するマクロの値を指定することができます。
新規作成	このボタンをクリックすると、新しいマクロを作成します。
削除	このボタンをクリックすると、選択されているマクロを削除します。
名前の変更	このボタンをクリックすると、選択されているマクロの名前を変更します。

[シンボル] タブ

すべてのシンボル一覧を自動更新する	ファイルが追加されたときなどに、すべてのシンボル一覧を自動的に更新するかどうかを指定します。
Ctags への追加パラメータ (高度な設定)	Ctags への追加パラメータを指定します。これは高度な設定であり、間違ったパラメータを指定すると、正しく動作しなくなる可能性があります。

[ツール] タブ

ツール	定義されているツールの一覧が表示されます。
新規作成	新しいツールを作成します。
削除	選択されたツールを削除します。
コピー	選択されたツールをコピーします。
上へ移動	選択されたツールを上へ移動します。
下へ移動	選択されたツールを下へ移動します。
プロパティ	選択されたツールのプロパティを表示します。

[キーボード]タブ

コマンド	ここに利用できるコマンドの一覧が表示されています。
追加するショートカット キー	ここに追加するショートカット キーを入力してください。
現在のキー	選択されているコマンドに対して現在割り当てられているショートカット キーの一覧が表示されています。
割り当て	入力したショートカット キーを選択されているコマンドに割り当てます。
削除	選択されているショートカット キーを削除します。

ソリューション用の設定とマクロの作り方

ソリューション テンプレートのプロパティの [設定] タブでは、設定を作成してマクロを定義することができます。新しい設定を作成するには、以下の手順に従います。

1. [設定] ドロップダウン リストをクリックして、[<新規作成>] を選択します。
2. 設定名を指定します。たとえば、Debug という名前の設定を作成します。
3. [新規作成] ボタンをクリックすると、各設定に対してマクロを作成することができます。たとえば、OPTIONS というマクロを作成して、その値に /D _Debug と指定します。
4. ここで、1. ~ 2. の手順を繰り返して、今度は Release という名前の設定を作成します。
5. Release が選択された状態で、OPTIONS マクロを選択して、その右の値をクリックして、/O1 という値に変更します。
6. 以上で、設定を定義し、各設定に対するマクロを作成しました。

ソリューション用ツールの作り方

ソリューション テンプレートのプロパティの [ツール] タブでは、新しいツールを作成することができます。ツール プロパティでは、タイトル、コマンド、引数、初期ディレクトリ、アイコン パス、現在のアイコンなどを指定することができます。ツール プロパティでは、あらかじめ定義されているマクロ、たとえばファイル パスや現在の行を指定したり、自分で定義したマクロを指定することができます。新しいツールを作成するには、次の手順に従います。

1. ソリューション テンプレートのプロパティの [ツール] タブで、[新規作成] ボタンをクリックします。

2. ツールのタイトルに、好きな名前、たとえば、「コンパイル」と入力します。
3. コマンドにツールのパス、たとえば、C:\Program Files\Microsoft Visual Studio 9.0\VC\bin\cl.exe と入力します。
4. 引数にツールの引数、たとえば、\$(OPTIONS) \$(Path) を入力します。
5. 初期ディレクトリ、たとえば、\$(Dir) を入力します。
6. アイコン パスと現在のアイコンを指定します。
7. [ファイルを保存する] チェック ボックスをチェックして、ツール実行時にファイルを保存するように指定します。
8. [アウトプット バーを使用する] チェック ボックスをチェックして、ツールの結果をアウトプット バーに表示するように指定します。
9. すべて指定したら、OK をクリックします。

あらかじめ定義された引数

\$(Path)	アクティブな文書の完全パスと名前
\$(Dir)	アクティブな文書のディレクトリ
\$(Filename)	アクティブな文書のファイル拡張子を除くファイル名
\$(Ext)	アクティブな文書のファイル拡張子
\$(RelPath)	アクティブな文書の相対パスと名前
\$(CurLine)	現在行の行番号
\$(CurText)	現在のカーソル位置の単語
\$(Solution)	ソリューション ファイルの完全パスと名前
\$(Project)	プロジェクト ファイルの完全パスと名前
\$(SolutionDir)	ソリューションのディレクトリ
\$(ConfigurationName)	アクティブな設定名
\$(PlatformName)	アクティブなプラットフォーム名
\$(FrameworkSDKDir)	Framework SDK ディレクトリ (最後のバックスラッシュを含む)
\$(VCInstallDir)	Visual C++ インストール ディレクトリ (最後のバックスラッシュを含む)
\$(VSInstallDir)	Visual Studio インストール ディレクトリ (最後のバックスラッシュを含む)
\$(WindowsSdkDir)	Windows SDK インストール ディレクトリ (最後のバックスラッシュを含まない)
\$(LatestFrameworkDir)	Framework ディレクトリ

\$(SourceSafe)	Visual SourceSafe 実行ファイル (ss.exe) の完全パスと名前
\$(SccProjectName)	SourceSafe のプロジェクト名

副引数

f	ファイル拡張子を除くファイル名
d	ディレクトリ
x	ファイル拡張子名

例


\$(Project,d)	プロジェクト ファイルのディレクトリを返します
\$(Solution,f)	ソリューション ファイルのファイル名 (ファイル拡張子無し) を返します
\$(Solution,f).\$(Solution,x)	ソリューション ファイルのファイル名 (ファイル拡張子付き) を返します

ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボードフォーカスが戻ります。
- 無題プロジェクトで右クリックを行い、[プロジェクトを名前を付けて保存]を選択することにより、無題プロジェクトを保存することができます。

[検索] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [検索](Search) プラグインがインストールされます。このプラグインは開いているファイルから文字列の検索を行います。[検索] プラグインを使用するには、次の手順に従います。


1. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[検索] を選択します。すると、[検索] カスタム バーが表示されます。
2. [検索] テキスト ボックス内に、検索したい単語、または正規表現を入力します。大文字と小文字を区別して検索するには、[大文字小文字を区別する] をチェックします。正規表現を使用する場合は、[正規表現を使用する] をチェックします。
3. [検索] ボタンをクリックするか、Enter キーを押すと、検索が開始します。
4. 検索された文字列を含む行の一覧が表示されます。
5. 一覧の中の項目をクリックすると、指定されたファイルの指定された行にジャンプします。

ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボード フォーカスが戻ります。
- 一覧で右クリックをすると、コンテキスト メニューが表示されます。そこで、選択されている文書に対して、閉じる、保存、その他の操作を行うことができます。
- 一覧でマウスの中央ボタンをクリックすることにより選択された文書を閉じることができます。

[スニペット] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [スニペット](Snippets) プラグインがインストールされます。このプラグインを使用すると、定型文字列を素早く挿入することができます。スニペットは、プレーン テキスト、プレイスホルダー、シェルコード、マクロ、テキストを変換するための正規表現、およびビルトインまたはユーザー定義のパラメータからできています。スニペット プラグインでは、2 種類のアイテム - スニペットとマクロ - を作成することができます。

[スニペット] プラグインを使用するには、プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[スニペット] を選択します。すると、[スニペット] カスタム バーが表示されます。

[スニペット] カスタム バーで右クリックを行うと、次のオプションが表示されます。

挿入	選択されたスニペットを挿入します。
編集	選択されたスニペットを編集します。
スニペットの選択	ダイアログ ボックスを表示して、少しの文字をタイプしてスニペットを選択し、挿入します。
スニペットの新規作成	スニペットを新規作成します。 マクロの新規作成 マクロを新規作成します。
マクロの新規作成	マクロを新規作成します。
フォルダの新規作成	フォルダを新規作成します。
上へ移動	選択されたスニペットを一覧の上へ移動します。
下へ移動	選択されたスニペットを一覧の下へ移動します。
削除 > 削除	選択されたスニペットを削除します。
削除 > すべて削除	すべてのスニペットを削除します。
インポート/エクスポート > このフォルダにインポート	このフォルダにスニペットをインポートします。

インポート/エクスポート > ルートにインポート	ルート フォルダにスニペットをインポートします。
インポート/エクスポート > このフォルダをエクスポート	このフォルダのすべてのスニペットを指定するファイルにエクスポートします。
インポート/エクスポート > すべてエクスポート	すべてのスニペットを指定するファイルにエクスポートします。
インポート/エクスポート > すべてリセット (既定をインポート)	スニペットをすべてリセットし、既定のスニペット一覧をインポートします。
表示 > トリガー キー	トリガー キーの表示、非表示を切り替えます。
表示 > 設定	設定の表示、非表示を切り替えます。
表示 > プラグインのプロパティ	プラグインのプロパティを表示します。
整列 > 名前	名前で整列します。
整列 > 種類	種類で整列します。
整列 > テキスト	テキストで整列します。
整列 > ヒント	ヒントで整列します。
整列 > トリガー	トリガーで整列します。
整列 > 昇順	昇順に整列します。
整列 > 降順	降順に整列します。
整列 > 自動整列	自動的にスニペットを整列します。
プロパティ	選択したスニペットまたはフォルダのプロパティを表示します。

スニペット プラグイン プロパティ

スニペット プラグインのプロパティを調節するには、プラグイン バーのスニペット プラグイン ボタンで右クリックを行い、プロパティを選択します。

[全般] タブ

カスタム バーの位置	カスタム バーの位置を設定します。
バックグラウンドでも実行	スニペット カスタム バーを閉じた状態でもスニペットが動作するようにします。

既定のショートカット キー	既定のショートカット キーを指定します。最初の既定ショートカット キーは Tab です。
詳細情報	ヒントの頻度を調節します。
遅延時間	ヒントが表示される前の遅延時間を調節します。

[グローバル パラメータ] タブ

追加	パラメータを追加して、その値を指定します。
削除	パラメータを削除します。

[キーボード] タブ

コマンド	利用可能なコマンド一覧を表示します。
追加するショートカット キー	選択されたコマンドのショートカット キーを入力します。
現在の割り当て	選択されたコマンドに現在割り当てられているキー。
説明	選択されたコマンドの説明。
割り当て	現在選択されたコマンドにショートカット キーを割り当てます。
削除	現在選択されたショートカット キーを削除します。

スニペット フォルダ プロパティ

スニペット フォルダのプロパティを調節するには、スニペット カスタム バーのフォルダで右クリックを行い、プロパティを選択します。

[全般] タブ

名前	スニペット フォルダの名前を指定します。
----	----------------------

[設定] タブ

次の設定でのみオートコンプリートを行う	オートコンプリートを行う設定を指定します。
スニペット	スニペットを編集する設定を指定します。

マクロ	マクロを編集する設定を指定します。
-----	-------------------

スニペット プロパティ

スニペットのプロパティを調節するには、スニペット カスタム バーのフォルダで右クリックを行い、プロパティを選択します。

[全般] タブ

名前	スニペット フォルダの名前を指定します。
トリガー	スニペットのトリガーを指定します。
ショートカット	スニペットのショートカットを指定します。
ヒント	スニペットのヒントを指定します。
種類	種類 (スニペットまたはマクロ) を指定します。
テキスト	スニペットのテキストを指定します。
編集	このボタンをクリックすると EmEditor ウィンドウでスニペットを編集することができます。

[設定] タブ

次の設定でのみオート コンプリートを行う	オート コンプリートを行う設定を指定します。
スニペット	スニペットを編集する設定を指定します。
マクロ	マクロを編集する設定を指定します。

プラグイン プロパティ

ブレーン テキスト

どのようなブレーン テキストも文書に挿入するスニペットに含めることができます。ブレーン テキストを書くには、ほとんどの文字を使用できますが、¥、\$,または ` をブレーン テキストに含めたい場合、¥¥、¥\$, ¥` というようにエスケープする必要があります。

プレイスホルダー

スニペットを挿入した後、カーソル位置は、プレイスホルダー間をジャンプし、Tab キーを押すと、次のプレイスホルダーにジャンプします。

これらのタブ ストップは、`${n:default}` としてスニペット内に定義することができます (default は、スニペットを挿入したときに最初に表示される既定値)。既定値がない場合は、`{}` を省略して `$n` と記述することができます (n は、0 から 9 までの整数)。スニペットを挿入すると、最初のカーソル位置は `$1` になり、Tab を押すとタブ ストップがプレースホルダー `$2`、`$3`、... というように移動します。最後のタブ ストップは `$0` になります。

たとえば、次のスニペットは、HTML にハイパーリンクを挿入し、最初のカーソル位置は `$1` になります。カーソルが `$1` にあるとき、Tab キーを押すと、カーソルは `$2` にジャンプし、さらに押すと `$0` にジャンプします。

```
<a target="$1" href="$2">$0</a>
```

スニペットには既定値を含めることができます。次のスニペットは、既定値が付いたハイパーリンクを挿入します。

```
<a target="${1:_blank}" href="${2:url}">$0</a>
```

プレースホルダー内に別のプレースホルダーを含めることができます。次のスニペットは、target パラメータを選択した状態でハイパーリンクを挿入します。ユーザーは引数を上書きするか、削除するか、または Tab キーを押して次のプレースホルダーに進むかを選択することができます。

```
<a ${1: target="${2:_blank}"} href="${3:url}">$0</a>
```

ミラー

同じプレースホルダー インデックスを使用すると、これらのプレースホルダーの値はすべて同じになります。これをミラーと言います。次のスニペットは、「for」ループを挿入します。この場合、値 `i` は `$2` の既定値で、同じインデックスのプレースホルダーが他の 2 箇所でも使用されています。カーソルが `${2:i}` にあるとき、`i` の値を変更すると、他の場所にもミラーされます。

```
for( ${1:int} ${2:i} = ${3:0}; $2 != ${4:10}; $2++ ){
  $0
}
```

変換

あるプレースホルダーの値を別の場所に正規表現と置換フォーマットを使用して変換することができます。構文は、次のようになります。

```
`${n}/regexp/replace_format/option`
```

ここで、

n: プレイホルダーのインデックス

regexp: 検索する正規表現

replace_format: 置換フォーマット

option: 現在のところ i (大文字と小文字を区別しない) のみがサポート

となります。

次の例は、最初の行に入力した文字を次の行に最初の文字だけ大文字にしてコピーします。

\$1

\${1/./¥U¥0/}

定義済みパラメータ

\$1 プレイホルダー 1。

\$2 プレイホルダー 2。

\$3 プレイホルダー 3。

\$4 プレイホルダー 4。

\$5 プレイホルダー 5。

...

\$9 プレイホルダー 9。

\$0 最後のプレイホルダー。

\${n:default} 既定値 default が付いたプレイホルダー n。

\${Path} 現在のファイルの完全パス名。

\${Dir} 現在のファイルのディレクトリ名。

\${Filename} ファイル拡張子を除くファイル名。

\${FilenameEx} ファイル拡張子を含むファイル名。

\${Ext} ファイル拡張子。

\${LineText} カーソル位置の行。

\${WordText} カーソル位置の単語。

\${SelText} 選択されたテキスト。

\${CurCol} カーソル位置の論理桁番号。

\${CurLine} カーソル位置の論理行番号。

\${Date} 今日の日付。

\${Time} 現在の時刻。

\${Charset} HTML meta タグで使用される Charset。

`#{TabSize}` タブのサイズ。

`#{IndentSize}` インデントのサイズ。

`#{AutoIndent}` 自動インデントが有効なら 1、そうでなければ 0。

`#{UseSpacesForTabs}` [タブの代わりに空白を挿入] が有効なら 1、そうでなければ 0。

`#{AppVersion}` EmEditor のバージョン。

`#{PluginVersion}` スニペット プラグインのバージョン。

`#{TM_FILENAME}` `#{FilenameEx}` と同じ。

`#{TM_CURRENT_LINE}` `#{LineText}` と同じ。

`#{TM_CURRENT_WORD}` `#{WordText}` と同じ。

`#{TM_DIRECTORY}` `#{Dir}` と同じ。

`#{TM_FILEPATH}` `#{Path}` と同じ。

`#{TM_LINE_INDEX}` `#{CurCol}` と同じ。

`#{TM_LINE_NUMBER}` `#{CurLine}` と同じ。

`#{TM_SELECTED_TEXT}` `#{SelText}` と同じ。

`#{TM_SOFT_TABS}` `#{UseSpacesForTabs}` と同じ。

`#{TM_TAB_SIZE}` `#{TabSize}` と同じ。

`#{PickFullPath,title,filter}` 選択されたファイルの完全パス名。title はダイアログ ボックスのタイトルを、filter は、次のフォーマットのフィルタを示します。: テキスト ファイル|*.txt|すべてのファイル|*.*|。

`#{PickRelativePath,title,filter}` 選択されたファイルの相対パス名。title はダイアログ ボックスのタイトルを、filter は、次のフォーマットのフィルタを示します。: テキスト ファイル|*.txt|すべてのファイル|*.*|。

`#{PickColor}` 選択された色の RGB 値。

`#{DefColor}` 最近選択された色の RGB 値。

`#{parameter_name}` の形式で、パラメータを定義することができます (parameter_name は上の一覧で定義されていない値)。新しいユーザー パラメータが使用されると、ダイアログ ボックスが表示され、値の入力を促されます。ただし、プラグインのプロパティのグローバル パラメータで保存されているパラメータの場合は、値の入力は促されません。

シェルコード

コンソール アプリケーションを実行して文字列をその標準入力に渡すシェルコードを定義することができます。コンソール アプリケーションからの標準出力および標準エラーは、テキスト文書のカーソル位置にリダイレクトされます。

```
^- appname
stdin1
stdin2
...
、
```

結果の文字列が改行 (CR、LF、または CR+LF) で終わる場合、その改行は削除されます。たとえば、次のスニペットは ``${name}`` パラメータの中身を大文字で挿入します。

```
`- powershell -
# prompts for name then echos the hello greeting
¥$name = "${name}".ToUpper()
"Hello ¥$name!"
exit
`
```

スニペット パラメータを解析したくない場合は、次のように書くことができます。

```
`!- appname
stdin1
stdin2
...
`
```

コマンド プロンプトで使用されるコマンドを実行したい場合は、``cmd shell_code`` の形式でコマンド プロンプト ウィンドウ (`cmd.exe`) に渡すシェル コードを定義することができます。指定する値は、`cmd.exe` に次の形式で渡されます：`“%COMSPEC% /c shell_code”`。コンソール アプリケーションからの標準出力および標準エラーは、テキスト文書のカーソル位置にリダイレクトされます。たとえば、次のスニペットは現在のフォルダー一覧を挿入します。

```
`cmd DIR`
```

マクロ

``#`` の形式を使用して、スニペットにマクロを含めることができます。最初の文字 `#` が、これはシェルコードではなくマクロであることを示します。これが JavaScript 以外の ActiveScript (たとえば、VBScript、PerlScript、PHPScript、RubyScript) の場合、`“#language=”` の形式で使用する言語を指定する必要があります。たとえば、VBScript を使用する場合、`“#language=“VBScript”...`` と記述します。Interface オブジェクトを使用してスニペットと EmEditor マクロ エンジン の間で値を渡すことができます。次の例は、クリップボードの中身をカーソル位置に挿入します。

```
クリップボードの中身は `# Interface.write( clipboardData.getData(""));` です。
```

Interface.write() メソッドは、マクロの結果をスニペットに渡します。Interface.writeln() を使用すると、結果の最後に改行と復帰 (CR+LF) を追加します。各スニペットに複数のマクロを含めることができます。

既定値、シェルコード、またはマクロ内のパラメータ

プレイスホルダーの既定値には、パラメータ、シェルコード、マクロを含めることができます。次のスニペットは、テキストが選択されている場合、選択されたテキストを <p> と </p> の間にに入れて、<p> タグを挿入します。

```
<p>${0:${SelText}}</p>
```

シェルコードとマクロは、その中にパラメータを含めることができます。次のスニペットは、ダイアログ ボックスを表示し、そこでユーザーは \${name} パラメータに値を入力して継続することができます。

```
`# var s = "${name}";
for( var i = 0; i != 5; i++ ){
Interface.writeln( s );
}
`
```

¥ と ` は、¥ でエスケープする必要があります。たとえば、次のスニペットは、“C:¥Program Files¥EmEditor” を挿入します。

```
`# Interface.writeln( "C:¥¥¥¥Program Files¥¥¥¥EmEditor" );`
```

これは、1 個の ¥ を ¥¥ と記述する必要があるためで、さらに JavaScript は ¥ を ¥¥ に変換するためです。結果として、¥ は ¥¥¥¥ に変換されます。

シェルコードまたはマクロにパラメータを含める必要がなく、¥ を変換したくない場合は、感嘆符 (!) をコードの最初に含めることができます。つまり、シェルコードでは、`!...` と記述することができ、マクロでは `!#...` と記述することができます。つまり、先の例は、次のように書き直すことができます。


```
`!# Interface.writeln( "C:¥¥Program Files¥¥EmEditor" );`
```

ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボード フォーカスが戻ります。
- カスタム バーの位置は、プラグイン バーのボタン上で右クリックをし [プロパティ] を選択して、上、下、左、右から変更することができます。

[Web プレビュー] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [Web プレビュー](WebPreview) プラグインがインストールされます。このプラグインは現在の文書を埋め込まれた Web ブラウザで表示します。[Web プレビュー] プラグインを使用するには、次の手順に従います。


1. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[Web プレビュー] を選択します。すると、[Web プレビュー] カスタム バーが表示されます。
2. EmEditor で任意の Web ページを開きます。すると、カスタム バーに Web プレビューが表示されます。
3. Web ページを編集して、その変更をプレビューにも反映させたい場合は、カスタム バー上で右クリックを行い、[最新の情報に更新] を選択します。

ヒント

- F6 キーまたは ESC キーを押すと、エディタにキーボードフォーカスが戻ります。
- カスタム バーの位置は、プラグイン バーのボタン上で右クリックをし [プロパティ] を選択して、上、下、左、右から変更することができます。

[単語補完] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [単語補完] (Word Complete) プラグインがインストールされます。文書に文字を入力すると、このプラグインは、過去に使用された単語と EmEditor で定義された強調単語のリストを表示します。そのリストから単語を選択して入力を補完することができます。[単語補完] プラグインを使用するには、次の手順に従います。

1. プラグイン バーの  をクリックして押された状態にするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[単語補完] を選択してチェックされた状態にします。
2. 文書に挿入したい単語の最初の何文字かを入力すると、過去に使用された単語や EmEditor で定義し強調された単語のリストが表示されます。
3. ↑ または ↓ キーを使用して挿入する単語を選択し、Enter を押します。

プラグイン プロパティ

辞書

強調文字列	設定のプロパティの [強調(1)] タブで定義された文字列が候補として使用されます。
文書で使用された単語	現在の文書で使用されている単語が候補として使用されます。
行数制限	現在のカーソル位置の前後の指定する行数に単語を制限します。
以前の文書を含める	候補の一覧に以前の文書を含めます。
グループ内のすべての文書を含める	同じグループ ウィンドウ内のすべての文書を含めます。
同じ設定の場合のみ	現在の文書と同じ設定の文書のみを含めます。
辞書ファイル内の単	別ファイルに含まれる単語が候補に使用されます。

語	
辞書ファイル	候補一覧として使用される別ファイルの完全パスとファイル名を指定します。
フリー フォーマット (チェックされていない場合、行毎に指定)	空白で区切られた単語を含むどのようなファイルでも辞書ファイルとして指定できます。これがチェックされていないと、各単語は改行で区切られている必要があります。
クリップボードの中身	クリップボード内の単語が候補として使用されます。
ファイル名	現在の文書と同じフォルダ内のファイル名が候補の一覧として使用されます。
更新頻度	候補一覧が最近タイプした単語で更新されるようにするため、候補がどの程度の頻度で更新されるかを指定します。この頻度が高いほど、一覧が更新されるまでにタイプするのに必要な文字数が少なくなります。

一致条件

大文字と小文字を区別	大文字と小文字が区別されるかを指定します。たとえば、現在の文書 (または辞書ファイル) に、ABC と abc が含まれているとします。[区別しない] が選択されている場合、ABC または abc のどちらかが候補として使用され、A または a のどちらをタイプしても、ABC または abc のどちらかが表示されます。[候補のみ区別する] が選択されている場合、ABC と abc の両方が候補として使用され、A または a のどちらをタイプしても ABC と abc の両方が表示されます。[候補と入力中の両方で区別する] が選択されている場合、ABC と abc の両方が候補として使用されますが、A とタイプすると ABC のみが表示され、a とタイプすると abc のみが表示されます。
優先順位	[最後に使用した単語を最初に選択] が選択されていると、候補の一覧が表示されたとき、最後に選択された単語が最初に選択して表示されます。[アルファベット順] が選択されていると、一致した項目の最初の項目が最初に選択されます。
単語の種類	[通常の単語] が選択されている場合、各単語はアルファベットで始まり、アルファベットか数字で終わります。[ドット構文] が選択されている場合、各単語にはドット (.) を含めることができます。[HTML/XML] が選択されている場合、各単語は < または & から始まることができ、/ または - を含めることができ、> または ; で終了することができます。[カスタム] が選択されていると、その下のテキストボックスで、単語にどのような文字を含めるかを定義することができます。
最初の文字	[単語の種類] ドロップダウンリストに [カスタム] が選択されている場合、各単語の最初の文字で、アルファベットと数字以外の文字を入力します。
途中の文字	[単語の種類] ドロップダウンリストに [カスタム] が選択されている場合、各単語の始めと終わりの間の文字で、アルファベットと数字以外の文字を入力します。
最後の文字	[単語の種類] ドロップダウンリストに [カスタム] が選択されている場合、各単語の終わりの文字で、最初と途中に含めることができない文字を入力します。

オプション

候補リストにアイコンを表示する	候補リストの各項目の左側に小さなアイコンを表示します。
候補が 1 個の場合自動的に補完する	これがチェックされていると、候補に利用可能な項目が 1 個しかないとき [候補を手動で表示] で定義されたキーボードショートカット (通常、Ctrl+Space) を押すと、自動的に補完します。
候補リストに強調色	強調文字列で定義された色で候補の一覧を表示します。

を使用する	
一致する候補がなくなるとリストを自動的に非表示にする	タイプして一致する項目がなくなると候補リストを自動的に非表示にします。
候補リストに一致した単語のみを表示する	候補リストを一致した単語のみの表示に制限します。
タイプすると候補リストを自動的に表示する	タイプすると候補リストを自動的に表示します。
文字数	候補一覧を自動的に表示するまでに必要なタイプする文字数を指定します。
遅延時間	一致する単語を見つけた後、候補リストを表示するまでの時間を指定します。

キーボード


コマンド	利用可能なコマンドの一覧を表示します。
追加するショートカットキー	選択されたコマンドのショートカット キーを入力します。
現在のキー	選択されたコマンドに現在割り当てられているキーが表示されます。
説明	選択されたコマンドについての説明が表示されます。

ヒント

EmEditor は、単語を打ち込んだときに、キーストロークを既定で監視し、リストを自動的に表示します。この設定を無効にするには、プラグイン バーのプラグイン ボタンを右クリックして、プロパティを選択します。[タイプすると候補リストを自動的に表示する] のチェックを外します。それでもキーボード ショートカットを押すことにより、一覧を表示することができます。既定のキーボード ショートカットは Ctrl+Space ですが、プロパティの [キーボード] タブを選択して変更することができます。プロパティのプラグインのオプションは各設定毎に指定することができます。

[単語数] プラグインの使い方

EmEditor Professional では、既定で [単語数](WordCount) プラグインがインストールされます。このプラグインは選択したテキストの単語数を数えて表示します。[単語数] プラグインを使用するには、次の手順に従います。

1. 選択範囲の単語数を数えたい場合は、単語を数えたいテキストを選択します。
2. プラグイン バーの  をクリックするか、または [ツール] メニューの [プラグイン] をポイントし、[単語数] を選択します。
3. [単語数] カスタム バーが表示されます。最初のカラムには、クエリの種類 (文字、幅、単語、行) が表示されます。2 番目のカラムには、文書全体の単語数などの情報が表示されます。3 番目のカラムには、選択範囲のみの情報が表示されます。
4. [今すぐ更新] ボタンをクリックすると、文書または選択範囲の情報を再計算します。また、[自動更新] チェック ボックスをチェックすると、この情報を自動的に更新します。

クエリを作成するには

たとえば、「大文字のみ」といったクエリを新規に作成するには、次の手順に従います。

1. [クエリのカスタマイズ] ダイアログ ボックスで、[新規作成] ボタンをクリックします。[クエリのプロパティ] が表示されます。
2. [タイトル] テキスト ボックスに、新しいクエリの名前を入力します。
3. タイプを文字数、文字幅、単語数、論理行数から選択します。
4. 正規表現を使用するかどうかを選択します。[>] ボタンをクリックすると、正規表現の例が表示されます。

ヒント

- [クエリのカスタマイズ] ダイアログ ボックスで既存のクエリを選択して [プロパティ] ボタンをクリックすれば、そのクエリを編集することができます。

ウィンドウ

分割して表示するには

[ウィンドウ] メニューの [分割] を選択して、マウスで分割位置をクリックします。

整列して表示するには

重ねて整列表示するには、[ウィンドウ] メニューの [重ねて表示] を選択します。

ヒント

- 上下、左右に並べて表示するには、[ウィンドウ] メニューの [上下に並べて表示]、[左右に並べて表示] を選択します。

他のウィンドウを表示するには

[ウィンドウ] メニューから、表示したいファイル名のメニューを選択します。

ヒント

- トレイ アイコンを右クリックして表示されるメニューから選択することもできます。

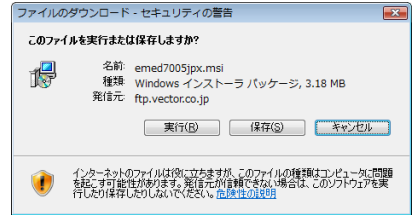
第3章 よくある質問と回答集

セットアップ

Q. 新しいバージョンの EmEditor をインストールするにはどうしたらいいのでしょうか？

EmEditor ホーム ページから EmEditor 最新版をダウンロードしてインストールします。次の手順で行ってください。

1. トレイ アイコンが実行されている場合は、トレイ アイコンを終了します。これを行うには、タスクバー上に表示されているトレイ アイコンを右クリックし、表示されるメニューで [トレイアイコンを閉じる] コマンドを選択します。
2. コントロール パネルから、以前のバージョンの EmEditor を選択してアンインストールします。
3. アンインストールの最中、「アンインストール時に EmEditor の設定を保持しますか?」というメッセージが表示されることがあります。以前の設定を保持したい場合は「はい」を選択します。以前の設定を保持する必要がない場合は「いいえ」を選択することを推奨します。
4. 正式版は、EmEditor ホーム ページ <http://jp.emeditor.com/> から、ダウンロードすることができます。
5. 次ダウンロードするリンクをクリックすると、[ファイルのダウンロード - セキュリティの警告] ダイアログ ボックスが表示されます。
6. [実行] ボタンをクリックすると、ダウンロードが開始し、ダウンロードが完了後、[Internet Explorer - セキュリティの警告] ダイアログ ボックスが表示されます。
7. ここで、「発行元: Emurasoft, Inc.」の部分をクリックします。
8. [デジタル署名の詳細] ダイアログが表示されます。「このデジタル署名は問題ありません」と表示されていることを必ず確認します。もし表示されない場合は、ダウンロードされたファイルが壊れている可能性があり、このまま継続しても正しくインストールされません。この場合は、一度、ブラウザの一時ファイルをクリアしてから、再度ダウンロードすることをおすすめします。[OK] をクリックしてこのダイアログ ボックスを閉じます。
9. [実行] ボタンをクリックし、画面の指示にしたがってセットアップを進めていきます。



Q. 以前のバージョンの EmEditor を使用しています。EmEditor 最新版をインストールしたいのですが、以前のバージョンの EmEditor をアンインストールせずに、そのままインストールしていいのでしょうか？

現在の EmEditor のバージョンが v10 以上で、現在の設定内容を引き継ぎたい場合、以前のバージョンをアンインストールせず、そのまま最新版のセットアップを実行して、セットアップ先のフォルダを、以前と同じフォルダにして構いません。手順は次の通りです。

1. 新しいバージョンをインストールします。
2. インストールが完了したら、Windows を再起動します。

現在の EmEditor のバージョンが v10 未満の場合、または、現在の EmEditor の設定内容を引き継ぐ必要がない場合、以前の EmEditor をアンインストールして、コンピュータを再起動してから、新しいバージョンの EmEditor をインストールすることをおすすめします。その場合の手順は次の通りです。

1. Windows スタートメニュー - [コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除] から、EmEditor (または EmEditor v3) を選択して [削除] ボタンをクリックします。
2. アンインストールが完了したら、Windows を再起動します。
3. 新しいバージョンをインストールします。

Q. 古いバージョンの EmEditor と新しいバージョンの EmEditor を共存させることはできますか？

いいえ、古いバージョンの EmEditor と新しいバージョンの EmEditor を共存させることはできません。

Q. インストール先フォルダが、C:\Program Files\EmEditor3 になっていますが、これで正しいですか？

EmEditor v3 のインストール先フォルダは、既定では、C:\Program Files\EmEditor3 ですが、EmEditor v4 からインストール先フォルダは、既定では、C:\Program Files\EmEditor になりました。ただし、以前 EmEditor v3 がインストールされていて、それをアンインストールせずに EmEditor v4 をインストールした場合、以前インストールされていたフォルダと同じフォルダが利用されます。そこで、EmEditor v4 であってもインストール先フォルダが C:\Program Files\EmEditor3 になっている場合があります。

Q. EmEditor の起動時、または編集時に、EmEditor が異常終了されたらどうしたらよいのでしょうか？

1. もしプラグインがインストールされている場合、プラグイン フォルダからプラグインを全てアンインストールし、その後 EmEditor を再起動してください。
2. もし異常が続くようでしたら、コントロールパネル内のアプリケーションの追加と削除で EmEditor をアンインストールしてください。その後、コンピュータを再起動し、EmEditor を再インストールしてください。
3. もし、UTF-8 ファイルまたは、Unicode ファイルを開く時のみ EmEditor が異常終了される場合は、[表示] メニューの [フォントの設定] の [フォント分類] で [標準] を選択し、表示フォントの横にある [変更] ボタンをクリックし、適切なフォントが選択されているか確認してください。

Q. EmEditor のトレイ アイコンを表示しないようにしたいけど、どのようにしたら、トレイ アイコンを表示しないようになりますか？

Version 6.00 以上の場合、[ツール] メニューの [カスタマイズ] コマンドを選択し、[カスタマイズ] ダイアログの [ショートカット] タブを表示します。そして、[トレイ アイコンを表示] チェック ボックスのチェックを外します。もし、既にチェックが外れている場合は、いったんチェックして、[OK] をクリックしてダイアログを閉じ、再びこのダイアログを表示して、チェックを外します。

Version 6.00 未満の場合、再度セットアップを行い、セットアップ時に、[タスクバー上にトレイアイコンを追加] チェックボックスをオフにします。セットアップの前にアンインストールする必要はありません。この方法でうまくいかない場合は、Windows のスタート メニューから、[検索] を選択し、「何を検索しますか?」と表示されたら、「ファイルとフォルダすべて」をクリックし、「emeditor.lnk」および「emeditor v3.lnk」を検索します。「スタート アップ」というフォルダの中に「emeditor.lnk」または「emeditor v3.lnk」を見つけたら、そのファイルを削除します。

Q. ダイアログ ボックスを表示せずに EmEditor のインストールを行うには？

通常のインストールでは、ダイアログ ボックスが表示され、ユーザーが [次へ] ボタンをクリックしたり、オプションを設定する必要があります。しかし、企業や団体などで複数のコンピュータにインストールする場合、インストールの作業をバッチ ファイルやスクリプトで行い、ダイアログ ボックスを表示したくない場合があります。Version 6.00 以上の場合、インストーラに Windows Installer を使用しているため、次のようにして、無人インストールを行うことができます。

たとえば、EmEditor のセットアップ用のファイルが emed901jp32.msi の場合、

```
emed901jp32.msi /q
```

を実行すると、一切のダイアログ ボックスが表示されず、既定の設定でインストールを行うことができます。既定の設定を変更したい場合、次のオプションを使用することができます。

NOTRAYICON=1	トレイ アイコンを表示しません。
NOTXT=1	テキスト文書に関連付けを行いません。
NOIEVIEW=1	Internet Explorer でソース表示に EmEditor を使用しません。
NOIEEDITOR=1	Internet Explorer の HTML エディタの一覧に EmEditor を追加しません。
NOPLUGINS=1	プラグインをインストールしません。
REGKEY=xxxxxx	登録キーを入力します。

たとえば、テキスト文書に関連付けを行わないで、セットアップを実行したい場合は、

```
emed700jpx.msi /q NOTXT=1
```

と実行します。

他にも、Windows Installer にはさまざまなオプションが存在します。詳しくは、コマンド プロンプトで、

```
msiexec /?
```

を実行すると、コマンドの一覧が表示されます。

Q. インストール先フォルダを変更するには?

既定では、インストール先フォルダは、以前のバージョンが既にインストールされている場合はそのフォルダになり、新しいインストールの場合は ¥Program Files¥EmEditor になります。コマンドプロンプトを開いて、インストーラを TARGETDIR オプションを付けて実行することにより、インストール先フォルダを変更することが可能です。たとえば、EmEditor のセットアップ用のファイルが emed700jpx.msi で、C:¥path にインストールしたい場合、emed700jpx.msi TARGETDIR="C:¥path¥"

を実行します。フォルダ名の最後には、バックスラッシュ ¥ を追加してください。

異なるバージョンの EmEditor を同時にインストールすることはできません。以前のバージョンの EmEditor が既にインストールされている場合は、以前のバージョンをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールするか、以前のバージョンがインストールされているフォルダ上に上書きインストールしてください。

Q. 構文ファイルをインストールするには?

1. [ツール] メニューの [設定の選択] をクリックします。
 2. メニューの一番下にある [設定の定義] をクリックします。
 3. [新規作成] ボタンをクリックし、[既定の設定を使用] を選択し [OK] をクリックします。
 4. 名前を入力して、Enter を押します。
 5. [プロパティ] ボタンをクリックし、[強調(1)] ページを選択します。
 6. [インポート] ボタンをクリックし、追加する構文ファイルを選択して開きます。
 7. [OK] をクリックしてプロパティを閉じ、[閉じる] をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。
- さらに拡張子の関連付けを有効にするためには、次のようにしてください。
8. [ツール] メニューの [設定の選択] で正しい設定が選択されていることを確認します。
 9. [ツール] メニューの [現在の設定のプロパティ] を選択します。
 10. [関連付け] ページを選択し、[ここで設定する関連付けを有効にする] をチェックします。
 11. [追加] ボタンをクリックし、適切な拡張子を入力します。

Q. 現在 EmEditor の新しいバージョン (または β 版) を使っています。古いバージョンをインストールしたいのですが、現在使用している EmEditor をアンインストールせずに、そのままインストールしていいのでしょうか?

いいえ。古いバージョンの EmEditor をインストールする前に、現在使用している EmEditor をアンインストールする必要があります。これを行わないと、新しい DLL ファイルがインストール ディレクトリに残ってしまい、古いバージョンの EmEditor と互換性の問題が発生することがあります。新しいバージョンをアンインストールする前に、現在実行中の EmEditor ウィンドウやトレイ アイコンはすべて閉じます。新しいバージョンをアンインストールする際に、すべての設定を保持するかどうかを選択するメッセージが表示されます。[はい] を選択すると、すべての設定を保持して、古いバージョンでもその設定を使用できる可能性があります。インストール中に Windows の再起動を促された場合には、Windows を再起動します。

Q. EmEditor Professional の最新版をインストールすると、関連付けしたテキスト (.txt) ファイルに EmEditor 特有のアイコンが表示されません。

EmEditor Professional 7 からは、インストールしてもテキスト ファイルのアイコンを Windows 標準のアイコンから変更しないようになりました。従来のアイコンで表示するには、EmEditor の [ツール] メニューの [カスタマイズ] を選択し、[ファイル] タブを選択し、[EmEditor と関連付け] ボタンをクリックし、表示されるアイコンの一覧から txt を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。[アイコン抽出先ファイル名] テキスト ボックスに、EmEditor のインストール先フォルダにある emedres.dll というファイル (通常、C:\Program Files\EmEditor\emedres.dll) を入力します。そして、[現在のアイコン] リスト ボックスから、txt のアイコンを選択します。

ファイル

Q. [名前を付けて保存] で、ファイル名に拡張子の付かない名前を指定しても、.txt という拡張子が自動的に付いてしまいます。拡張子を付かないようにするにはどうしたらいいですか？

ファイル名を "file" のように "" で囲って保存すると、拡張子を付けずにファイルを保存することができます。

Q. ファイルを開く時、日本語 (シフト JIS) のファイルなのに、西ヨーロッパ言語と間違えて検出されることがあります。

開くファイルの種類のプロパティの [ファイル] タブで、[すべて自動検出] がチェックされていると、特に小さいファイルの場合に、誤検出することがあります。このチェックをはずしてご利用ください。

Q. すべてのウィンドウを一度に終了するには？

[Shift] を押しながら、ウィンドウ右上の × をクリックします。

次の方法でも、すべて終了することができます。

- [Alt] + [Shift] + [F4] を押します。
- [Alt] + [Shift] + [X] を押します。
- [Shift] を押しながら、[ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。
- ツールバーをカスタマイズして [すべて終了] ボタンを加え、それをクリックします。
- トレイアイコンをマウスで左クリックして表示されるメニューの [すべて終了] を選択します。
- [ファイル] メニューの [すべて閉じる] を選択します。

Q. ファイルを開くダイアログで、いつも決まったフォルダから開くようにするには？

[ツール] メニューのカスタマイズを選択し、[開く/保存フォルダを記憶] をチェックすると、次回ファイルを開くダイアログでは、前回使用したフォルダを開くようになります。

毎回、決まったフォルダから開きたい場合は、EmEditor を通常起動するショートカットのプロパティを表示し、[リンク先] テキスト ボックスに、/cd を追加します。例えば、EmEditor のインストール先が、“C:¥Program Files¥EmEditor” だとすると、“C:¥Program Files¥EmEditor¥emeditor.exe” /cd と入力します。さらに、[作業フォルダ] テキスト ボックスに、通常開くフォルダを入力しておきます。

Q. サイズが 0 のファイルを保存するには?

プロパティの [ファイル] タブの [保存時...] ボタンをクリックし、[保存時、空のファイルを削除] のチェックを外します。

Q. 印刷時の文字が小さいのですが?

印刷のフォントとサイズは変更できます。プロパティの [印刷] タブでフォントとサイズを変更してください。

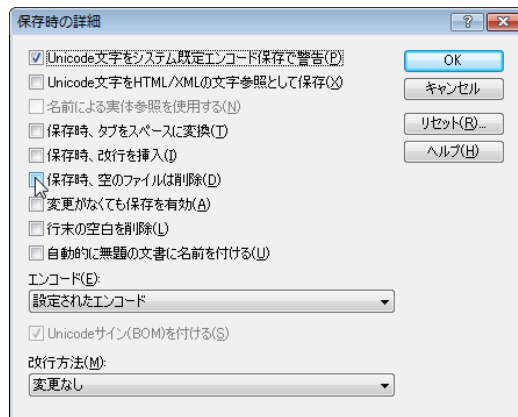
Q. Macintosh のテキスト ファイルを読もうとすると、いくつかの文字が文字化けしてしまいます。Macintosh のテキスト ファイルを正しく読むにはどうしたらいいでしょうか?

Macintosh は、Windows に比べて微妙に違うコードページを使用しています。Windows には、Macintosh のコードページがインストールされているので、Macintosh のテキスト ファイルを Windows のテキスト ファイルに変換することができます。まず、EmEditor の [ツール] メニューの [エンコードの定義] コマンドを選択し、[新規作成] ボタンをクリックします。[エンコードのプロパティ] ダイアログ ボックスで、[エンコード] ドロップダウン リスト ボックスから「10001 (MAC - Japanese)」を選択し、[フォント分類] ドロップダウン リスト ボックスは「日本語」を選択します。[OK] ボタンを 2 回クリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

次に EmEditor の [ファイル] メニューから [開く] コマンドを選択し、[ファイルを開く] ダイアログの [エンコード] ドロップダウン リスト ボックスで、「10001 (MAC - Japanese)」を選択し、読みたい Macintosh のファイルを選択します。

Q. EmEditor で Java のクラスを書き、コンパイルすると、「class の前に 3 つの無効な文字があります」というエラーが発生します。エラーで指摘されているような文字は、class キーワードの前に 1 つもないのに、毎回同じエラーが出ます。

ファイルの最上部にある 3 つの文字は UTF-8 のバイト オーダー マーク (BOM) です。既定では、Java ファイルは BOM 付きの UTF-8 で作成されます。新規作成時の既定のエンコードを UTF-8 から変更するには、[現在の設定のプロパティ] からファイル ページを選択し、[新規作成時] ボタンをクリックすると、[新規作成時の詳細] ダイアログが表示されます。そのダイアログで、エンコードを [システム既定エンコード] に変更するか、[Unicode サイン(BOM)を付ける] のチェックを外してください。



Q. ネットワークの共有フォルダで、私の開いているファイルを、他のユーザーが編集できないようにすることは可能ですか？

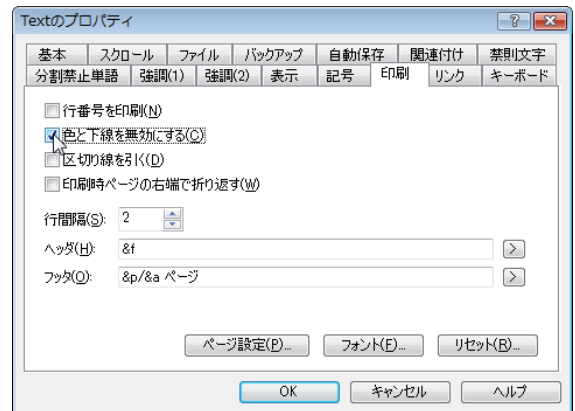
はい、できます。プロパティの [ファイル] タブの [外部から変更された時] コンボボックスで、[外部から書き込みを禁止する] を選択してください。それでも、他のユーザーは、まだファイルを開くことはできますが、あなたがそのファイルを開くまで、他のユーザーはそのファイルに変更を保存することができなくなります。

Q. なぜ Internet Explorer で [ソースの表示] をクリックしたとき、EmEditor もメモ帳も現れないのでしょうか？

これは Internet Explorer の不具合です。Internet Explorer の [ツール] メニューの [インターネット オプション] から [インターネット一時ファイル] の [ファイルを削除] を選択し、インターネット一時ファイルをクリアします。

Q. カラーまたはモノクロで印刷するにはどうしたらいいですか？

設定のプロパティの [印刷] タブで [色と下線を無効にする] チェック ボックスをチェックすると、モノクロで印刷されます。また、このチェックをはずすと、カラーで印刷されます。



Q. 非常に大きなファイルを開く時の動作がもっと速くならないでしょうか？

設定によっては動作が遅くなることもあります。次の点を確認してください。

- 設定のプロパティの [基本] タブ で、[折り返し方法] ドロップダウン リスト ボックスに「折り返さない」以外が選択されていると、行の折り返し位置を計算するために、遅くなる場合があります。特に大きなファイルを開く場合は、ここで「折り返さない」を選択するか、[折り返さない] コマンドを実行する方が動作は速くなります。

Q. 韓国語、中国語などの Word 文書を EmEditor に貼り付けてテキスト ファイルとして保存するにはどうしたらいいですか？

Windows 2000/XP/2003 が動作するコンピュータを使用する必要があります。Windows 98/Me では、Unicode 形式のクリップボードをサポートしていません。Windows が韓国語、中国語フォントを正しく表示していない場合は、コントロール パネルの [地域と言語のオプション] を選択し、[言語] タブを選択し、[東アジア言語のファイルをインストールする] をチェックする必要があります。

Word 文書を開き、コピーしたい韓国語、中国語などのテキストを選択し、CTRL + C を押してテキストをクリップボードにコピーします。

新規の EmEditor ウィンドウを起動し、CTRL + V を押してクリップボードの中身を EmEditor ウィンドウに貼り付けます。テキストが韓国語、中国語などで表示されるはずですが、もしテキストが正しく表示されない場合、[表示] メニューの [フォント分類] サブメニューを表示し、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語などを選択します。それでも正しく表示されない場合、[表示] メニューの [フォントの設定] コマンドを選択し、正しいフォント、たとえば、韓国語なら GulimChe などを選択します。

文書を保存するには、[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] コマンドを選択し、[エンコード] リストから Unicode または UTF-8 を選択します。ここで、必要なら、韓国語など言語に対応するエンコードを選択することもできます。

Q. XML ファイルを UTF-8 ではなく日本語 (シフト JIS) として開くには?

XML ファイルが UTF-8 として開かれる場合、XML プロパティを表示し、[ファイル] タブを選択し、[開く時のエンコード] ドロップダウンリスト ボックスを確認します。[UTF-8] が選択されている場合、[システム既定] を選択します。[HTML/XML の Charset を検出] チェック ボックスがチェックされている場合、XML ファイル内の "encoding=" が検索され、見つかると EmEditor はそのエンコードを使用します。ファイルを開くときのエンコードはファイルを新規作成する場合のエンコードやファイルを保存する時のエンコードとは異なることに注意してください。

Q. Java ファイルまたは XML ファイルを UTF-8 ではなく日本語 (シフト JIS) として開くには?

[Java または XML で新規作成] コマンドが選択されると、既定では Java ファイルと XML ファイルは UTF-8 で開始します。この設定を変更するには、Java のプロパティ (または XML のプロパティ) を表示し、[ファイル] タブを選択し、[新規作成時] ボタンをクリックし、[エンコード] ドロップダウンリスト ボックスから [システム既定] を選択します。ファイルを新規作成時のエンコードはファイルを新規作成する場合のエンコードやファイルを開く時のエンコードとは異なることに注意してください。

Q. EmEditor を他のアプリケーションから起動して使っていますが、EmEditor でファイルを編集して終了しても、その内容がアプリケーションに伝わらないのはなぜですか?

メール ソフトなど、他のアプリケーションから外部エディタとして EmEditor を指定する場合で、そのアプリケーションが EmEditor のプロセスを監視している場合、EmEditor で保存した内容がそのアプリケーションに反映されなくなる場合があります。この問題に対処するには、EmEditor を起動時に、/sp オプションを指定して別プロセスとして起動します。ただし、この場合は、タブが有効の状態であっても、別グループとして表示されます。

Q. GB18030 のファイルを開くことはできますか?

はい、できます。まず、[ツール] メニューの [エンコードの定義] を選択します。[新規作成] ボタンをクリックして、[エンコード] ドロップダウンリストから GB18030 を選択します。ファイルをオープンする際、この新しく定義されたエンコードを選択します。

Q. コマンドラインでエンコードを変換するには?

コマンドラインでエンコードを変換するにはを参考にしてください。

Q. エクスプローラから特定の拡張子のファイルをダブルクリックして EmEditor が起動できるようにするには?

エクスプローラからファイルをダブルクリックして起動するにはを参考にしてください。

Q. ファイルを排他制御して開くには?

[ツール] メニューから [すべての設定のプロパティ] を選択します (または、ファイルを開いた後、[ツール] メニューから [現在の設定のプロパティ] を選択します)。[ファイル] タブを選択し [外部で変更された時] ドロップダウン リストから [外部から書き込みを禁止する] を選択します。

編集

Q. キーボードで選択を開始するには?

通常のキーボード設定では、F8 を押します。Ctrl + F8 で行選択、Shift + Ctrl + F8 で箱型選択の開始となります。キーボードの設定は、[ツール] - [現在の設定のプロパティ] - [キーボード] で変更できます。

Q. 改ページなどのコントロール文字を挿入できますか?

EmEditor で、コントロール文字を入力するには、[編集] - [高度な操作] - [特殊文字を入力] を選択します。または、Ctrl (+ Shift) + 対応するキーで入力できます。ただし、そのキーが、ショートカットキーで定義されていない場合で、さらにプロパティの [基本] で [制御文字の入力を許可] がチェックされている場合に利用できます。

Q. テキストを正しく貼り付けできません。クリップボードの中身は、Netscape Navigator など、他のアプリケーションでコピーされています。

ご使用の他のアプリケーション、たとえば Netscape Navigator では、テキストの ANSI から Unicode への変換に問題があります。通常の貼り付けコマンドを使う代わりに、[ツール] メニュー - [すべてのコマンド] を選択し、[編集] - [貼り付け] - [システム既定エンコードで貼り付け] を選択してください。または、プロパティの基本ページで [常に ANSI で貼り付け] をチェックします。

Q. 特殊文字を入力するには

[編集] メニューから [高度な操作] を選択し、さらに [特殊文字を入力] を選択します。欧文拡張文字を入力するには、入力したい文字の Unicode のコード値を 16 進数で入力します。欧文文字のコード番号を調べるには、欧文文字のサンプルを参考にしてください。Windows 2000/XP/2003 の場合、[スタート] メニュー - [アクセサリ] - [システム ツール] - [文字コード表] からコード値を調べることもできます。フォントによっては正しく表示できないことがあります。

既定のショートカット一覧については、特殊文字を入力するにはをご覧ください。

Q. 箱型のテキストを選択するにはどうしたらいいですか？

箱型で選択するには、[Alt] を押しながらマウスで選択するか、[Shift] + [Ctrl] + [F8] を押します。

Q. Microsoft Global IME はどこからダウンロードできますか？

コントロール パネルの [地域のオプション] から他の IME を追加することができますので、Global IME は不要です。

Q. [元に戻す] コマンドで、挿入した文字を 1 文字ずつ戻したいのですが？

既定では、文字列を挿入してから [元に戻す] コマンドを実行すると、挿入した文字列が一度に戻ります。例えば、「abc」と入力して、[元に戻す] コマンドを 1 回実行するだけで、「abc」の文字列がすべて削除されます。この例で、[元に戻す] コマンドを 1 回実行すると「c」だけが削除されて「ab」が残るようにし、計 3 回 [元に戻す] コマンドを実行しないと「abc」の文字列がすべて削除されないようにするには、[カスタマイズ] ダイアログの [高度] タブの [文字単位で元に戻す (EmEditor を再起動する必要あり)] チェック ボックスをチェックし、EmEditor を一旦閉じてから再度実行してください。そうすると、挿入した文字列が 1 文字ずつ元に戻ります。ただし、日本語入力システム (IME) を利用して入力した文字列やクリップボードから貼り付けた文字列は、常に挿入した文字列の単位で戻ります。

Q. 行をアルファベットまたは数字の順番に並べ替えるにはどうしたらいいですか？

[編集] メニューの [区切り値/並べ替え] サブメニューにある [A から Z へ並べ替え] コマンド、[Z から A へ並べ替え] コマンド、[小さい値から大きい値へ並べ替え] コマンド、または [大きい値から小さい値へ並べ替え] コマンドを使用することができます。

Q. スペリングをチェックするにはどうしたらいいですか？

英語のスペリングをチェックするには、Spelling (U.K. English)、Spelling (U.S. English) などのプラグインを利用できます。これらのプラグインは、エムソフト提供プラグインからダウンロードすることができます。そのほかの言語のスペリングをチェックするには、EmEditor プラグイン一覧から、その他のスペリング チェック用プラグインをダウンロードできます。

Q. 特殊文字の入力をキーボードで行うには？

欧文文字の多くは、既定で入力するショートカットが割り当てられています。第2章 - 編集「特殊文字を入力するには」を参照してください。

また、どの文字でも、マクロを使用すれば、好きなキーに割り当てることが可能です。例えば、ã という文字を好きなショートカット キーに割り当てするには、

```
document.selection.Text="ã";
```

という1行のマクロ(この場合、JavaScript)を作成し、InsertA.jsee などというファイル名で保存します。それを、[マクロ]メニューの[選択]を選択して実行すると、この文字を挿入することができます。さらに、設定のプロパティの[キーボード]タブで、[カテゴリ]ドロップダウンリストから「マイマクロ」を選択して、好きなキーボードに割り当てることが可能です。

検索

Q. [検索] ダイアログに残る過去の文字列を消去するには?

[ツール]-[カスタマイズ]の[履歴のクリア]ボタンで消去できます。

Q. ファイルから検索で、日本語 JIS、日本語 EUC などのファイルは検索できないのでしょうか?

[ファイルから検索]ダイアログボックスで、[エンコード]ドロップダウンリストボックスから、日本語 JIS または日本語 EUC を選択することができます。

Q. 検索、置換に正規表現は使用できますか?

はい、使用できます。

Q. 行頭、または行末で文字列を検索するには?

検索ダイアログで、[正規表現を使用する]をチェックすると、「^」が行頭を意味し、「\$」が行末を意味します。行頭で、「xxxxx」を検索したい場合は、検索する文字列に「^xxxxx」と入力します。また、行末で「xxxxx」を検索したい場合は、検索する文字列に「xxxxx\$」と入力します。

また、[エスケープシーケンスを使用する]をチェックすると、「¥n」が新しい行を意味します。行頭で、「xxxxx」を検索したい場合は、検索する文字列に「¥nxxxxx」と入力します。また、行末で「xxxxx」を検索したい場合は、検索する文字列に「xxxxx¥n」と入力します。

Q. 正規表現例を教えてください。

- 2重引用符に囲まれた文字列
".*?"
- []で囲まれた文字列
¥["¥[]*?¥"]
- 変数名
[a-zA-Z_][a-zA-Z_0-9]*
- IP アドレス
([0-9]{1,3})¥.([0-9]{1,3})¥.([0-9]{1,3})¥.([0-9]{1,3})

- URL
 $(\text{¥S+}://([\text{:}/]+)(:\text{¥d+}))?([\#\text{¥s}]*)(\#\text{¥S+})?$
- 各行のタブ以降の文字列
 $\text{¥t.}\text{*}\text{¥}$
- ひらがな
 $[\text{¥x}\{3041\}\text{--}\text{¥x}\{309e\}]$
- 全角カタカナ
 $[\text{¥x}\{309b\}\text{--}\text{¥x}\{309c\}\text{¥x}\{30a1\}\text{--}\text{¥x}\{30fe\}]$
- 半角カナ
 $[\text{¥x}\{ff61\}\text{--}\text{¥x}\{ff9f\}]$
- 漢字
 $[\text{¥x}\{3400\}\text{--}\text{¥x}\{9fff\}\text{¥x}\{f900\}\text{--}\text{¥x}\{fa2d\}]$
- 漢字記号
 $[\text{¥x}\{3000\}\text{--}\text{¥x}\{3037\}]$
- ハングル
 $[\text{¥x}\{1100\}\text{--}\text{¥x}\{11f9\}\text{¥x}\{3131\}\text{--}\text{¥x}\{318e\}\text{¥x}\{ac00\}\text{--}\text{¥x}\{d7a3\}]$
- 行頭に // を挿入する
 検索: ^
 置換: //
- 行頭の // を削除する
 検索: ^//
 置換:
- 行末の空白文字を削除する
 検索: ¥s+?\\$
 置換:
- 「abc」という表記を『abc』に置換
 検索: 「(.*)」
 置換: 『¥1』
- <H3 ...> という表記を <H4 ...> に置換
 検索: <H3(.*)>
 置換: <H4¥1>
- 9/13/2003 という表記を 2003 年 9 月 13 日に置換
 検索: ([0-9]{1,2})/([0-9]{1,2})/([0-9]{2,4})
 置換: ¥3 年¥1 月¥2 日

- a から z の文字を大文字に変換
検索: [a-z]
置換: ¥U¥0
- 単語の最初の文字を大文字に変換
検索: ([a-zA-Z])([a-zA-Z]*)
置換: ¥U¥1¥L¥2

Q. 改行を含む文字列を検索しても、検索文字列が強調表示されません。

改行を (¥n) 含む文字列は、強調表示されない仕様となっており、不具合ではありません。EmEditor による文字列の強調方法は、速度を優先するために、基本的に行単位に強調する方法になっているからです。

Q. 検索/置換ダイアログが異常に大きいのですが、小さくなりませんか？

Version 7 より、検索/置換ダイアログ ボックスのサイズが変更できるようになりました。ダイアログ ボックスの右下のボーダーをマウスでドラッグすることにより、サイズを変更することができます。ダイアログ ボックスの高さが最小の状態では、検索文字列に 1 行のみしか入力することができませんが、ダイアログ ボックスを高くすることにより、複数行の文字列を単純に入力することができます。

Q. 検索/置換ダイアログに改行を含む複数行のテキストを入力するには？

Version 7 以上の検索/置換ダイアログ ボックスで、複数行の文字列を入力するには、検索/置換ダイアログ ボックスの右下のボーダーをマウスでドラッグして、検索文字列を入力するテキスト ボックスに複数行のテキストが入力できる状態にします。そして、改行を入力するには、CTRL + Enter を使用します。

表示

Q. カーソルの形状が、以前は I の形をしていたのに、現在は、■のような長方形になっています。また、文字を入力したときに、上書きされてしまいます。

[挿入] モードから [上書] モードに変更されたようです。キーボードの [Insert] を押してください。

Q. 半角スペースを別の記号で表示できないでしょうか？

設定のプロパティの [記号] タブで [半角空白表示] チェック ボックスをチェックします。

Q. 既定の設定で他の言語ファイルを開くと、文字化けしていますが、[表示] - [フォント分類] で他の言語を選択すると、さらにわけのわからない文字化けになります。しかし、ファイル開く時、文字コードをその言語に指定すると、正しく表示されます。なぜでしょうか？

EmEditor は、内部処理が Unicode になっています。したがって、ファイルを開くときに、ANSI-Unicode への変換を行っています。このとき、エンコードを指定しなければならないのですが、デフォルトでは、OS に依存するエンコード、つまり日本語に変換してしまいます。他言語を開きたい場合は、ファイルを開くときに、その言語を指定しなければならないのです。開いた後に変更したい場合は、[ファイル] メニューの [定義されたエンコードで読み直し] コマンドでその言語を選択してください。

Q. [表示] - [フォント分類] は、どのようなときに使うのでしょうか？

たとえば Unicode ファイルを読んだ場合、それがどの言語で作成されているかは、EmEditor が自動的に判断することはできません。そこで、[表示] - [文字セット] で指定する必要があります。ファイルを新規に作成する場合も、デフォルトの文字セット以外で書きたい場合は、ここで指定することができます。

Q. ページが変わっても続いた行番号を表示するにはどうしたらいいのでしょうか？ 以前はこのような問題がなかったのですが、何か私の設定が変わったようです。

プロパティの [基本] タブを表示し、[ページ番号を表示] のチェックを外してください。

Q. 論理座標、表示座標とはどういう意味でしょうか？ 論理行とは何でしょうか？

論理座標は使用中の折り返し方法に関係ない文書の座標を示し、行の折り返しによる改行は数えられません。論理行は文章内の改行の数に依存し、折り返し方法には関係ありません。一方、表示座標は、折り返された行も、行数の合計に含みます。

Q. 行番号を EmEditor ウィンドウの左端に表示しています。行が折り返されている時、論理行の中で行番号を増加したくありません。どのように設定したらいいのでしょうか？

プロパティの [基本] タブを表示し、[行、桁の表示方法] から論理座標の 1 つを選択します。

Q. Windows XP スタイルの新しいツールバーではなく、以前のスタイルのツールバーを使用したいのですが。

ツールメニューから [ツールバーの変更] を選択し、色の品質で [16 色] を選択してください。

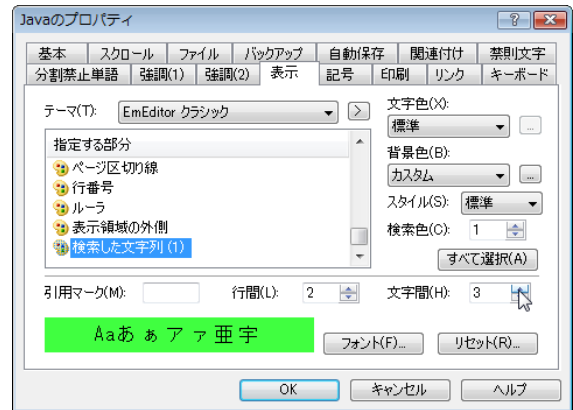
Q. タスクバー上のトレイアイコンを自分の好きなアイコンに変更できますか？

はい、できます。レジストリ エディタ (RegEdit.exe) を実行し、HKEY_CURRENT_USER¥Software¥EmSoft¥EmEditor v3¥Common を検索してください。TrayIconFile という値を REG_SZ で作成し、アイコンファイルのパスを指定し、

TrayIconIndex という値を REG_DWORD で作成し、アイコンのインデックスを指定してください。また、みなづきさんのツール「MnzkTrayIconChanger」を使っても、アイコンを変更できます。

Q. 2 回以上過去の検索した文字列を別の色で強調表示するには?

プロパティの [表示] タブで [検索色] に強調したい検索回数を入力します。さらに、[指定する部分] リストボックスを一番下までスクロールし、[検索した文字列 (2), (3), ...] を選択して、[背景色] ボタンまたは [文字色] ボタンをクリックして、表示したい色を選択します。



Q. カーソル位置の行全体に下線を表示するには?

プロパティの [スクロール] タブで [水平罫線] チェックボックスをチェックします。

Q. URL の特定の文字 (例えば、, (カンマ) など) で切れて表示されないようにするには?

プロパティの [リンク] タブを表示し、[認識する文字] に、URL として認識したい文字 (例えば、, (カンマ) など) を追加します。

Q. カーソルの縦線が細いのですが、太くできないでしょうか?

Windows Vista では、コントロール パネルの [視覚ディスプレイの最適化] を選択し、[点滅カーソルの太さを設定します] ドロップダウン リストで大きな数字を選択します。

Windows XP では、コントロール パネルの [ユーザー補助のオプション] 選択し、[画面] タブの [カーソルのオプション] で、[幅] を広くします。

Q. 選択範囲内の単語の数を調べるには、どうしたらいいでしょうか?

WordCount プラグインを利用できます。EmEditor Professional で既定でインストールされています。詳しくは、[単語数] プラグインの使い方をお読みください。

Q. HTML/XML 文字参照 (“&#xxx”) を Unicode 文字にデコードするには?

DecodeUnicode プラグインを利用できます。DecodeUnicode プラグインは、エムソフト提供プラグインからダウンロードすることができます。

Q. 各行の改行方法 (CR、LF、CR+LF) を見るには?

[カスタマイズ] ダイアログ ボックスの [ステータス] タブで、[カーソル位置の文字コード] がチェックされている場合、行の最後にカーソルがあるとき、ステータス バーに 0D+0A (CR+LF)、0D (CR のみ)、または 0A (LF のみ) と表示されます。また、プロパティの [記号] タブの [CRとLFを区別して表示] をチェックしていると、改行方法によって異なる記号が表示されます。EmEditor では、各行の改行方法が異なっても構わないため、このようにして各行の改行方法を表示することができるわけです。

Q. [記号] ボタンをツール バーに追加するには?

ツール バー (標準のツール バー) の端をダブルクリックすると、[ツール バーの変更] ダイアログ ボックスが表示されますので、ここで一覧から [記号] ボタンを選択して、ツール バーに追加することができます。または、[ツール] メニューから [ツール バーの変更] を選択して、[ツール バー] の一覧から [ツール バー 1] ダブルクリックします。すると、[ツール バーの変更] ダイアログ ボックスが表示されますので、ここで一覧から [記号] ボタンを選択して、ツール バーに追加することができます。

Q. 行番号を表示するには?

[ツール] メニューの [現在の設定のプロパティ] を選択し、[基本] タブをクリックして、[行番号を表示] をチェックします。

各種設定

Q. メールアドレスをクリックして、他のメールソフトを起動するにはどうしたらいいですか?

起動したいメールソフトが、既定のメールソフトに設定されている必要があります。メールソフトにそのような設定項目がある場合は、それを設定します。もし見つからない場合、エクスプローラの [表示] メニューの [オプション] の [ファイルタイプ] タブを表示します。[URL:MailTo Protocol] を選択し、アクションの一覧から [open] をダブルクリックし、[アクションを実行するアプリケーション] に、利用するメールソフトのパスとオプションを入力します。オプションについては、メールソフトによって異なるので、メールソフトのヘルプなどをご覧ください。例えば、Winbiff の場合は、"C:¥PROGRAM FILES¥ORANGESOFT¥WINBIFF¥WINBIFF.EXE" /M と入力します。メールソフトによっては、対応していない場合があります。

Q. URL をクリックしても、表示に使用したいウェブブラウザが起動しないのですが。

例えば、Netscape Navigator やその他のウェブブラウザを利用する場合、使用するウェブブラウザの設定で、標準のウェブブラウザになるよう設定します。EmEditor で URL をクリックすると、標準のウェブブラウザが起動するようになります。

Q. [日付と時刻] コマンドで挿入する日付や時刻の形式を変更するには？

コントロールパネルの [地域と言語のオプション] を選択し、[地域とオプション] タブの [標準と形式] ボックスの [時刻] と [短い形式] で設定します。これは、メモ帳と同じ仕様です。

Q. EmEditor 起動時に、自動的にかな漢字変換を有効にするには？

[ツール] メニューの [現在の設定のプロパティ] - [基本] タブで [かな漢字変換を起動] チェック ボックスをチェックします。

Q. 他のコンピュータで、定義している設定プロパティをコピーする方法は、ありますか？

レジストリ エディタ (Regedit.exe) で HKEY_CURRENT_USER¥Software¥EmSoft¥EmEditor v3 をファイルに書き出して、別のコンピュータにコピーし、そのファイルをレジストリエディタで読みます。ただし、後からプロパティのフォルダ名の部分は自分で変更する必要があるかもしれません。

Q. ASP 用の設定はないですか？

ASP の構文は HTML の設定に含まれており、埋め込まれているスクリプト (通常、VBScript または JavaScript で書かれています) は VBScript または JavaScript の設定にしたがって強調表示されます。

Q. プロパティの [強調(2)] タブにある [特別な構文] コンボボックスの中の [HTML] および [HTML-埋め込み] とは何ですか？

[HTML] は、SCRIPT type=... で始まるスクリプトが HTML ファイルに含まれている場合や、%で始まるスクリプトを含む ASP ファイルで利用されます。これらのスクリプトには通常 VBScript、JavaScript、PerlScript、CSS を含みます。[HTML-埋め込み] は、PHP や JSP のように ? や % など #ScriptBegin で指定した文字列から始まるスクリプトを含む HTML ファイルに利用されます。

Q. HTML、または XML ファイルを保存する際に、EmEditor は Unicode 文字を文字参照 "Numerical Character References" (NCRs - &#xxx; など) として、エンコードすることはできますか？

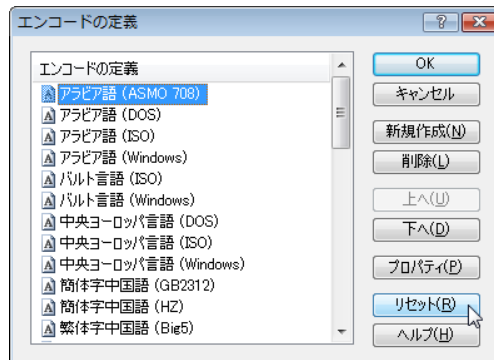
はい、できます。プロパティの [ファイル] タブにある [保存時...] ボタンをクリックし、[Unicode 文字を HTML/XML の文字参照として保存] をチェックします。© のように名前による実体参照を保存したい場合は、[名前による実体参照を使用する] もチェックします。HTML と XML の設定では、これらのチェックボックスは既定の設定として、チェックされています。しかし、現在、HTML または、XML ファイルを読み込む際、NCR を Unicode 文字としてデコードしたり、表示することはできません。

Q. [ファイル] メニューの、[読み直し] のサブメニューには、[同じエンコード]、[自動検出]、[システム既定]、[UTF-16LE]、[UTF-16BE]、[UTF-8]、[UTF-7] しか利用できるエンコードがありません。エンコードを追加するには？

EmEditor を正しくインストールせずに、他の PC から emeditor.exe をそのままコピーし、実行した場合、いくつかのシステム エンコードが利用できない場合があります。Windows 2000/XP/2003 を使用し User 権限でのみログオンして、v3.27 以前の EmEditor を使用している場合は、いくつかのエンコードが見れないバグが EmEditor にありましたので、それが原因の可能性があります。

追加のシステム エンコードをセットアップするには、Windows 2000/XP/2003 を使用している場合は、Power User か Administrator 権限でログオンし、[ツール] メニューから [エンコードの定義] コマンドを選択し、[リセット] ボタンをクリックしてください。

利用できるエンコードは、Windows にどの言語システム ファイルがインストールされているかによります。EmEditor で、特定のエンコードを見つけることができない場合、コントロール パネル 地域 オプションで追加したい言語をインストールしてください。Windows に言語システム ファイルを追加した後、EmEditor の [ツール] メニューから [エンコードの定義] コマンドを選択し、[リセット] ボタンをクリックしてください。



Q. バージョンアップ後、新しいコマンドをメニューに追加したり、新しいキーボード ショートカットを追加する方法は？

新しいコマンドがメニューに表示されない場合は、[ツール] メニューの [メニューの変更] コマンドを選択し、[リセット] ボタンをクリックすると、メニューがすべて既定にリセットされます。また、[すべての設定のプロパティ] を選択し、[キーボード] タブで [リセット] ボタンをクリックすると、新しいコマンドのキーボード ショートカットが追加されます。

Q. 2 ストローク キーのショートカットを定義するには？

ユーザー メニューとキーボード割り当て機能の両方を使用して、2 ストローク キーのショートカットを定義することが可能です。既定では、Ctrl+K がユーザー メニュー (1) を使用する 2 ストローク キーの最初のキーとしてあらかじめ定義されています。以下は、あらかじめ定義されたショートカット一覧です。

- CTRL+K, K ブックマークを設定/定義
- CTRL+K, N この文書の次のブックマーク
- CTRL+K, P この文書の前のブックマーク
- CTRL+K, L この文書のブックマークをクリア
- CTRL+K, C コメント挿入

CTR+K, U コメント削除

この一覧で、2 番目のキーは Ctrl キーと共にでも共にでなくても、動作します。たとえば、[ブックマークを設定/定義] コマンドは、Ctrl を押しなが K を押した後、Ctrl を押しでも押さなくても K を押すことにより動作します。

新しい 2 ストローク キーのショートカットを追加するには、以下の手順に従います。

1. [ヘルプ] メニューで [キーボード マップ] を選択します。
2. すべての設定で同じショートカットを使用したい場合は、ツール バーで [すべての設定] ボタンをクリックします。
3. [ユーザー メニュー (2)] まで下にスクロールしてダブルクリックします。
4. 設定のプロパティで、[追加するショートカット キー] テキスト ボックスに設定したいショートカットをタイプします。たとえば、Ctrl+; を押します。
5. [割り当て] ボタンをクリックして OK をクリックします。
6. [キーボード マップ] ウィンドウを閉じます。
7. 次に、[ツール] メニューから [メニューの変更] を選択します。
8. [変更するメニュー] リスト ボックスから [ユーザー メニュー (2)] を選択します。
9. [右に挿入] ボタンをクリックします。
10. [メニューのプロパティ] で、ショートカットを割り当てたい新しいコマンドを選択します。
11. [名称] テキスト ボックスで、「&」を使用してショートカット キーを指定します。「&」の右側の文字が 2 ストローク キーの 2 番目のショートカットの文字を指定します。

たとえば、[新規作成して貼り付け] コマンドの 2 番目のショートカット キーを「N」に設定したい場合、以下の手順に従います。

1. [分類] 一覧から [ファイル] を選択します。
2. [コマンド] 一覧から [新規作成して貼り付け] を選択します。
3. [名称] テキスト ボックスに、「新規作成して貼り付け(&N)」とタイプします。
4. OK をクリックします。

この操作を繰り返して、好きなだけコマンドを定義します。

既定では、ユーザー メニューは最初のキーを押してから 1 秒後に表示されます。2 番目のショートカット キーは、ユーザー メニューが表示される前でも動作します。[メニューの変更] ダイアログの下部の [遅延時間] スライダーを調節することにより、各ユーザー メニューの遅延時間を変更することができます。

マクロ

Q. VBScript の MsgBox を使えないのですか？

残念ながら、MsgBox は使えません。その代わりに、WshShell オブジェクトの Popup メソッドが利用できます。また、代わりに、alert メソッドまたは confirm メソッドを使用することもできます。

ツール

Q. EmEditor から現在開いているファイルをコンパイルするために、外部コンパイラを実行するには？

Q. 外部ツールの定義例を教えてください。の「Visual C++ でコンパイル」を参考にしてください。

Q. 複数のクイック マクロをファイルに保存できますか？

[マクロ] メニューの [名前を付けて保存] コマンドで、ファイルに保存することができます。

Q. Google でカーソル位置の単語を検索するには？

[ツール] メニューの [外部ツール] サブ メニューから [外部ツールの設定] コマンドを選択し、[外部ツール] ダイアログ ボックスを表示します。[新規作成] ボタンをクリックし、[外部ツールのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。[コマンド] テキスト ボックスで、[http://google.com/search?ie=Shift_JIS&q=\\$\(CurText\)](http://google.com/search?ie=Shift_JIS&q=$(CurText)) と入力します。

Q. EmEditor で編集中のファイルをコマンド プロンプトで実行するツールでコンパイルしたいのですが、コンパイル後もコマンド プロンプトのウィンドウを閉じないようにするには？

[ツール] メニューの [外部ツール] サブ メニューから [外部ツールの設定] コマンドを選択し、[外部ツール] ダイアログ ボックスを表示します。[新規作成] ボタンをクリックし、[外部ツールのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。[コマンド] テキスト ボックスで cmd.exe と入力し、[引数] テキスト ボックスで /k "filename" \$(Path) と入力します。

Q. 外部ツールの定義例を教えてください。

インターネット エクスプローラを開く

[コマンド] C:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exe

[引数] \$(Path)

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス] C:¥Program Files¥Internet Explorer¥iexplore.exe

[ファイルを保存] をチェック

エクスプローラを開く

[コマンド] %WinDir%¥explorer.exe

[引数] \$(Dir)

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス] %WinDir%¥explorer.exe

コマンド プロンプトを開く

[コマンド] %WinDir%¥system32¥cmd.exe

[引数] \$(Dir)

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス] %WinDir%¥system32¥cmd.exe

Visual C++ でコンパイル

[コマンド] %WinDir%¥system32¥cmd.exe

[引数] /k "C:¥Program Files¥Visual Studio¥Vc7¥bin¥vcvars32.bat"&&cl \$(Path)

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス] C:¥Program Files¥Visual Studio¥Common¥7¥IDE¥devenv.exe

[ファイルを保存] をチェック

関連付けられたファイルを実行

[コマンド] \$(Path)

[引数]

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス]

[ファイルを保存] をチェック

Google でカーソル位置の単語 (または選択した文字列) を検索

[コマンド] [http://google.com/search?ie=Shift_JIS&q=\\$\(CurText\)](http://google.com/search?ie=Shift_JIS&q=$(CurText))

[引数]

[初期ディレクトリ]

[アイコン パス]

Microsoft Visual SourceSafe からチェックアウトする

[コマンド] %WinDir%¥system32¥cmd.exe

[引数] /k C:¥(SourceSafe のパス)¥Common¥VSS¥win32¥SS.EXE checkout \$/(パス)/\$(Filename).\$(Ext) -y(ユーザー名)

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス] C:¥(SourceSafe のパス)¥Common¥VSS¥win32¥SSEX.EXE

Microsoft Visual SourceSafe にチェック インする

[コマンド] %WinDir%¥system32¥cmd.exe

[引数] /k C:¥(SourceSafe のパス)¥Common¥VSS¥win32¥SS.EXE checkin \$/(パス) /\$(Filename).\$(Ext) -y(ユーザー名)

[初期ディレクトリ] \$(Dir)

[アイコン パス] C:¥(SourceSafe のパス)¥Common¥VSS¥win32¥SSEX.EXE

[ファイルを保存] をチェック

[コマンド]、[引数]、[初期ディレクトリ]、[アイコン パス] には、次のあらかじめ定義された引数を使うことができます。

\$(Path) ファイルの完全パス名

\$(Dir) ファイルのディレクトリ名

\$(Filename) 拡張子を除くファイル名

\$(Ext) ファイルの拡張子

\$(CurLine) カーソル位置の論理行番号

\$(CurText) テキストが選択されている場合は選択した文字列、選択されていない場合はカーソル位置の単語

その他、%WinDir% などの環境変数が利用できます。

プラグイン

Q. アウトライン カスタム バーを隠したままで、アウトライン ガイド (コードの折りたたみ) を有効にするには?

アウトライン プラグインのプロパティで、[カスタム バーが表示されていないとき、アウトライン ガイドを表示しない] のチェックを外します。

Q. 検索バー プラグインを閉じるには、検索バー ボタンを 2 回クリックしなければならないのはどうしてですか?

検索バーが表示されているときに、プラグイン バーの検索バー ボタンをクリックすると、キーボード フォーカスが検索バーにない場合は、検索バーにフォーカスを移動します。検索バーにフォーカスが存在するときに、プラグイン バーの検索バー ボタンをクリックすると、検索バーが非表示になります。つまり、エディタのビュー上にカーソルが点滅しているときに検索バーを閉じるには、検索バー ボタンを 2 回クリックしなければならないことになります。

以上の動作を利用して、このプラグインのコマンドにキーボードショートカットを割り当てることにより、ショートカットキーで簡単にプラグインの [検索] ドロップダウンリストにフォーカスを移動することができます。ショートカットキーでの移動を実現するため、以上の動作を仕様としているわけです。

ウィンドウ

Q. ウィンドウの 4 分割は何のために利用するのですか？

たとえば、文章の最初の部分を参考にしながら、最後の部分を書いたりするのに便利です。4 分割されたそれぞれの場所で別のファイルを編集することはできません。

Q. EmEditor のウィンドウ サイズを保存し、いつも同じウィンドウ サイズで EmEditor を開くには？

EmEditor をお好きなサイズに変更してから、[ツール] メニューから [カスタマイズ] コマンドを選択し、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示します。そして、[ウィンドウ] タブで [現在のウィンドウ位置を保存] ボタンをクリックします。

Q. いつも、EmEditor ウィンドウを最大化して開くには？

まず、EmEditor ウィンドウを最大化し、[ツール] メニューから [カスタマイズ] コマンドを選択し、[カスタマイズ] ダイアログ ボックスを表示します。そして、[ウィンドウ] タブで [現在のウィンドウ位置を保存] ボタンをクリックし、[起動時、ウィンドウ位置を復元] チェック ボックスをチェックします。

Q. 現在開いている EmEditor ウィンドウの位置と開いているファイル名を保存しておき、次回、一度にすべてのウィンドウを以前と同じ位置に開くには？

トレイアイコン上でマウスの左ボタンを押してトレイアイコン メニュー 1 を表示し、[ワークスペースを保存] コマンドを選択すると、現在開いているウィンドウの位置と開いているファイル名、さらにカーソル位置など、ワークスペースの状態を保存します。次に、すべてファイルを閉じるか別のファイルを開いた後、同じトレイアイコン メニューの [ワークスペースを復元] コマンドを選択すると、さきほど保存したウィンドウの位置に、同じファイル名、カーソル位置でワークスペースの状態を復元します。

[ワークスペースを保存] コマンドを選択する代わりに、ワークスペースを保存してすぐにすべてのウィンドウを閉じるには、[ワークスペースを保存してすべて閉じる] コマンドを、また、ワークスペースを保存してすべてのファイルを保存して閉じるには、[ワークスペースを保存してすべて保存して閉じる] コマンドを利用することができます。

Q. タブ付きウィンドウのように表示するには？

[ウィンドウ] メニューの [タブを有効にする] コマンドを選択し、このコマンドがチェックされた状態にします。

Q. どうして [重ねて表示]、[上下に並べて表示]、[水平に並べて表示] を選択しても動作しないのですか？

タブが有効の状態、[重ねて表示]、[上下に並べて表示]、[水平に並べて表示] を選択した場合、タブを無効にしません。複数のグループが存在する場合に、そのグループを重ねて、あるいは並べて表示します。したがって、1つのグループしか存在しない場合、これらのコマンドには意味がありません。これはユーザーの皆様からの要望にお応えした仕様の変更です。従来の動作を希望される場合は、一旦、タブを無効にしてから、これらのコマンドを選択してください。[新しい水平グループ]、[新しい垂直グループ] を使用すると、1つのグループしか存在しない場合でもウィンドウを並べて表示することができます。

アンインストール

Q. EmEditor を試用していましたが、購入しないことにしました。EmEditor をアンインストールするには、どうしたらいいですか？

現在実行中の EmEditor をすべて終了します。(すると EmEditor ヘルプも閉じられますので、ヘルプからこれを読んでいる場合は、この内容はメモしておくことをおすすめします)。Windows の [スタート] メニューからコントロール パネルを開き、[プログラムの追加と削除] を選択します。[プログラムの追加と削除] ダイアログ ボックスが表示されたら、一覧から、「EmEditor」を選択し、[削除] ボタンをクリックします。すると、「EmEditor アンインストール」ダイアログ ボックスが表示されるので、画面の指示に従います。アンインストールが終了したら、Windows を再起動することをおすすめします。

Q. EmEditor をアンインストール後、あるファイルをダブルクリックすると EmEditor を探してしまうが EmEditor は存在しないのでそのファイルを開くことができません。どうしたら、そのファイルを開くことができるでしょうか？

EmEditor の [EmEditor と関連付け] で関連付けた場合は、アンインストールで元のプログラムに関連付けを戻すようになっていますが、自分で、EmEditor をエクスプローラなどで関連付けた場合は、アンインストール後に、自分で元に戻す必要があります。この場合、Windows のエクスプローラを開き、[ツール] メニューの [フォルダ オプション] を選択し、[ファイルの種類] タブを選択し、[登録されているファイルの種類] リスト ボックスで、関連付けを解除したい拡張子を選択し、[変更] ボタンをクリックします。すると、[ファイルを開くプログラムの選択] ダイアログ ボックスが表示されるので、EmEditor 以外の関連付けたいプログラムを選択します。

Q. EmEditor をアンインストール後、インターネット エクスプローラのコンテキスト メニューの [ソースの表示] を選択しても、メモ帳でソースコードが表示されないはなぜですか？

以前の EmEditor のバージョンで、レジストリ情報を完全にアンインストールできないものがありました。スタート メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択し、「RegEdit.exe」と入力し OK ボタンをクリックしてレジストリ エディタを実

行します。HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Internet Explorer¥View Source Editor を検索し、このキーを削除してください。

Q. アンインストール後、C:¥Program Files¥EmEditor のフォルダの中に emedtray.exe と emedres.dll の2つのファイルが残っていて、削除できないのですが、どうしたら削除できますか?

本来は、アンインストール時にこれらのファイルが削除されるはずなのですが、なんらかの原因で、削除されなかったようです。これらのファイルを削除するためには、まず、EmEditor のトレイアイコンを起動しているショートカットを削除する必要があります。そのためには、

Q. EmEditor のトレイアイコンを表示しないようにしたいけど、どのようにしたら、トレイアイコンを表示しないようになりますか?

の手順にしたがって、ショートカットを削除します。

次に、タスクバーに EmEditor のトレイアイコンがあるはずなので、それをクリックして、「トレイアイコンを閉じる」を選択します。その後、EMEDTRAY.EXE と EMEDRES.DLL を削除することができます。

トラブルシューティング

Q. ワトソン博士のログを作成するには?

注: 次の記事は Windows Vista には適用されません。Windows Vista には、ワトソン博士が含まれていません。

ワトソン博士のログの作成方法は次の通りです。

1. 異常終了がプラグインで発生している場合には、最初に、「プラグインでアプリケーション エラーが発生しました... このプラグインを無効にしますか?」

というダイアログが表示されますので、キャンセルをクリックします。

2. EmEditor で異常終了が発生すると、「EmEditor で異常終了が発生しました。現在の文書の保存を試行します。」というダイアログが出ます。そこで、また「キャンセル」をクリックすると、

「問題が発生したため、EmEditor.exe を終了します。ご不便をおかけして申し訳ありません。...」という Windows システムのダイアログが表示されます。そこで、「デバッグ」、「エラー報告を送信する」と「送信しない」の3つのボタンが表示される場合と、「エラー報告を送信する」と「送信しない」の2つのボタンが表示される場合があります。「デバッグ」のボタンが表示された場合は、「デバッグ」ボタンをクリックします。表示されない場合は、「送信しない」ボタンをクリックします。

そうすると、ワトソン博士のログが、通常、C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Microsoft¥Dr Watson¥drwtsn32.log に作成されています。

3. ログが作成されない場合は、レジストリ エディタで、

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥AeDebug

の設定を確認してみてください。ここで、Debugger の値が `drwtsn32 -p %ld -e %ld -g` になっていれば問題ないはず
です。また、Auto の値が 1 なら、さきほどのダイアログで「デバッグ」が表示されず、自動的にログが作成されます。0 の
場合は、「デバッグ」ボタンが表示されて、このボタンを押した場合だけワトソン博士が起動されます。

C:\WINDOWS\SYSTEM32 のフォルダにある DRWTSN32.EXE を実行すると、ログの作成されるフォルダなど、さら
に詳しい設定を確認できます。また、ヘルプを読むとさらに詳しい説明が表示されます。

異常終了が発生してしまう場合は、ワトソン博士のログを ZIP 形式に圧縮して、tech@emurasoft.com 宛メールの添付
ファイルで送っていただいた方が解析しやすくなることがあります。この際にも、EmEditor のエディションとバージョン番
号をはじめ、OS の種類、異常終了が発生する条件や再現できる手順を必ず明記してください。

付録

リンク

ここでは、EmEditor の公式サイトを紹介します。

EmEditor ホーム ページ

<http://jp.emeditor.com/>

EmEditor のダウンロード、フォーラム、ライブラリなどが利用できます。

エムソフト カスタマー センター

<https://www.emurasoft.com/support/?lid=2>

EmEditor の登録キーを表示することができます。

用語集

16 進法

数値の表現方法の 1 つで、16 を底とする表記方法です。0 ~ 9 までの数字、および A ~ F (10 進法での 10 ~ 15 の値を意味する) の 16 個の文字を用いて表現します。16 進法の 2 桁で 1 バイト (8 ビット) を表現できるので便利です。16 進数は、通常、「0x」または「U+」(Unicode の文字コード値の場合) で始まるか、あるいは「h」で終わります。

ANSI

システム既定エンコードを参照してください。

ASCII

American Standard Code for Information Interchange の頭文字を取った言葉。ASCII は英語や西ヨーロッパ言語に使われるローマ字アルファベットに基づく文字セットおよびエンコードです。。

Big endian

Big endian (ビッグ エンディアン) は、特に Unicode のデータを保存する際、最上位のバイトから順番に記録するエンコードの方法です。

BOM (Byte Order Mark)

バイト オーダー マークを参照してください。

COM

コンポーネント オブジェクト モデルを参照してください。

CR

復帰を参照してください。

DLL

ダイナミック リンク ライブラリを参照してください。

DOM

ドキュメント オブジェクト モデルを参照してください。

HTML

インターネット上のウェブ ページを記述する際に使用するスクリプト言語です。

IME

キーボードから日本語や中国語などの文字列を入力するために、かな漢字変換の機能などを提供するソフトウェアです。日本語 IME は、日本語入力システムとも呼ばれます。

JavaScript

動的なウェブ ページを作成するときに利用する代表的なスクリプト言語です。Windows に組み込まれている JavaScript は、JScript と呼ばれることもありますが、EmEditor では、JScript と JavaScript を区別しないで JavaScript と呼んでいます。

LF

改行を参照してください。

Little endian

Little endian (リトル エンディアン) は、特に Unicode のデータを保存する際、最下位のバイトから順番に記録するエンコードの方法です。

MDI

マルチドキュメント インターフェースを参照してください。

Null 文字

ヌル文字。文字コード値が 0 の文字です。通常、テキストには利用されないので、Null 文字が含まれているファイルは、プログラムやテキスト以外のデータファイルであることがほとんどです。テキスト以外のファイルは EmEditor では編集できないので、このようなファイルを編集する必要がある場合は、別途、バイナリ エディタなどを使って編集する必要があります。

OLE (Object Linking & Embedding)

種類や目的の異なるアプリケーションの間で情報を転送または共有するための技術です。EmEditor では、OLE の技術を使ったテキストのドラッグ & ドロップ機能を提供します。

Unicode

世界中で使われるすべての文字を含むためにユニコード コンソーシアムで策定された文字コードです。多くのプログラムで標準の規格としてサポートされています。Unicode のエンコードには、UTF-7、UTF-8、UTF-16、UTF-32 などが存在しますが、EmEditor では、通常 Unicode は UTF-16 を指します。また、UTF-16 には、コンピュータのバイトの並び方の違いにより、Unicode Little endian と Unicode Big endian の 2 種類が存在しますが、EmEditor では、単に Unicode と記述されていれば Unicode Little endian を意味します。

URL

インターネット上のファイルなどを特定するための記述方式です。たとえば、EmEditor のホームページの URL は、<http://www.emeditor.com/> と記述されます。

UTF-7

Unicode のエンコードの 1 種です。ASCII 文字だけで表現できるため、電子メールで送信することができます。

UTF-8

Unicode のエンコードの 1 種です。Unicode 1 文字を表現するために、1 バイトから 4 バイトの可変長の情報量を使用して表現します。XML、Java などのファイルのエンコードとして使われることが多くなっています。バイト オーダー マーク (BOM) をつけない UTF-8 を UTF-8N と呼ぶこともあります。EmEditor では、UTF-8 と UTF-8N のどちらの場合もサポートしています。

VBScript

動的なウェブ ページを作成するときに利用する代表的なスクリプト言語です。VBScript は、Microsoft Visual Basic の技術を元に作成された、スクリプト言語です。Internet Explorer は、VBScript を解釈しますが、他のブラウザでは、必ずしもサポートされていないため、多くのブラウザをターゲットにした HTML を作成する場合は、JavaScript を使用することが多くなっています。ASP では既定のスクリプト言語として、VBScript が使用されています。また、WSH でも VBScript をスクリプト言語に使用することができます。さらに、EmEditor でも、VBScript を使用して、マクロを作成することができます。

Windows スクリプティング ホスト (WSH)

Windows オペレーティング システムで利用できるスクリプティング実行環境です。JavaScript や VBScript などのスクリプト言語を用いて、テキスト エディタで作成したスクリプトを実行できる環境を提供しています。EmEditor では、このエンジンを利用して、マクロの実行を実現しています。WSH で利用できるスクリプトは EmEditor でも、ほとんどそのまま利用できます。

WSH

Windows スクリプティング ホストを参照してください。

XML

拡張マークアップ言語を参照してください。

XML パーサ

XML 文書をプログラムが利用しやすい形に変換するソフトウェアです。

イベント

プログラムによって検出されたアクションや出来事です。たとえば、ユーザーがマウス ボタンをクリックしたり、キーを押したときに、イベントが発生します。

ウェブ ブラウザ

インターネットのウェブ ページを表示するために必要なプログラムで、代表的なものに、Internet Explorer や Netscape Navigator などが存在します。

上書きモード

文字を入力する際、カーソル位置にある文字を入力した文字で置き換える入力モードです。これに対し、入力した文字をカーソル位置の前後の文字の間に挿入する入力モードは、挿入モードといいます。

エスケープ シーケンス

検索時に、改行などの制御文字を表記する方法で、通常、¥ を使って表記します。たとえば、¥n は改行 (LF) を表し、¥r は復帰 (CR) を表し、¥t はタブを表します。

エンコード

コンピュータの内部で文字や記号を用いたデータ処理を可能にするために割り振られた文字コードの体系です。代表的なものに、Unicode、UTF-8、日本語 シフト JIS などが存在します。

折り返し

長い行を入力する場合、定義したマージン、ウィンドウの右端、またはページの右端で停止せずに、次の行に移ることを意味します。折り返し位置も参照してください。

折り返し位置

長い行が、マージン、ウィンドウの右端、またはページの右端によって次の行に折り返される位置を意味します。

改行 (LF)

カーソルを下へ 1 行移動するように表示機器 (モニタ、プリンタなど) に指示するための ASCII 文字です。CR と共に使用されることが多く、新しい行を示すのに使われます。

拡張子

ファイル名の最後に追加されるピリオド「.」で始まる名前です。慣例的に、3 文字の英数字から成り立つことが多いのですが、3 文字とは限りません。例えば、テキスト ファイルは「.txt」という拡張子を、HTML は「.htm」という拡張子を持ちます。

拡張マークアップ言語 (XML)

複数のコンピュータの間で、交換する必要がある情報 (データ) を記述する方法を定義したコンピュータ用のスクリプト言語です。

空白文字

画面上に表示されない、空白、タブ、その他の制御文字などの文字です。

構文ファイル

EmEditor では、どの文字列を強調表示するかを定義する拡張子が .esy のファイルです。

コマンドライン

プログラムに対して指定する特定のコードです。コマンドプロンプトから、`emeditor.exe` の後に指定して使用します。

コンポーネント オブジェクト モデル (COM)

プログラムを部品化するためのソフトウェアコンポーネント技術です。COMによって作成されたソフトウェアコンポーネントは再利用性に優れ、通常の Windows アプリケーションだけでなく、JavaScript や VBScript などのスクリプトから、その機能を呼び出して利用することができます。

システム既定エンコード

Windows オペレーティングシステム上で使用されるエンコードのことであり、コントロールパネルの [地域と言語のオプション] の [詳細設定] タブの [Unicode 対応でないプログラムの言語] で設定する言語に相当します (Windows 2000/XP/2003 の場合)。日本語版 Windows では、通常、日本語 Shift JIS が使用され、英語版 Windows では、通常、西ヨーロッパ言語が使用されます。これは、ANSI と呼ばれることもあります。

システムトレイ

Windows タスクバーの右側に存在し、通常、時刻やプログラムの小さなアイコンが表示されています。EmEditor のトレイアイコンは、システムトレイに表示されます。通知領域とも呼ばれます。

システムレジストリ

レジストリを参照してください。

すべてのコマンド

すべてのコマンドは、EmEditor のコマンドの 1 つで、既定では、[ツール] メニューに存在します。

正規表現

文字列の検索や置換を行うときに利用される文字列のパターンを表現する表記方法です。リテラルとメタ文字を組み合わせて表記されます。

セパレータ

メニューの中でコマンドを区別するのに使われる水平線です。

全角

漢字やひらがななどを固定長フォントで表示させた時に、半角文字の 2 つ分の横幅で表示される文字です。

ダイアログ ボックス

画面上に表示されるポップ アップ ボックスまたはウィンドウで、情報を表示したり、ユーザーの入力を要求します。

ダイナミック リンク ライブラリ (DLL)

Windows アプリケーションによって使用される実行可能な関数またはデータのライブラリです。

ドキュメント オブジェクト モデル (DOM)

DOM は、ウェブ ブラウザや EmEditor などのアプリケーションで使われ、アプリケーションで使われるドキュメントやウィンドウなどのオブジェクト、プロパティやメソッドを定義します。

トレイ アイコン

Windows オペレーティング システムのシステムトレイに表示される小さなアイコンで、プログラムにすばやくアクセスするのに利用されます。

入力方式エディタ (IME)

IME を参照してください。

バイト オーダー マーク (BOM)

バイト オーダー マーク (BOM) は、文字コードの値 FEFB を持ちます。これは、Unicode でデータがどのようにエンコードされるかを示します。Unicode (Little endian) では、最初のバイトが FF、2 番目のバイトが FE になります。Unicode big endian では、最初のバイトが FE、2 番目のバイトが FF になります。UTF-8 では、最初のバイトが EF、2 番目のバイトが BB、3 番目のバイトが BF になります。

ハイパーテキスト マークアップ言語 (HTML)

HTML を参照してください。

半角

固定長フォントで表示した時に、全角文字の半分の文字幅の文字です。1 バイトのデータで表現される英数字は半角文字となります。

ブックマーク

EmEditor の機能で、テキストのある行に印をつけることができます。ブックマークはテキストのある行の先頭の小さな四角で表示されます。EmEditor では、CTRL + F2 キーを使ってブックマークのオンとオフを切り替えることができます。

表示座標

折り返された行も行数の合計に含む文書の座標を示します。

復帰 (CR)

カーソルを行の先頭に移動するように表示機器 (モニタ、プリンタなど) に指示するための ASCII 文字です。

プラグイン

プラグインは、プログラムの中で、ある特定の機能を拡張するために用いられます。

マクロ

特定の操作手順をスクリプトとして記述して自動化する機能です。よく使う処理をマクロとして保存しておけば、必要なときに簡単に実行できるようになります。

マルチドキュメント インターフェイス (MDI)

1 つのアプリケーション ウィンドウ内に複数の文書ウィンドウを表示するインターフェイスです。

メタ文字

正規表現の中で使用される特別な意味を持った記号です。

メッセージ

あるプログラム オブジェクトにあるタスクを実行するよう指示する命令です。

文字クラス

文字セットを参照してください。

文字セット

ある特定の言語でテキストを表示するために必要なアルファベット、数字、そのほかの文字の集合です。

文字列

1 重引用符または 2 重引用符によって囲まれた文字の一続きで、集合として操作できるものです。

リテラル

正規表現で用いられる用語です。リテラルは、それ自体に一致する文字です。".", "|", "*", "?", "+", "(", ")", "{, "}", "[", "]", "^", "\$" および "\\" を除くすべての文字はリテラルです。これらの文字は、"\\" が前に付くとリテラルになります。

レジストリ

Windows オペレーティング システムが稼動するコンピュータ内部のハードウェア コンポーネントやソフトウェアの構成情報を集中的に格納する階層的なデータベースです。レジストリ エディタを起動することにより、レジストリを表示したり編集することができます。レジストリ エディタは、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] から、「regedit」と入力して実行することができます。

論理行

論理行は、本当の改行で数える行数のことです。文章内の改行の数に依存し、折り返し方法には関係ありません。

論理座標

論理座標は、使用中の折り返し方法に関係ない文書の座標を示し、行の折り返しによる改行は数えられません。論理行は文章内の改行の数に依存し、折り返し方法には関係ありません。